

2018

伊東市の教育

伊東市教育委員会

伊東市教育大綱

平成 27 年 5 月 18 日策定
平成 29 年 12 月 25 日改定

これからの伊東市を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、また市民一人ひとりが自己の人格を磨き生涯にわたり美しいふるさと伊東で学び続けることができるよう、市民と行政が志を持って“対話と融和で「未来を拓く」”教育行政を目指します。

1 知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成

- (1) 主体的に学ぶ意欲の向上と適切な学習習慣の定着を図り「学びを楽しむ力」を高めます。
- (2) 規範意識や忍耐力、思いやりの心といった「人として備えたい力」を身に付けさせます。
- (3) 生活習慣を整え、丈夫で健康な体を育成するとともに「命を守る力」の向上を図ります。

2 夢と希望を育む園・学校の基盤整備

- (1) P D C A サイクルの活用による信頼される学校づくりを推進します。
- (2) 学校・家庭・地域社会が連携・協働する体制を築きます。
- (3) 子どもたちが豊かな情操を育める環境を整備します。
- (4) 現場のニーズに対応した良好な学校施設の整備と学習環境の充実を図ります。
- (5) 少子化や地域の特性を考慮した適切な園・学校施設の管理に努めます。
- (6) 学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進を図ります。

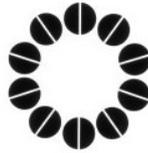
3 生涯学習の場の充実と質の向上

- (1) ジオパークを活用し、ふるさと伊東の良さを再発見するとともに地域の自然を愛する心を育てます。
- (2) 「市民一人一スポーツ」を目指し、生涯スポーツの推進及び環境整備に努めます。
- (3) 「市民一人一文化」による活力ある地域社会をつくるため、文化の情報発信や効果的な支援に努めます。
- (4) 人間形成の基盤となる家庭教育の充実を図るとともに、青少年の健全育成及び社会教育活動に対し積極的に支援します。
- (5) 地域コミュニティの充実及び生涯学習活動の活性化を支援します。

4 社会の変化に対応した教育行政の展開・職員の人材育成

- (1) 「報告・連絡・相談」を徹底し、迅速で的確な事業展開に努めます。
- (2) ボトムアップ方式による行政運営を推進するとともに、職員自らが事業や予算の見直しに積極的に関わることで、市の将来を担う職員の人材育成に努めます。

以上



伊 東 市

○市 章

昭和23年4月20日制定。いとうの「い」の字を10個配し図案化した。

太陽に恵まれた豊かな自然と円満な市民性、平和な街を望む市民の願いを象徴している。

市制施行	昭和22年8月10日	市町村コード	22208
所在地	静岡県伊東市大原二丁目1番1号	市町村別類型	II-3
郵便番号	414-8555	交通機関	伊東線伊東駅からバスで10分
代表電話番号	0557-36-0111	FAX	37-8117

教 育 長

教 育 部 長

次長兼教育総務課長

教育総務課 教育総務係 32-1901 教育政策係 32-1912

伊東市学校給食センター 52-6910

教育指導課 教育指導係 32-1911

幼児教育課 幼児教育係 幼稚園担当 32-1952 保育園担当 32-1951

生涯学習課 生涯学習係 32-1961、32-1962 文化・スポーツ係 32-1963、32-1964

*図書館（生涯学習センター中央会館）36-7433

*市民体育センター36-1178 *かどの球場 36-8900 *大原武道場 35-2100

伊 東 市 民 憲 章

(昭和42年8月10日制定)

わたくしたちの住む伊東は、「西に山、東に海、美しいかなこの岡、われらが里」と郷土の生んだ詩人木下杢太郎によってうたわれたように、恵まれた自然と先人のたゆまぬ努力とによって、発展してきました。

わたくしたち伊東市民は、この自然と伝統の上にきずかれた国際観光温泉文化都市の市民としての誇りをもって、わたくしたちの伊東を、より美しく、豊かで、住みよいまちにするために、市民の守るべき基本的な定めとして、ここに憲章を制定します。

この憲章は、わたくしたち市民のひとりひとりが、まちを愛し人間を尊重する精神にたち、おたがいのしあわせを願うという自覚のもとに、各自がその行動を規律しようとするものです。

わたくしたち伊東市民は、

一、文化を高め、教養を豊かにしましょう

それは、わたくしたちが、伊東市民としての誇りをもち、文化都市をきずきたいからです。

一、自然を愛し、清潔な環境をつくりましょう

それは、わたくしたちのまちを住みよくし、美しい観光地にしたいからです。

一、きまりを守り、良い風習を育てましょう

それは、わたくしたちの生活を平和にし、秩序ある社会をつくりたいからです。

一、おたがいに助け合い、親切をつくしましょう

それは、わたくしたちが、おたがいのしあわせをねがい、不幸な人をなくしたいからです。

一、元気で働き、楽しい家庭をつくりましょう

それは、わたくしたちの生活を豊かにし、未来をになう子どもたちを立派に育てたいからです。

目 次

I	伊東市の概要	
1	伊東市の位置・面積・広ぼう	1
2	伊東市の沿革・風土・気象・人口	1
3	伊東市の財政	5
II	教育委員会	
1	教育委員会	6
2	歴代教育委員	7
3	歴代教育長	8
4	歴代教育委員長・委員長職務代理者	9
5	平成29年度教育委員会定例会等議題	11
6	総合教育会議	13
III	教育行財政	
1	平成30年度伊東市教育行政の基本方針及び主要事業	14
2	平成30年度伊東市教育委員会の組織機構	19
3	教育委員会業務分掌	20
4	教育予算	23
5	平成30年度教育関係主要事業	25
6	伊東市育英奨学制度	28
IV	学校施設管理	
1	学校施設管理	29
2	幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ	30
3	教育施設一覧	34
4	教職員住宅	36
5	学校給食センター	36
V	学校教育	
1	平成30年度伊東市教育委員会 教育指導課 指導の重点	37
2	小・中学校・幼稚園・保育園一覧	38
3	平成30年度教職員配置数	39
4	園児・児童・生徒数の推移	42
5	平成30年度児童・生徒・園児数及び学級数集計表	43
6	平成29年度中学校等卒業生の進路	46
7	平成29年度就学猶予・免除・死亡	47
8	平成29年度転入・転出児童生徒数	47
9	学校給食	47
10	特別支援学級	48
11	研究指定校	48
12	平成29年度教育相談室利用状況	49

13	平成29年度就学援助費及び奨励費	50
14	平成29年度日本スポーツ振興センター掛金及び給付金	50
15	平成30年度使用教科書一覧	51
16	平成30年度教科指導員	52
17	平成30年度学校関係団体	52
18	平成30年度伊東市校長会組織分担表	53
19	大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応	54
VI 生涯学習		
1	生涯学習の主要施策	55
2	平成29年度生涯学習講座参加実績	61
3	伊東の文化財	63
4	生涯学習センター	67
5	図書館	70
6	コミュニティ	73
7	社会教育関係委員・団体	75
VII スポーツの振興		
1	スポーツ振興の重点施策	78
2	平成30年度スポーツ振興事業計画	80
3	平成29年度スポーツ振興事業	81
4	平成29年度スポーツ施設等の利用状況	81
5	スポーツ施設	84
6	スポーツ推進委員会	84
VIII 所轄外学校等		
1	所轄外学校等	86

I 伊東市の概要

1 伊東市の位置・面積・広ぼう

(1) 位置

東経 139 度 6 分 18 秒 北緯 34 度 57 分 43 秒

(2) 面積

124.100 平方キロメートル（平成 27 年 3 月 6 日建設省国土地理院公表）

(3) 広ぼう

東西 10,450 メートル 南北 20,450 メートル

2 伊東市の沿革・風土・気象・人口

(1) 沿革

「伊東」の地名は、「伊豆国の東にあたる」からとか「よい磯に恵まれた土地」を意味するなどの諸説があるが、いずれにしても相模灘と自然湧出の温泉に恵まれた温暖な土地である。

伊東市の広い丘陵地形は、伊豆単成火山群の噴出物によって形成された。この丘陵上には旧石器時代の遺跡が立地するが、最下層の遺跡は単成火山群からの厚い堆積物に阻まれて明瞭にはわかっていない。続く縄文時代には早期（約 1 万 2,000 年前以降）から中期（約 4,000 年前）にかけて多くの集落遺跡が台地上に営まれた。縄文時代後期には海岸に面した低地に集落がつくられ、外洋性の魚介類など黒潮の恵みを活用する生活が続けられた。弥生時代には、伊東大川（通称「松川」）の近くに集落が立地するようになり、今日の伊東の原型が形成されたものと見られる。続く古墳時代には、伊豆半島の他の地区と同様に濃密な祭祀遺物を伴う遺跡が見られる。中でも、川奈などの海岸線にある海食洞穴を利用した祭祀遺跡は日本人の神祭りの淵源に触れる遺跡として注目される。律令制の時代には、市内の遺跡から、その官制につながる身分の者が持つ腰帯金具が複数出土しており、市域から国府へ出仕する官人がいたことが判明している。

藤原氏の繁栄期から平家の全盛時代になると、中央での覇権争いに敗れた源頼朝が伊豆に流される。頼朝の 20 年に及ぶ配流中の前半期は伊東にいたものと見られており、藤原氏から分かれて伊東を名字の地としていた伊東一族が、この監視役であったものと見られる。こうした中で、伊東祐親の娘と頼朝との間の恋物語や後に曾我兄弟のあだ討ちにつながる初期武士団の所領争いをめぐる伝承も多く残されている。

源頼朝の旗揚げによって武士政権が誕生するが、この過程で伊東市内からは宇佐美氏と伊東氏が有力御家人として成長する。この結果、鎌倉時代から伊東氏・宇佐美氏は全国に地頭職を認められて拡散し、各地に有力な武士団として成長を重ねる。今日、伊東姓・宇佐美姓を名乗る方の先祖は、すべてこの伊東市域が出身地であるといえる。戦国時代には、伊豆は北条早雲の本拠地とされて約100年の比較的平穏な時代を迎えた。しかし、早雲が伊豆を占領する過程では激しい戦闘が半島内の各地にあったものと見られ、近年発掘調査された鎌田城もその一つと見られている。豊臣秀吉によって北条氏が滅ぼされると、間もなく江戸幕府を開いた徳川氏の時代になる。伊豆半島の約8万4,000石の領地はおよそ、韮山の江川代官領・沼津藩領・小田原藩領の三分割を受ける。伊東市内には江戸時代の村として16カ村が成立するが、これらの村々もおおむね3つの領主に分割支配されて幕末に至る。史上最大の城と言われる江戸城は、その莫大な量の石垣用の石材を伊豆から運んで築城した。石材の中心的な産地の一つは伊東に求められ、毎月2度3,000艘の船が江戸との間を往復したという。また、江戸城の築城が始まる直前には、家康の外交顧問の英国人ウィリアム・アダムスが日本初の洋式帆船を松川河口で建造したと言われる。魚介・木材・薪炭などは伊東の名産として巨大都市「江戸」の生活を根底から支えたのであるが、中でも「温泉」は将軍家にも愛用され、樽詰めされ、船で運ばれて江戸城の大奥で珍重された。

伊東は明治維新直後、韮山県に属したが明治4年の廃藩置県で足柄県となり、明治9年以降は静岡県に属する。明治22年町村制の施行により、江戸時代の16カ村は伊東・小室・宇佐美・対島の4カ村に統合され、さらに明治39年伊東村は町制に移行した。

伊東は明治末年ころから次第に保養地としての名声が高まり、北里柴三郎・東郷平八郎・若槻礼次郎など著名人の別荘が多数構えられた。また、市内の旅館には木造三階建ての建築が取り入れられて、多くの来遊客に対応する温泉地伊東の姿が形成されていった。昭和13年には国鉄伊東線が開通し、南国風の駅舎が建築された。昭和22年に伊東町と小室村が合併して市制に移行。さらに昭和30年に宇佐美村と対島村を合わせて今日の伊東市の市域が成立し、富士箱根伊豆国立公園に指定された。くしくも、現在の市域は古代以来伝統のある玖須美荘の領域と一致しているものと見られている。

(2) 風 土（位置及び地勢）

伊豆半島は、かつて南洋にあった海底火山や火山島が、フィリピン海プレートとの移動ともに北上し、約100万年前に本州と衝突してできた半島である。現在のような半島になったのは約60万年前で、半島となってからも火山活動が続き、天城山や宇佐美火山といった大型の複成火山の活動により伊豆半島の骨格が形づくられた。20万年前以降は、半島の東部とその沖の相模灘で単成火山（一回の噴火でできた火山）の集まりである伊豆東部火山群が活動している。このような成り立ちを持つ伊豆半島は、「伊豆半島ジオパーク」として地球活動によってもたらされた地質遺産をはじめとする恵みを保全するとともに、教育や観光などに活用した地域づくりを進めており、一連の活動が評価され、平成30年4月17日に「世界ジオパーク」に認定された。

伊豆半島の中でも私たちの住む伊東は、半島の東に位置し相模灘に面しており、南北20.45km、東西10.45kmの面積を有する。宇佐美火山と伊豆東部火山群が流した溶岩台地上にあるため、山がちで険しい地形の多い半島の中にあってなだらかな地形が広がっていることがわかる。水はけのよい溶岩が広く分布するため河川は少なく、目立った河川としては宇佐美を流れる鳥川と市街地を流れる伊東大川くらいで、それらの河川沿いにわずかな沖積平野が広がる。伊東大川沿いには700余りの温泉井があり、伊東温泉の根源をなしている。

(3) 気 象

私たちの郷土は「常春の伊豆」と言われるように、夏涼しく冬暖かい避暑、避寒の最適地であることは、伊東の年平均気温17.1℃で示されている。これは、伊豆半島が太平洋に突き出た海洋性気候の代表的地域であり、常に海岸を暖かい黒潮に洗われていることや、背後に天城、宇佐美などの火山によってつくられた山地に抱かれて、冬の季節風（北西風）から守られ南からの湿った暖かい風を受けやすい地形からの影響である。降水量は県内でも多雨地帯に属し、これは、季節風と背後にある天城連峰との関係が大きく影響しているためで、特に6～7月にかけて多くなっており、冬季は晴れの日が多く、温暖な気温と相まって市街地での降雪はごくまれである。

(4) 人口

人口の推移

年次	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1㎢当た り人口
		男	女	計		
昭和15年	4,519	10,550	11,441	21,991	4.9	695.5
22	7,306	16,152	18,491	34,643	4.7	608.0
25	7,697	16,922	19,215	36,137	4.7	634.2
30	10,437	23,653	26,516	50,169	4.8	404.4
35	12,724	26,032	28,532	54,564	4.3	439.8
40	15,406	28,065	31,339	59,404	3.9	478.1
41	16,089	28,864	32,011	60,875	3.8	490.1
42	16,620	29,461	32,485	61,946	3.7	499.1
43	16,991	29,606	32,643	62,249	3.7	501.5
44	17,567	30,207	33,070	63,277	3.6	509.8
45	17,973	29,817	33,186	63,003	3.5	507.6
46	18,590	31,261	33,987	65,248	3.5	525.5
47	19,186	31,744	34,717	66,461	3.5	535.2
48	20,273	32,458	35,363	67,821	3.3	546.4
49	20,737	32,907	35,753	68,660	3.3	553.2
50	20,766	32,263	35,809	68,072	3.3	548.2
51	21,640	33,628	36,562	70,190	3.2	565.2
52	21,867	33,717	36,769	70,486	3.2	567.6
53	22,040	33,707	36,837	70,544	3.2	568.0
54	22,642	33,919	37,142	71,061	3.1	572.2
55	22,975	32,853	36,785	69,638	3.0	560.7
56	24,474	33,937	37,507	71,444	2.9	575.2
57	24,457	33,687	37,478	71,165	2.9	573.0
58	24,809	33,753	37,553	71,306	2.9	574.1
59	25,089	33,723	37,599	71,322	2.8	574.3
60	23,655	32,828	37,367	70,195	3.0	564.8
61	25,820	33,876	37,816	71,692	2.7	576.8
62	26,526	34,205	38,248	72,453	2.7	582.9
63	27,018	34,346	38,620	71,966	2.7	587.1
平成元年	27491	34465	38789	73254	2.7	590.3
2	25715	33305	37918	71223	2.8	573.9
3	28405	34858	39075	73923	2.6	595.7
4	28851	34930	39140	74070	2.6	596.9

年次	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1㎢当た り人口
		男	女	計		
5	29,549	35,212	39,593	74,805	2.5	602.8
6	29,623	35,166	39,526	74,692	2.5	601.9
7	27,722	33,875	38,410	72,285	2.6	582.5
8	30,746	35,447	39,891	75,338	2.5	607.1
9	30,923	35,411	39,679	75,090	2.4	605.0
10	31,227	35,411	39,647	75,058	2.4	604.7
11	31,837	35,414	40,021	75,435	2.4	607.8
12	28,539	33,406	38,314	71,720	2.5	577.8
13	32,314	35,283	39,917	75,200	2.3	605.9
14	32,069	35,167	39,554	74,721	2.3	602.0
15	32,696	35,254	39,594	74,848	2.2	603.0
16	33,174	35,356	39,766	75,122	2.3	605.2
17	29,949	33,830	38,605	72,435	2.4	583.5
18	33,971	35,381	39,759	75,140	2.2	605.3
19	34,073	35,205	39,581	74,786	2.2	602.5
20	34,369	35,016	39,476	74,492	2.2	600.1
21	34,575	34,841	39,357	74,198	2.1	597.7
22	30,636	33,279	38,158	71,437	2.3	575.5
23	34,884	34,619	38,946	73,565	2.1	592.6
24	34,860	34,321	38,530	72,851	2.1	586.9
25	34,927	34,071	38,153	72,224	2.1	581.8
26	35,092	33,856	37,838	71,694	2.0	577.6
27	30,478	31,828	36,517	68,345	2.2	550.7
28	35,134	33,143	37,050	70,193	2.0	565.6
29	35,139	32,842	36,645	69,487	2.0	559.9
30	35,109	32,615	36,421	69,036	2.0	556.3

(平成30年は4月30日現在)

昭和22年8月10日小室村と合併。

昭和30年4月1日宇佐美村、対島村と合併。

昭和5, 10, 15, 22, 25, 35, 40, 50, 55, 60, 平成2, 7, 12, 17, 22, 27年は国勢調査日(10月1日現在)

その外は、毎年12月31日現在。

3 伊東市の財政

平成30年度 一般会計予算総括表

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年度 伸率	款	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	対前年度 伸率
1 市税	11,034,552	11,263,794	△ 2.0	1 議会費	209,652	215,606	△ 2.8
2 地方譲与税	142,000	142,000	0.0	2 総務費	2,454,949	2,398,774	2.3
3 利子割交付金	10,000	10,000	0.0	3 民生費	9,500,147	9,408,256	1.0
4 配当割交付金	31,000	40,000	△ 22.5	4 衛生費	3,313,894	3,241,221	2.2
5 株式等譲渡所得割交付金	40,000	20,000	100.0	5 労働費	102,153	98,081	4.2
6 地方消費税交付金	1,230,000	1,230,000	0.0	6 農林水産業費	549,782	567,540	△ 3.1
7 ゴルフ場利用税交付金	70,000	70,000	0.0	7 観光商工費	645,287	637,929	1.2
8 自動車取得税交付金	50,000	50,000	0.0	8 土木費	2,690,222	2,920,706	△ 7.9
9 地方特例交付金	30,000	27,000	11.1	9 消防費	1,244,101	1,225,415	1.5
10 地方交付税	2,400,000	2,400,000	0.0	10 教育費	2,171,792	2,283,203	△ 4.9
11 交通安全対策特別交付金	14,000	14,000	0.0	11 災害復旧費	75	75	0.0
12 分担金及び負担金	257,779	280,878	△ 8.2	12 公債費	2,673,250	2,648,638	0.9
13 使用料及び手数料	756,318	810,187	△ 6.6	13 諸支出金	4,696	4,556	3.1
14 国庫支出金	3,823,039	3,875,175	△ 1.3	14 予備費	50,000	50,000	0.0
15 県支出金	1,903,808	2,171,659	△ 12.3				
16 財産収入	37,263	37,930	△ 1.8				
17 寄附金	206,840	17,452	1,085.2				
18 繰入金	1,153,167	846,033	36.3				
19 繰越金	100,000	100,000	0.0				
20 諸収入	300,034	211,192	42.1				
21 市債	2,020,200	2,082,700	△ 3.0				
歳入合計	25,610,000	25,700,000	△ 0.4	歳出合計	25,610,000	25,700,000	△ 0.4

※ 対前年度伸率 [(a)-(b)]÷(b)

II 教育委員会

1 教育委員会

平成30年4月1日現在

役 職	氏 名	任 期
教育長	たかはし ゆうこう 高 橋 雄 幸	平成31年8月31日
教育長 職務代理者	いのうえ やすし 井 上 靖 史	平成33年10月8日
委 員	やまもと かおり 山 本 香 織	平成30年7月31日
委 員	ぬまた よしみ 沼 田 芳 美	平成31年12月24日
委 員	むらかみ やすひろ 村 上 恵 宏	平成32年9月30日

伊東市教育委員会は法令に基づき、教育長及び4人の委員で構成されている。会議は、毎月1回定例会が、また必要に応じて臨時会が開催され、これによって所管の学校やその他の教育機関の管理、学校教育施設に関する全般的な事務、社会教育、社会体育、学術、文化に関する事務の管理、執行等について本市の実情に即した教育行政が推進されている。これらの教育事務を処理する教育委員会事務局は教育長の指揮監督のもと組織構成され、それぞれの事務を分掌している。



教育長
高橋 雄幸



教育長職務代理者
井上 靖史



委 員
山本 香織



委 員
沼田 芳美



委 員
村上 恵宏

2 歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
武 見 次 郎	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 38 年 10 月 8 日
沼 田 元 弼	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
山 田 正 美	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
三 枝 な か	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 31 年 9 月 30 日
小 川 徳太郎 (議 会 選 出)	昭和 27 年 10 月 6 日	昭和 28 年 12 月 7 日
斎 藤 哲 三 (議 会 選 出)	昭和 28 年 12 月 17 日	昭和 29 年 12 月 23 日
山 本 増 衛 (議 会 選 出)	昭和 29 年 12 月 27 日	昭和 30 年 9 月 29 日
森 米次郎 (市村合併宇佐美村)	昭和 30 年 4 月 1 日 昭和 30 年 10 月 12 日	昭和 30 年 9 月 11 日 昭和 31 年 9 月 30 日
石 井 行 雄 (市村合併対島村)	昭和 30 年 4 月 1 日	昭和 31 年 9 月 30 日
山 田 義 郎	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 35 年 9 月 30 日
佐 藤 き ぬ	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 33 年 9 月 30 日
	昭和 33 年 10 月 9 日	昭和 37 年 10 月 8 日
福 本 熊 治	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 32 年 9 月 30 日
石 田 政 治	昭和 32 年 10 月 1 日	昭和 36 年 9 月 30 日
	昭和 36 年 10 月 3 日	昭和 44 年 10 月 2 日
上 原 正 也	昭和 35 年 10 月 1 日	昭和 43 年 9 月 30 日
稲 葉 芳 枝	昭和 38 年 7 月 1 日	昭和 42 年 6 月 30 日
塩 地 正 徳	昭和 38 年 12 月 20 日	昭和 46 年 12 月 24 日
戸 塚 好 子	昭和 42 年 7 月 1 日	昭和 50 年 6 月 30 日
石 田 俊	昭和 43 年 10 月 1 日	昭和 51 年 9 月 30 日
柴 田 武	昭和 44 年 10 月 9 日	昭和 48 年 10 月 8 日
宮 下 俊一郎	昭和 46 年 12 月 25 日	昭和 54 年 12 月 24 日
稲 葉 利 勝	昭和 48 年 10 月 9 日	昭和 56 年 10 月 8 日
日 吉 み つ	昭和 50 年 8 月 1 日	昭和 58 年 7 月 31 日
山 田 順 一	昭和 51 年 10 月 1 日	昭和 59 年 9 月 30 日
萩 原 恒 哉	昭和 54 年 12 月 25 日	昭和 62 年 12 月 24 日
大 川 保太郎	昭和 56 年 10 月 9 日	平成 5 年 10 月 8 日
高 橋 た か	昭和 58 年 8 月 1 日	平成 3 年 7 月 31 日
片 山 郁 朗	昭和 59 年 10 月 1 日	平成 4 年 9 月 30 日
外 岡 壮 亮	昭和 62 年 12 月 25 日	平成 7 年 12 月 24 日

氏名	就任年月日	退任年月日
高野 ハマ子	平成 3 年 8 月 1 日	平成 11 年 7 月 31 日
遠山 博文	平成 4 年 10 月 1 日	平成 12 年 9 月 30 日
北岡 貴人	平成 5 年 10 月 9 日	平成 13 年 10 月 8 日
齊藤 洋	平成 7 年 12 月 25 日	平成 19 年 12 月 24 日
井原 優子	平成 11 年 8 月 1 日	平成 19 年 7 月 31 日
太田 功	平成 12 年 10 月 1 日	平成 20 年 9 月 30 日
石和 衛	平成 13 年 10 月 9 日	平成 15 年 12 月 31 日
田中 智海	平成 16 年 1 月 1 日	平成 25 年 10 月 8 日
杉田 純子	平成 19 年 8 月 1 日	平成 27 年 7 月 31 日
佐藤 潤一	平成 19 年 12 月 25 日	平成 27 年 12 月 24 日
上村 昌延	平成 20 年 10 月 1 日	平成 28 年 9 月 30 日
井上 靖史	平成 25 年 10 月 9 日	
山本 香織	平成 27 年 8 月 1 日	
沼田 芳美	平成 27 年 12 月 25 日	
村上 惠宏	平成 28 年 10 月 1 日	

3 歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
日吉 眞一	昭和 28 年 4 月 1 日	昭和 43 年 9 月 30 日
飯島 謙吾	昭和 43 年 10 月 1 日	昭和 50 年 8 月 31 日
杉本 寅作	昭和 50 年 9 月 1 日	昭和 58 年 3 月 31 日
渡邊 武男	昭和 58 年 4 月 1 日	平成 3 年 3 月 31 日
望月 修	平成 3 年 4 月 1 日	平成 14 年 12 月 31 日
佐藤 悠	平成 15 年 1 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日
佐々木 誠	平成 20 年 4 月 2 日	平成 24 年 9 月 30 日
内山 義夫	平成 24 年 10 月 1 日	平成 28 年 7 月 4 日
高橋 雄幸	平成 28 年 9 月 1 日	

4 歴代教育委員長・委員長職務代理者

教育委員長		教育委員長職務代理者	
武見 次郎	S27. 11. 1～30. 11. 7		
武見 次郎	S30. 11. 8～31. 9. 30		
山田 義郎	S31. 10. 1～33. 9. 30	武見 次郎	S31. 10. 1～33. 9. 30
武見 次郎	S33. 10. 1～34. 10. 2	山田 義郎	S33. 10. 1～34. 10. 2
山田 義郎	S34. 10. 3～35. 9. 30	石田 政治	S34. 10. 3～35. 9. 30
武見 次郎	S35. 10. 1～36. 9. 30	石田 政治	S35. 10. 1～36. 9. 30
武見 次郎	S36. 10. 3～38. 11. 6	上原 正也	S36. 10. 3～38. 11. 6
上原 正也	S38. 11. 7～39. 9. 30	石田 政治	S38. 11. 7～39. 9. 30
石田 政治	S39. 10. 1～40. 9. 30	塩地 正徳	S39. 10. 1～40. 9. 30
石田 政治	S40. 10. 3～41. 10. 2	塩地 正徳	S40. 10. 1～41. 10. 2
塩地 正徳	S41. 10. 11～42. 10. 10	上原 正也	S41. 10. 11～42. 10. 10
上原 正也	S42. 10. 11～43. 9. 30	石田 政治	S42. 10. 12～43. 9. 30
石田 政治	S43. 10. 1～44. 9. 30	塩地 正徳	S43. 10. 1～44. 9. 30
塩地 正徳	S44. 10. 11～45. 10. 10	戸塚 好子	S44. 10. 11～46. 6. 30
塩地 正徳	S45. 10. 11～46. 10. 10	石田 俊	S46. 7. 1～46. 10. 10
石田 俊	S46. 10. 11～47. 10. 10	柴田 武	S46. 10. 11～47. 10. 10
石田 俊	S47. 10. 11～48. 9. 30	柴田 武	S47. 10. 11～48. 9. 30
宮下 俊一郎	S48. 10. 9～49. 10. 8	石田 俊	S48. 10. 9～49. 10. 8
宮下 俊一郎	S49. 10. 9～50. 10. 8	石田 俊	S49. 10. 9～50. 10. 8
石田 俊	S50. 10. 9～51. 9. 30	稲葉 利勝	S50. 10. 9～51. 9. 30
稲葉 利勝	S51. 10. 1～52. 10. 8	宮下 俊一郎	S51. 10. 1～52. 10. 8
宮下 俊一郎	S52. 10. 9～53. 10. 8	山田 順一	S52. 10. 9～53. 10. 8
山田 順一	S53. 10. 9～54. 10. 8	稲葉 利勝	S53. 10. 9～54. 10. 8
稲葉 利勝	S54. 10. 9～55. 10. 8	山田 順一	S54. 10. 9～55. 10. 8
山田 順一	S55. 10. 9～56. 10. 13	萩原 恒哉	S55. 10. 9～56. 10. 13
萩原 恒哉	S56. 10. 14～57. 10. 13	山田 順一	S56. 10. 14～57. 10. 13
山田 順一	S57. 10. 14～58. 10. 13	大川 保太郎	S57. 10. 14～58. 10. 13
大川 保太郎	S58. 10. 14～59. 10. 13	萩原 恒哉	S58. 10. 14～59. 10. 13
萩原 恒哉	S59. 10. 14～60. 10. 13	高橋 たか	S59. 10. 14～60. 10. 13
大川 保太郎	S60. 10. 14～61. 10. 13	片山 郁朗	S60. 10. 14～61. 10. 13
片山 郁朗	S61. 10. 14～62. 10. 13	萩原 恒哉	S61. 10. 14～62. 10. 13
高橋 たか	S62. 10. 14～63. 10. 13	大川 保太郎	S62. 10. 14～63. 10. 13
大川 保太郎	S63. 10. 14～H元10. 13	外岡 壮亮	S63. 10. 14～H元10. 13
外岡 壮亮	H元. 10. 14～ 2. 10. 13	片山 郁朗	H元. 10. 14～ 2. 10. 13
片山 郁朗	H 2. 10. 14～ 3. 10. 13	高橋 たか	H 2. 10. 14～ 3. 7. 31
		大川 保太郎	H 3. 8. 19～ 3. 10. 13

教育委員長		教育委員長職務代理者	
大川 保太郎	H 3. 10. 14～ 4. 10. 21	外岡 壮亮	H 3. 10. 14～ 4. 10. 21
外岡 壮亮	H 4. 10. 22～ 5. 10. 21	高野 ハマ子	H 4. 10. 22～ 5. 10. 21
高野 ハマ子	H 5. 10. 22～ 6. 9. 30	遠山 博文	H 5. 10. 22～ 6. 9. 30
遠山 博文	H 6. 10. 1～ 7. 9. 30	北岡 貴人	H 6. 10. 1～ 7. 9. 30
北岡 貴人	H 7. 10. 1～ 9. 9. 30	外岡 壮亮	H 7. 10. 1～ 7. 12. 25
		高野 ハマ子	H 8. 1. 17～ 9. 9. 30
高野 ハマ子	H 9. 10. 1～11. 7. 31	遠山 博文	H 9. 10. 1～11. 7. 31
遠山 博文	H11. 8. 1～12. 9. 30	齊藤 洋	H11. 8. 1～12. 9. 30
齊藤 洋	H12. 10. 1～14. 9. 30	井原 優子	H12. 10. 1～14. 9. 30
井原 優子	H14. 10. 1～16. 9. 30	太田 功	H14. 10. 1～16. 9. 30
太田 功	H16. 10. 1～18. 9. 30	田中 智海	H16. 10. 1～18. 9. 30
田中 智海	H18. 10. 1～23. 9. 30	齊藤 洋	H18. 10. 1～19. 9. 30
		太田 功	H19. 10. 1～20. 9. 30
		杉田 純子	H20. 10. 1～23. 9. 30
杉田 純子	H23. 10. 1～25. 9. 30	佐藤 潤一	H23. 10. 1～25. 9. 30
佐藤 潤一	H25. 10. 1～26. 9. 30	上村 昌延	H25. 10. 1～26. 9. 30
上村 昌延	H26. 10. 1～27. 9. 30	井上 靖史	H26. 10. 1～27. 9. 30
井上 靖史	H27. 10. 1～28. 7. 4	上村 昌延	H27. 10. 1～28. 7. 4

教育長		教育長職務代理者	
		井上 靖史	H28. 7. 5～28. 8. 31
高橋 雄幸	H28. 9. 1～	井上 靖史	H28. 9. 1～

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第76号。平成27年4月1日施行）により、本市では平成28年7月5日から、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなった。

ただし、平成28年7月5日から平成28年8月31日まで教育長が不在だったため、その間は教育長職務代理者が教育長の職務を代理した。

5 平成29年度教育委員会定例会等議題

(平成29年4月～平成30年3月)

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
4月定例会 29年4月18日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 伊東市文化財の市指定について 2 伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員の委嘱について 3 平成29年度 教育指導課指導の重点について 4 平成29年度 伊東市教育委員会の組織機構等について 5 平成29年度 保育園・幼稚園・小中学校一覧について 6 平成29年度 児童・園児・生徒数について 7 各課報告
5月定例会 29年5月24日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度実施 伊東市教育機関職員採用試験について 2 各課報告
6月定例会 29年6月29日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30～33年度使用の小学校教科用図書の採択について 2 平成29年度 夏季休業中における幼児及び児童生徒の指導上の留意事項について 3 平成29年度 夏季休業期間中における学校施設等の管理及び教職員の服務について 4 各課報告
7月定例会 29年7月26日(水)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度使用の小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の同意書について 2 市議会6月定例会の報告について(市長所信表明に対する質問・補正予算) 3 平成28年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書の作成について 4 各課報告
8月定例会 29年8月29日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 伊東市就学援助要綱の全部を改正する告示について 2 教育財産の用途廃止について 3 平成28年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書の作成について 4 各課報告
9月定例会 29年9月26日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度重点化事業及び新規事業について 2 平成28年度伊東市教育委員会の自己点検・評価シートについて 3 伊東市文化財保護審議会委員の委嘱について 4 各課報告
10月定例会 29年10月19日(木)	<ol style="list-style-type: none"> 1 伊東市公立学校職員の自家用車に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について 2 伊東市文化財の指定について 3 市議会9月定例会の報告について(大綱質疑・一般質問・補正予算) 4 各課報告
11月定例会 29年11月21日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度伊東市教育委員会自己点検・評価報告書について 2 教育財産の取得の申出について 3 平成29年度実施伊東市教育機関職員採用試験の結果について 4 平成29年度冬季休業中における幼・小・中学校(園)幼児、児童生徒の生徒指導上の留意事項について 5 平成29年度冬季休業中における学校施設等の管理及び教職員の服務について 6 各課報告

開催年月日	定例会・臨時会の議題及びその他報告事項等
12月定例会 29年12月19日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度教職員人事異動の重点について 2 伊東市立伊東幼稚園湯川分園の貸出しについて 3 市議会12月定例会の報告について(一般質問・補正予算) 4 平成30年成人式について 5 各課報告
1月定例会 30年1月23日(火)	<ol style="list-style-type: none"> 1 各課報告
2月定例会 30年2月26日(月)	<ol style="list-style-type: none"> 1 伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 2 伊東市教育委員会補職名規則の一部を改正する規則について 3 伊東市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について 4 伊東市スクールサポーターの登録に関する要綱について 5 県費負担教職員人事に関する内申について 6 平成30年度小・中学校の児童及び生徒数について 7 平成30年度保育園・幼稚園の園児数について 8 伊東市立図書館の特別開館について 9 各課報告
3月定例会 30年3月23日(金)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度伊東市教育行政の基本方針について 2 伊東市就学援助要綱の一部を改正する告示について 3 伊東市立小学校臨時的任用教職員設置要綱について 4 平成30年度伊東市一般会計教育費当初予算及び伊東市教育行政の主要事業について 5 平成30年度小中学校教職員の人事異動(案)について 6 平成30年度幼稚園・保育園職員及び小・中学校職員(市職員)の人事異動(案)について 7 春季休業中における教職員の服務及び学校(園)施設等の管理について 8 平成29年度学年末休業及び平成30年度学年始休業における小中学校の児童生徒指導上の留意事項について 9 各種教育支援員の就業規程の改定について 10 伊東市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について 11 伊東市立伊東幼稚園湯川分園の貸出し延長について 12 伊東市青少年健全育成活動応援補助金交付要綱について 13 伊東市公立学校職員の自家用車の公務使用に関する要領の一部を改正する訓令について 14 伊東市公立学校処務規程の一部を改正する訓令について 15 市議会3月定例会の報告について(予算大綱質疑、一般質問、補正予算) 16 各課報告

6 総合教育会議

総合教育会議は、平成27年4月1日に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により設置が定められたもので、市長が招集し市長と教育委員会により構成される。

総合教育会議は市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議調整の場であり、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としている。

総合教育会議の主な役割は、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備等の重点的に講ずべき施策の協議及び児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき施策の協議とされており、平成29年度は12月25日に開催した。

- (1) 日 時 平成29年12月25日(月) 午後3時～午後4時30分
- (2) 場 所 伊東市役所高層棟 5階中会議室
- (3) 出席者 伊東市長 小野達也 教育長 高橋雄幸
教育長職務代理者 井上靖史 教育委員 山本香織
教育委員 沼田芳美 教育委員 村上恵宏
- (4) 事務局 教育部長 荻島友一 次長兼教育総務課長 鈴木健支
教育指導課長 杉本博昭 幼児教育課長 岸 弘美
生涯学習課長 富士一成
企画部長 中村一人 行政経営課長 西川豪紀
教育総務課課長補佐 太田靖久 主事 長谷川雄也
- (5) 議 題 (1) 大綱について
(2) 教育の条件整備等の施策について
(3) その他
- (6) 傍聴者 0人

Ⅲ 教育行財政

1 平成30年度 伊東市教育行政の基本方針及び主要事業

(1) 基本方針

伊東市教育委員会は、第四次伊東市総合計画の政策目標である「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」の実現を目指し、国際的な視野を持ち、自ら学ぶ生涯学習の理念に立った基本方針を次のように定めます。

また、地域住民の意向を反映した教育行政の推進に向け、総合教育会議における市長との協議、県教育委員会や関係機関等との連携、さらには、伊東市教育大綱を踏まえた夢と希望を育む様々な施策の推進を通じ、本市教育の活性化と発展に一層力を入れ、市民の期待と信頼に応えるよう努めます。

① 夢や希望をもつ子どもの育成に努めます。

ア 子どもたちに主体的に学ぶ意欲を育み、基礎基本の知識及び技能と発達段階に即した適切な学習習慣の定着を図ることで、「学びを楽しむ力」を高めます。

イ 子どもたちの自己肯定感・自己有用感を高め、社会性を育むとともに、規範意識や忍耐力、思いやりの心など、「人として備えたい力」が確実に身に付くようにします。

ウ 子どもたちの生活習慣及び食習慣を整え、丈夫で健康な体を育成するとともに、緊急時には迅速に対応するなど「命を守る力」の向上を目指します。

② 夢や希望を育む園・学校の基盤を大切にします。

ア 地域の特性や特色を生かし、創意工夫した教育課程を編成するとともに、PDCAサイクルを機能させ、信頼される学校づくりを進めます。

イ 積極的に広報・広聴活動を行い、家庭や地域の学校に対する理解を深め、学校・家庭・地域社会が連携・協同する体制を構築します。

ウ 美しく整った校内環境と明るい挨拶の習慣化を特に重視し、子どもたちに豊かな情操を育てる環境（物的・人的）を整備します。

エ 良好な教育環境を確保するため、小中学校施設の維持管理や計画的な施設改修・整備、耐震化、情報教育等を推進するとともに、長期的視点に立った学校施設の適正な配置のあり方についての検討も進めます。

オ 安心・安全で魅力のある学校給食を実施し、給食を通じた食育の推進を図ります。

カ 質の高い幼児教育、保育を進めるとともに、子ども・子育て支援新制度への移行を踏まえ、誰もが安心して保育サービスを受けることができるよう子育て支援の充実に努めます。

③ 文化を高め教養を豊かにする生涯学習の場の充実と質の向上を目指して、地域、家庭、学校が相互につながって活性化していくよう支援するとともに、各施設等の整備を進めます。

ア 市民の要望に応じた学習機会の提供と地域拠点施設の充実に努めます。

イ 人間形成の基盤となる家庭教育の充実に支援します。

ウ 幅広い分野の情報提供に向け図書館運営事業の充実・推進を図ります。

- エ 「市民一人一スポーツ」を目指し、健康・体力づくりの充実に努めます。
- オ 市と市民の役割を明確にするとともに、市民の自主的な文化活動を促進し、「市民一人一文化」の実現を目指します。
- カ 後世へ伝えるべき貴重な文化財の保護と歴史を伝えるための市史資料整理事業を推進し、郷土への愛着を育みます。
- キ 地域、家庭、学校が連携して行う青少年の健全育成活動等の充実に支援します。
- ④ 目的指向の行財政運営に努め、社会の変化に対応した活気ある教育行政の展開、職員の人材育成を目指します。
 - ア 事務局組織の機動力を高めるため、市長部局及び関係機関との連携、組織内の「報告・連絡・相談」の充実に努め、迅速で的確な事業推進に努めます。
 - イ 事務局内組織や事業、予算の執行・編成等の見直しを絶えず図り、市の将来を担う人材育成に努めます。
- ⑤ 上記①～④の方針について、評価の観点を明確にした自己点検と学識経験者の知見を活用した年度末評価を行います。その評価を踏まえ、次年度の教育課題や方向性を明確にします。

(2) 主要事業

- ① 保・幼・小・中学校施設等充実事業
 - ア 広野保育園園舎改修事業
 - イ 小・中学校校舎トイレ改修工事（旭小・南中）
 - ウ 小・中学校屋上防水等工事（富戸小・宇佐美中・南中）
 - エ 中学校屋内運動場照明設備LED化工事（南中）
- ② 小中学校校務支援システム導入事業
教職員の多忙化解消のため、校務支援システムを導入
- ③ 小・中学校情報教育推進事業
教育のICT化に向け、学校の意見を踏まえたICT機器の導入の検討
- ④ 長期的視点に立った教育施設の再編
 - ア 教育施設の適正配置の検討
 - イ 学区の適正化の検討
- ⑤ 学校給食事業
 - ア 安心・安全で魅力のある給食を実施するとともに、給食を通じ食育及び地産地消の推進を図る。
 - イ 学校給食センターを核に本市の学校給食の更なる魅力向上と将来に渡って安全で安定的に提供できる体制の実現を図る。
- ⑥ 子どもたちの学びへの支援の充実
 - ア 小学校低学年学級支援
 - イ 特別支援教育支援
 - ウ 学校司書配置
 - エ 通級指導教室支援

- オ 多人数学級支援
- カ 外国人英語指導者配置
- キ ICT支援員配置
- ⑦ いじめや不登校等の悩みを受けとめる教育相談の充実
 - ア 教育相談室
 - イ 適応指導教室「なぎさ」
 - ウ スクールソーシャルワーカー
 - エ 学校心理士
- ⑧ 教職員の資質向上、授業改善の推進
 - ア 教科等指導員・研究員・アドバイザー制度
 - イ 教育研究奨励賞
 - ウ 研究指定校
 - エ 特別支援教育
 - オ 特別支援教育アドバイザー配置
- ⑨ 書道教育推進事業
 - 全10小学校で実施
- ⑩ 教育の機会均等の確保
 - ア 就学援助
 - イ 特別支援教育就学奨励
 - ウ 育英奨学金事業
- ⑪ 保育園事業
 - ア 保育園の新設 小規模保育園ちゅうりっぷ（利用定員18人）の開設
 - イ 市内の保育園
 - ・ 市立保育園 5園（指定管理者：八幡野保育園を含む。）
 - ・ 私立保育園 5園
 - ・ 私立小規模保育園 1園
 - ウ 保育の内容
 - ・ 通常保育 月曜日～土曜日
7時30分～18時（公設公営保育園4園）
7時～18時（私立保育園5園、指定管理者1園、小規模保育園1園）
 - ・ 特別保育 休日保育事業、一時預かり事業、延長保育事業、地域子育て支援拠点事業、病児保育事業
 - エ 給食事業
 - 衛生やアレルギー食等に配慮し、園児が元気に生活できるように正しい食生活と栄養バランスのとれた食育を目指す。
- ⑫ 地域子育て支援拠点施設の充実
 - ア 伊東ショッピングプラザデュオ内に地域子育て支援拠点施設の開設
 - イ 市内の地域子育て支援拠点
 - ・ 健康福祉センター内 1か所

- ・ 公立保育園 2か所（指定管理者：八幡野保育園含む。）
- ・ 私立保育園 4か所（デュオ内に開設後は3か所）

ウ 事業内容

- ・ 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・ 子育て等に関する相談、援助の実施
- ・ 地域の子育て関連情報の提供
- ・ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）

⑬ 放課後児童クラブ

- ア 昼間、保護者が就労等で不在である小学校に就学している児童を対象に、遊びを主体とする健全育成活動を行う児童クラブ
- イ 市内に8クラブ（児童数20人～80人）
- ウ 管理運営は育成会により実施

⑭ 幼稚園事業

- ア 市立幼稚園の保育内容の充実
- イ 市立幼稚園の子育て支援機能の向上（預かり保育実施園：宇佐美、八幡野、荻、富士見）
- ウ 私立幼稚園の支援
- エ 特別支援教育の充実
- オ 市立幼稚園のあり方の検討

⑮ 生涯学習施策の総合的な推進及び施設整備

- ア 生涯学習についての広報及び啓発
- イ 学習相談の実施、学習指導者の確保
- ウ 生涯学習の拠点施設として、生涯学習センターやコミュニティセンターの活用を推進し、地域の特色を活かした効率的な管理運営を図る。
- エ 生涯学習センター及びコミュニティセンターの計画的な修繕及び施設の充実

⑯ 心豊かな人生をつくり出す成人の学習機会の充実

- ア 多様化する市民の学習意欲に応えるための「市民大学講座」の開設
- イ 高齢者を対象とした講座「いでゆ大学」の開設
- ウ 市民の自主グループ学習活動の奨励

⑰ 人間形成の基礎を培う家庭教育の充実

- ア 家庭教育向上のための「楽しく学ぶ子育て講座」の開設など保護者の学習機会の拡充及び学習内容の充実
- イ 家庭教育支援員との連携による家庭教育に関する相談事業の推進
- ウ 家庭教育啓発資料の編集及び配付

⑱ 生涯学習施設として魅力ある図書館事業の推進

- ア 子どもの読書推進を図るため、講演会、ワークショップを開催し、出張読み聞かせや読書通帳の配付、スタンプラリーを実施
- イ 毎週土曜日の読み聞かせ会、季節ごとのおはなし会等の実施と指導者の育成
- ウ 赤ちゃんと保護者がゆっくりと向き合い、心ふれあうひと時を持つきっかけを

作るブックスタート事業の充実

エ 月曜祝日の振替火曜休館日及びゴールデンウィーク中の特別開館を実施

オ 企画展の開催、一般書・児童書特集コーナーの設置

カ 遠隔地への移動図書館車の運行

キ 郷土に関する図書資料の収集

ク DVD、CD等の視聴覚資料及び大活字本や点字図書の充実

ケ インターネット蔵書公開システムの運用

コ 情報検索のための利用者用インターネット開放

⑱ 市民一人一スポーツの振興

ア 市民の自主的スポーツ活動の奨励とスポーツ関係団体の育成支援

イ スポーツ推進委員の資質向上と活動強化

ウ 市民の体力向上を目指すスポーツ祭、オレンジビーチマラソン大会及び駅伝競走大会等の開催

エ スポーツ施設の計画的な整備と有効利用の促進

オ 学校体育施設開放の利用環境の整備

カ 静岡県市町対抗駅伝競走大会への参加及び選手の強化

⑲ 郷土に根ざした香り高い芸術文化と歴史文化の振興と継承

ア 芸術文化の鑑賞と市民の芸術文化活動の発表の場である芸術祭の開催

イ 木下杢太郎記念館の施設整備と資料収集の充実及び特別展の開催

ウ 市内所在の文学碑を対象とした全国公募の拓本コンクールの開催

エ 文化財の保護・保存と愛護精神の普及及び活動

オ 開発に対する発掘調査による文化財の周知及び出土物整理作業の実施

カ 文化財管理センターにおける出土文化財及び歴史民俗資料の公開展示並びに保管

キ 伊東市文化基本構想をもとに、市民の芸術文化活動の奨励と文化団体育成の推進

ク 市史編さん資料の整理、保存及び活用

ケ 伊東市史通史編「伊東の歴史Ⅱ」の刊行と「伊東の歴史Ⅲ」の原稿を作成

⑳ 地域との連携による青少年の健全育成

ア 青少年育成活動団体の支援

イ 「小学生ふるさと教室」「小学生の船」を始めとする地域の特性を活かした体験学習や講座の充実

ウ 子どもの居場所づくりのため「放課後子ども教室」の拡充

エ 青少年補導センターの適正な運営と非行防止の推進

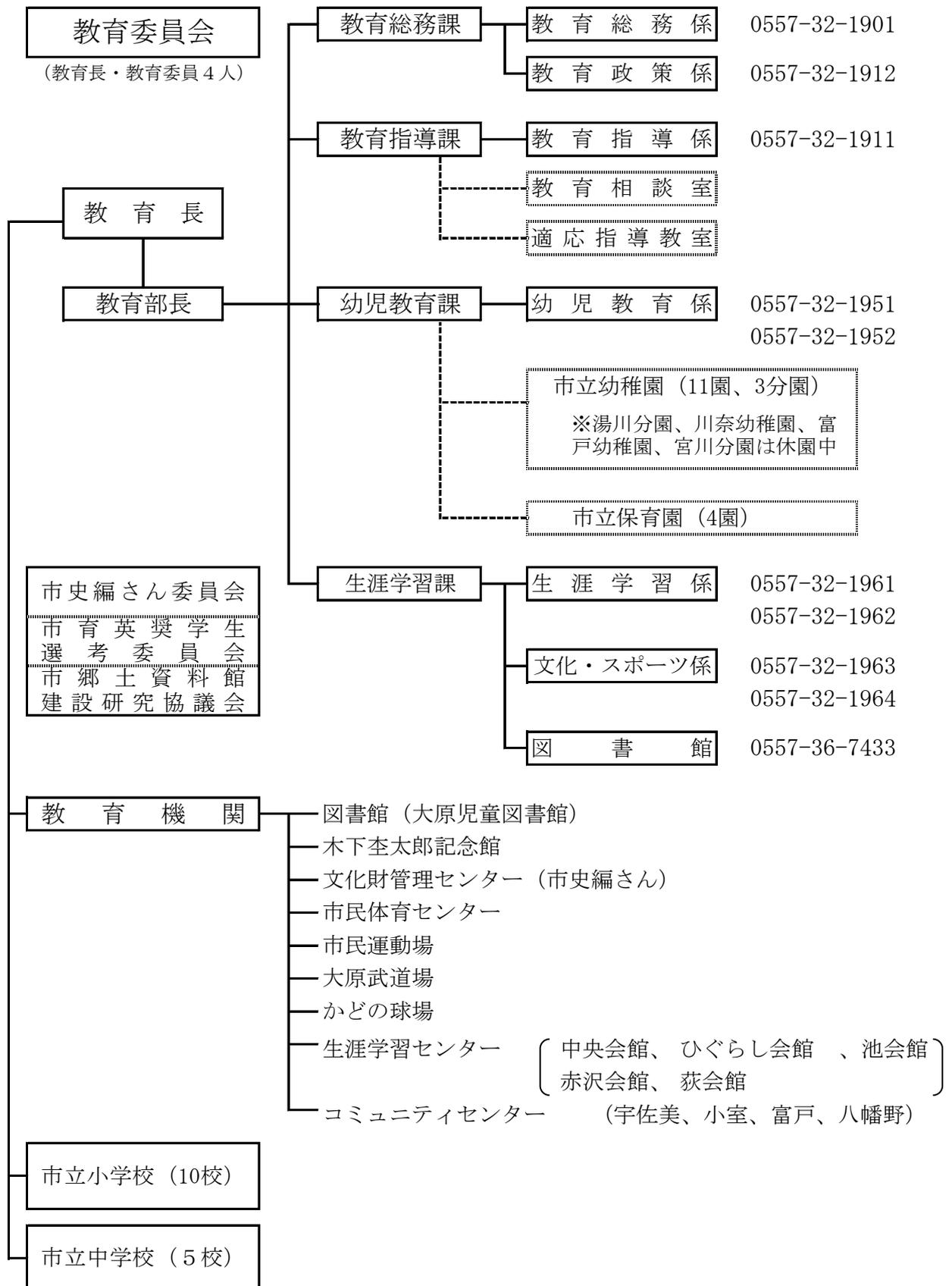
オ 厳粛で温かみのある成人式の開催

カ あいさつ運動の推進

キ 善行賞の実施

2 平成30年度 伊東市教育委員会の組織機構

所在地 伊東市大原二丁目1番1号 代表電話 0557-36-0111
F A X 0557-37-8117



3 教育委員会業務分掌

(1) 教育総務課の分掌事務

教育総務係

- ① 教育委員会その他の会議の招集及び議案に関すること。
- ② 条例、規則及び規程に関すること。
- ③ 告示及び令達に関すること。
- ④ 公印の管守に関すること。
- ⑤ 褒章及び表彰に関すること。
- ⑥ 職員の人事、服務、給与、研修及び福利厚生に関すること。
- ⑦ 交際に関すること。
- ⑧ 学校基本調査に関すること。
- ⑨ 各課の連絡調整に関すること。
- ⑩ 所掌事務に係る広報及び教育行政に関する相談に関すること。
- ⑪ 教職員住宅に関すること。
- ⑫ 寄附に関すること。
- ⑬ 所管の教育財産に関すること。
- ⑭ 小、中学校の財務及び施設の維持管理に関すること。
- ⑮ 県費教職員に関わる叙勲の提出に関すること。
- ⑯ 課内の庶務及び財務に関すること。
- ⑰ 総合教育会議に関すること。
- ⑱ 小、中学校施設の危機管理に関すること。
- ⑲ その他、他の課に属さない事項に関すること。

教育政策係

- ① 通学区域の設定及び改廃に関すること。
- ② 所管の教育機関の設置廃合に関すること。
- ③ 学校給食に関すること。
- ④ 学校給食センターの管理及び運営に関すること。
- ⑤ 就学奨励に関すること。
- ⑥ 育英奨学金に関すること。

(2) 教育指導課の分掌事務

教育指導係

- ① 学籍に関すること。
- ② 学級編制に関すること。
- ③ 教育課程の作成に関すること。
- ④ 教科内容の取扱いに関すること。
- ⑤ 教科書及び教科用図書採択に関すること。
- ⑥ 教材及び教具の選択に関すること。
- ⑦ 学校評価に関すること。
- ⑧ 学校経営に関すること。

- ⑨ 教職員の服務及び研修に関すること。
- ⑩ 学習指導及び生徒指導に関すること。
- ⑪ いじめ防止対策に関すること。
- ⑫ 学校教育各種行事に関すること。
- ⑬ 学校図書館に関すること。
- ⑭ 教育研究団体の指導及び助成に関すること。
- ⑮ 学校保健に関すること。
- ⑯ 日本スポーツ振興センターに関すること。
- ⑰ 教育相談に関すること。
- ⑱ 就学指導に関すること。
- ⑲ 退職校長の人事台帳の管理編成に関すること。
- ⑳ 課内の庶務及び財務に関すること。
- ㉑ 小、中学校の児童、生徒に対する危機管理に関すること。

(3) 幼児教育課の分掌事務

幼児教育係

- ① 保育業務の運営指導に関すること。
- ② 幼稚園の財務及び施設に関すること。
- ③ 私立幼稚園の助成に関すること。
- ④ 保育園の財務及び施設に関すること。
- ⑤ 民間保育所に関すること。
- ⑥ 保育料に関すること。
- ⑦ 所管施設の設置廃合に関すること。
- ⑧ 所管職員の人事に関すること。
- ⑨ 地域子育て支援センターの管理及び運営に関すること。
- ⑩ 放課後児童健全育成事業に関すること。
- ⑪ 伊東市幼児施設連絡調整協議会に関すること。
- ⑫ 保育園、幼稚園の施設及び園児に対する危機管理に関すること。
- ⑬ 子ども・子育て会議に関すること。
- ⑭ 子ども・子育て支援事業計画に関すること。
- ⑮ 子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)に係る支給認定及び教育・保育給付に関すること。
- ⑯ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者の確認、指導等に関すること。
- ⑰ 社会福祉法人の指導監査及び設立認可等に関すること。
- ⑱ 課内の庶務及び財務に関すること。

幼稚園

幼稚園の管理運営に関すること。

保育園

保育園の管理運営に関すること。

(4) 生涯学習課の分掌事務

生涯学習係

- ① 社会教育委員会その他の会議に関する事。
- ② 社会教育団体等の指導育成に関する事。
- ③ 生涯学習に係る調査、企画、研究並びに総合調整に関する事。
- ④ 生涯学習施設、公民館等の管理及び運営に関する事。
- ⑤ 生涯学習情報の収集及び交換並びに生涯学習情報刊行物の発行に関する事。
- ⑥ 成人教育等に関する事。
- ⑦ 視聴覚教育に関する事。
- ⑧ 家庭教育学級に関する事。
- ⑨ コミュニティ活動に関する事。
- ⑩ 女性教育並びに女性団体の指導育成及び指導者養成に関する事。
- ⑪ 青少年問題協議会に関する事。
- ⑫ 青少年補導センターに関する事。
- ⑬ 青少年教育並びに青少年団体の指導育成及び指導者養成に関する事。
- ⑭ 青少年教育施設に関する事。
- ⑮ 課内の庶務及び財務に関する事。
- ⑯ 生涯学習課所管施設の危機管理に関する事。

文化・スポーツ係

- ① 市史関係資料の調査、収集及び保存に関する事。
- ② 市史の編集及び刊行に関する事。
- ③ 伊東市史編さん委員会に関する事。
- ④ 埋蔵文化財の発掘調査及び管理に関する事。
- ⑤ 文化財の保護に関する事。
- ⑥ 芸術文化活動に関する事。
- ⑦ 木下杢太郎記念館の管理及び運営に関する事。
- ⑧ 文化財管理センターの管理及び運営に関する事。
- ⑨ 文化財保護審議会に関する事。
- ⑩ 文化振興会議に関する事。
- ⑪ 生涯スポーツの企画立案及び指導普及に関する事。
- ⑫ スポーツ推進委員に関する事。
- ⑬ スポーツ関係団体の指導育成に関する事。
- ⑭ スポーツ施設の整備、管理及び運営に関する事。
- ⑮ 学校施設の利用に関する事。
- ⑯ その他スポーツに関する事。

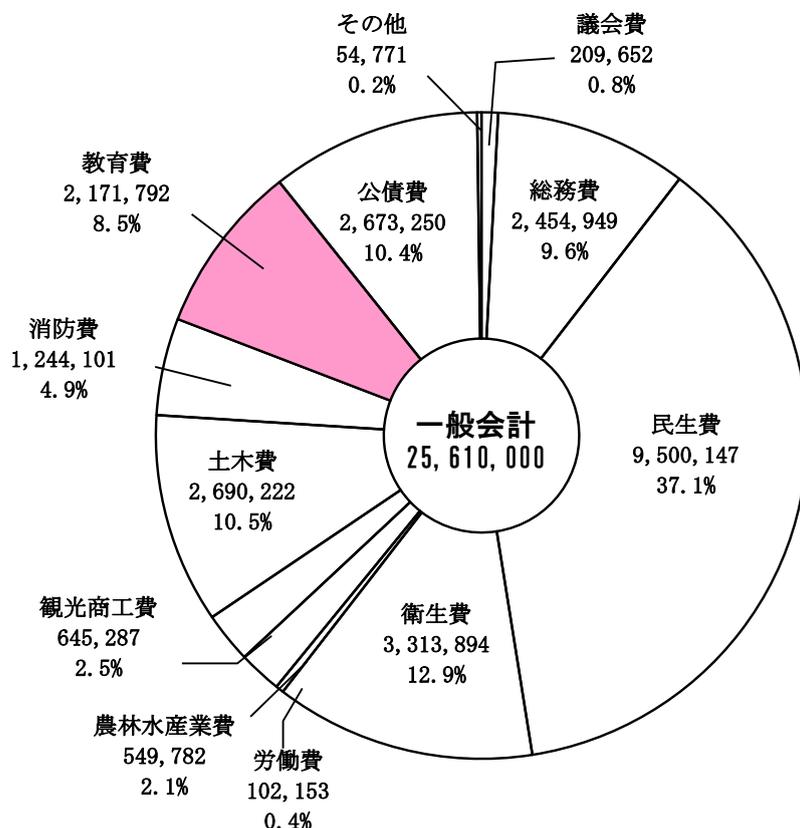
図書館

- ① 図書館法第3条に定める奉仕及び業務
- ② 前号に定めるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

4 教育予算

平成30年度一般会計に占める教育費の割合（当初予算）

（単位：千円）



一般会計に占める教育費の推移（当初予算）

（単位：千円）

年度	一般会計予算	教育費予算	割合 %
9	25,180,000	2,877,768	11.4
10	24,050,000	2,305,977	9.6
11	23,720,000	2,019,918	8.5
12	21,850,000	2,046,937	9.4
13	22,300,000	2,338,067	10.5
14	21,370,000	2,135,584	10.0
15	21,350,000	2,045,308	9.6
16	22,930,000	1,891,969	8.3
17	21,810,000	1,831,856	8.4
18	21,029,800	1,801,999	8.6
19	21,677,000	1,699,342	7.8
20	21,310,000	1,705,052	8.0
21	20,980,000	1,758,320	8.4
22	22,474,000	1,642,997	7.3
23	22,880,000	1,658,345	7.2
24	22,050,000	1,577,696	7.2
25	24,050,000	1,632,045	6.8
26	23,660,000	1,726,455	7.3
27	25,400,000	3,018,473	11.9
28	25,660,000	2,371,483	9.2
29	25,700,000	2,283,203	8.9
30	25,610,000	2,171,792	8.5

平成30年度教育費目別予算（当初予算）

（単位：千円）

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
教 育 総務費	教育委員会費	1,616	0	1,616	1,566	103.2
	事務局費	134,858	37	134,821	139,870	96.4
	教育指導費	194,757	72,864	121,893	155,322	125.4
	育英奨学費	38,681	38,123	558	20,273	190.8
小学校 費	学校管理費	216,323	12,921	203,402	202,588	106.8
	学校建設費	49,943	40,600	9,343	177,659	28.1
中学校 費	学校管理費	112,306	408	111,898	110,921	101.2
	学校建設費	82,000	62,666	19,334	76,000	107.9
幼稚園 費	幼稚園管理費	467,807	73,887	393,920	433,574	107.9
	幼稚園建設費	2,500	0	2,500	73,000	3.4
社 会 教育費	社会教育総務費	72,304	8,662	63,642	80,688	89.6
	生涯学習推進費	75,731	16,643	59,088	75,475	100.3
	図書館費	63,455	79	63,376	61,756	102.8
	木下奎太郎記念館費	3,999	600	3,399	3,916	102.1
	文化財保護費	26,552	1,900	24,652	26,572	99.9
	市史資料管理費	18,613	1,030	17,583	19,060	97.7
保 健 体育費	学校保健体育費	32,941	1,778	31,163	33,764	97.6
	社会体育費	75,980	40,098	35,882	73,518	103.3
	学校給食費	501,426	177,034	324,392	517,681	96.9
合 計		2,171,792	549,330	1,622,462	2,283,203	95.1

総務費

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
総 務 管理費	コミュニティ振興費	53,448	14,994	38,454	43,461	123.0

民生費（保育園）

科 目		予 算 額	左記の財源内訳		前 年 度 当初予算額	前 年 度 対 比 率
項	目		特定財源	一般財源		
児 童 福祉費	児童福祉施設費	1,446,618	594,096	852,522	1,349,105	107.2

5 平成30年度 教育関係主要事業

(款) 教育費

◎は、新規事業 ☆は、拡充事業

[単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
☆要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業	27,500	・既存の就学支援に加え、入学準備費の早期 支給及び通学費支援を図る事業
*適応指導教室事業	870	・不登校児童生徒のための適応指導教室の運 営事業
*小学校低学年学級支援事業	3,346	・支援員による低学年の学級支援
*特別支援教育支援事業	19,167	・教育上特別の支援を必要とする児童生徒の 学習のために支援員を配置する事業
☆通級指導教室支援事業	4,384	・発達障害のある園児・児童のための通級指 導教室に支援員を配置する事業（平成30 年度から1学級増設）
◎特別支援教育アドバイザー 配置事業	1,000	・特別な支援を必要とする児童・生徒への対 応能力向上を図るためアドバイザーを配置 する事業
*学校司書配置事業	4,866	・学校図書館を計画的に活用した教育活動を 進める事業
◎中学校部活動補助事業	5,000	・市内中学校の部活動に対し、活動のための 費用に対する補助
*放課後児童健全育成委託事 業	64,137	・放課後児童の健全育成を、8小学校区に 設置の児童クラブ育成会に委託する事業
☆外国人英語指導者配置事業	24,000	・幼稚園、小学校及び中学校での英語指導を 通し、国際理解教育を推進する事業（3人 から5人に体制を強化）
*いじめ・不登校対策事業	771	・社会福祉士及び学校心理士に協力を得て いじめや不登校の未然防止・早期発見・ 早期対応を図る事業
*ジオパーク総合学習事業	1,263	・市内小学校の児童が、総合学習や理科の校 外学習において身近なジオパークを見学 し、自然環境について学習する事業
☆育英奨学金事業	38,681	・高校・大学の学費等の資金の一部を貸付け 及び給付することで、経済的な理由で修学 困難な学生を支援する事業
◎小中学校校務支援システム 導入事業	16,234	・学校内の情報共有と教職員の負担軽減等の ため、市内小中学校に校務支援システムを 導入する事業

事業名	金額	事業内容等
*小中学校校舎トイレ改修事業	80,000	・旭小学校及び南中学校のトイレの洋便器増設、ドライ化等の改修をする事業
*小中学校屋上防水事業	32,000	・富戸小学校、宇佐美中学校及び南中学校の屋上防水を改修することで雨漏りの防止と建物の長寿命化を図る事業
*中学校屋内運動場照明設備LED化事業	12,000	・南中学校の屋内運動場の照明を水銀灯からLEDへ改修し、電気代の節約、照度の向上及び照明落下防止対策を図り、安全安心な学校環境を整備する事業
*市立幼稚園一時預かり事業	17,355	・実施済3園（宇佐美・八幡野・荻）に加え、新たに富士見分園で預かり保育を実施する事業
◎私立幼稚園施設型給付及び一時預かり委託事業	81,801	・子ども子育て支援制度に基づき、市内の私立幼稚園2園に施設型給付と一時預かりを実施する事業
*伝統文化育成補助事業	1,500	・子どもたちに伝統芸能及び生活文化を体験・習得させる事業を行う市民団体等に対する補助
◎青少年育成戦略応援補助事業	3,000	・青少年活動の推進及び発展を目的とする団体等に対する補助
*小学生の船体験事業	1,514	・伊豆大島2泊3日 参加予定50人
*放課後子ども教室推進事業	1,968	・安全な活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ、交流活動等を推進する事業
*市史資料管理事業	9,059	・伊東市史通史編の刊行に係る経費
*県市町対抗駅伝競走大会委託事業	1,650	・第19回静岡県市町対抗駅伝競走大会への参加に係る委託料
*社会体育施設管理運営事業	46,248	・市民体育センター、市民運動場、かどの球場、大原武道場の指定管理委託料等 ・青少年キャンプ場管理委託料、トレーニング器械保守点検委託料及び借上料
*学校開放事業	1,440	・学校施設の一部開放に伴う受付事務委託料及び緊急的な修繕に要する費用
*体育協会補助事業	2,000	・地域スポーツの振興で重要な役割を担っている体育協会に対する運営補助
*学校給食センター調理運搬洗浄等委託事業	129,730	・中学校3校（南・北・対島）及び小学校5校（東・川奈・大池・南・旭）にセンター方式により給食を提供する事業

事業名	金額	事業内容等
*学校給食地産地消推進事業	11,000	・地場産の食材を使用した「ふるさと給食」を提供する事業

(款) 総務費 ◎は、新規事業 ☆は、拡充事業 [単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
◎コミュニティセンターエレベーター更新事業	10,000	・老朽化した宇佐美コミュニティセンターのエレベーター更新事業

(款) 民生費 ◎は、新規事業 ☆は、拡充事業 [単位：千円]

事業名	金額	事業内容等
*保育人材育成支援事業	7,380	・市内保育園の人材不足解消のため、保育士、保育補助者を育成する事業
*八幡野保育園指定管理委託事業	110,000	・八幡野保育園の指定管理委託料
*玖須美保育園一時預かり事業	4,874	・待機児童削減のため玖須美保育園で一時預かり保育を実施する事業
◎広野保育園保育室改修事業	4,300	・乳幼児の受入人数を増やすため、基準に応じた改修を実施する事業
◎小規模保育事業所施設整備費補助事業	21,836	・平成30年7月開設予定の小規模保育事業所の建設費への助成
◎小規模保育事業所運営給付及び運営補助事業	24,823	・平成30年7月開設予定の小規模保育事業所への運営給付費、病児・病後児保育事業委託及び運営補助
◎待機児童削減サポート補助事業	3,240	・待機児童削減を目的に、認可外保育施設、企業主導型保育事業所の利用料軽減を図る施設に対する助成
◎地域子育て支援拠点整備事業	5,000	・伊東ショッピングプラザデュオ内で地域子育て支援拠点を整備する事業

6 伊東市育英奨学制度

本市の奨学金制度は、優秀でありながら学資の支弁が困難な学生（生徒）に対し、有為な人材育成を目的として、学資の一部を支弁することとしている。

国の給付型奨学金創設を受け、平成29年度からは給付型奨学生の採用を終了し、それに代えて、奨学金月額増額及び入学一時金の新設を行うとともに、卒業後伊東市内に居住している場合は返還金の2分の1を免除するインセンティブ（Uターン支援）制度を設け、制度の充実を図った。

育英奨学事業

募集時期	毎年4月
募集方法	一般募集・校長推薦
採用条件	・市内に居住する者又はその子弟で高校、大学等に在学中 ・心身健全、成績優良で学資支弁が困難
選考方法	書類選考
奨学金の種類	貸与（次の金額はいずれも上限額） 月額奨学金 高校生等 30,000円 大学生等 50,000円 入学一時金 高校生等 300,000円 大学生等 600,000円
決定人員	平成30年度新規※ 高校生等1人 大学生等23人 前年度からの継続 給付 高校生等1人 大学生等2人 貸与 高校生等0人 大学生等24人
交付期間	入学から卒業までの正規の修業期間
返還方法	卒業後1年経過後から10年割賦で返還

※ 平成30年度の決定人員については、当初予算での予定採用人数

奨学金の改定変遷

年 度	高校生等	大学生等	備 考
昭和26年	500円	1,800円	奨学金制度開始
昭和27年	800円		
昭和29年		2,100円	
昭和35年			規則化
昭和36年	1,000円		
昭和43年	1,500円		
昭和45年		3,000円	
昭和46年	3,000円	5,000円	
昭和49年	5,000円	10,000円	
平成元年	8,000円	15,000円	
平成3年	10,000円	20,000円	基金設置、給付制度新設
平成29年	30,000円	50,000円	給付採用終了、半額免除新設

育英奨学基金（平成29年度末現在）

区 分	28年度末現在高	29年度中増減	29年度末現在高
現金預金	46,260,125円	△839,533円	45,420,592円

IV 学校施設管理

1 学校施設管理

本市教育委員会の管理学校数は、幼稚園14園（ただし、伊東幼稚園湯川分園、川奈幼稚園、富戸幼稚園及び宇佐美幼稚園宮川分園は休園中）、小学校10校、中学校5校である。

市立幼稚園では、3～5歳児の入園希望者全員の入園を実施している。

3歳児保育については、平成11年6月に川奈幼稚園で試行実施を行い段階的に推進し、平成12年度は宇佐美幼稚園、富戸幼稚園の2園において実施したほか、平成13年度は宇佐美幼稚園宮川分園、南幼稚園と同園の富士見分園において実施、平成14年度は竹の台幼稚園で実施、平成15年度は鎌田幼稚園、荻幼稚園で実施、平成16年度は伊東幼稚園、同園湯川分園、池幼稚園で実施、平成17年度は吉田幼稚園において実施、平成20年度は八幡野幼稚園で実施され、現在は、休園中の4園を除いた全10園で行っている。

また、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、幼稚園児の父母の就労支援を目的とした預かり保育を、平成28年度に宇佐美幼稚園及び八幡野幼稚園において実施し、平成29年度から荻幼稚園においても実施している。

園児数の動向については、依然として続く出生率の低下により、昭和48年度の2,023人から年々減少し、平成30年度はピーク時の22.7%となる460人にまで減少し、少子化に歯止めがかかっていない。

なお、平成6年に休園とした竹の台幼稚園新井分園を平成28年4月1日を以て廃園とした。

小学校児童数は、昭和54年度の7,422人をピークに減少が続き、平成30年度はピーク時の36.3%となる2,697人となっている。

5年前（平成25年度）の児童数と比較すると、全ての小学校で生徒数が減少しており、川奈小学校50.8%、八幡野小学校18.3%、旭小学校17.5%、大池小学校16.6%、南小学校15.1%の減少となっている。

また、中学校生徒数は昭和57年度の3,696人をピークに減少が進み、5年前との生徒数比較では、全ての中学校で生徒数が減少しており、北中学校29.6%、門野中学校22.4%、宇佐美中学校21.0%、南中学校11.6%、対島中学校が2.6%減少し、本年度の生徒数はピーク時の40.6%となる1,501人となっている。

平成29年度の施設工事については、小中学校11校（東小、西小、川奈小、大池小、宇佐美小、八幡野小、旭小、南中、北中、宇佐美中、対島中）の校舎の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付、小中学校5校（南小、大池小、富戸小、池小、対島中）の屋内運動場の窓ガラスへの飛散防止フィルムへの貼付、東小・宇佐美小の校舎トイレ改修工事、対島中の外壁塗装工事等を行った。

また、平成28年7月に学校給食センターが完成し、2学期から給食の提供を開始した。これにより、小中学校全校で完全給食が実施された。

2 幼稚園、保育園、小・中学校建設のあゆみ

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
明6			富戸小（仮校舎永昌寺）創立、宇佐美学舎（宇小）、川奈小（福西氏宅外）、克明学舎第2支校（大池小）、八幡野学舎（八小）	
7			八幡野学舎校舎新築	
19			池小廃校	
20			八幡野学舎分校（池小）創立	
22	町村制施行（伊東・小室・宇佐美・対島）			
29			伊東尋常高等小学校（西小）創立 宇佐美尋常小校舎新築	
31			八幡野小校舎新築移転	
32			川奈尋常小校舎取得（民家買収）	
39	伊東町となる			
43			八幡野小校地拡張・校舎増築	
45			川奈尋常高等小学校新築	
大8			池尋常小校舎新築	
11		私立伊東幼稚園創立		
15		私立を町立伊東幼稚園とし創立		
昭4			宇小講堂新築・校舎移築	
5			伊東尋常高等小分教場（東小）創立	
7	県立伊東高等女学校		川奈尋常高等小校舎改修・運動場拡張	
12			八幡野小校地拡張	
13	国鉄伊東線開通12月			
14			伊東尋常高等小学校（独立開校）	
15			八幡野小校舎新築	
16			伊東国民学校（東小）校舎増築	
20		伊幼分園増設（仏現寺・本然寺）		
22	伊東町小室村が合併、市制施行 市立伊東高等女学校		大池小校舎増築	伊東中創立、宇佐美中創立、八幡野教場（対島中）、富戸教場創立
23	市紋章を制定 伊東高校として開校	新井幼稚園創立 伊幼分園廃止		六三制実施
24	キティ台風来襲 キネマ通り大火	伊幼第一分園（湯川）創立 新井分園を第2分園に改称 宇佐美幼稚園創立	大池小給食室新築 八幡野小校地拡張	伊東中グラウンド・野球場完成 宇佐美中校舎新築
25	国際観光温泉文化都市の指定		大池小給食室増築 富戸小校舎増築	宇佐美中運動場拡張
26			東小講堂新築・運動場整備	宇佐美中校舎本館改修
27	市立図書館新館開館	伊幼園舎移転新築		八幡野教場校舎新築
28		伊幼第三分園（竹の台）創立 八幡野幼稚園創立	大池小運動場拡張	伊東中体育館兼講堂新築
29		富戸幼稚園・池幼稚園創立	宇佐美小給食室新築 八幡野小運動場拡張	
30	宇佐美村・対島村の2か村を合併 市立公民館新設	私立吉田幼稚園創立	川奈小校舎新築	北中学校創立、南中プール完成
31	市庁舎落成	伊幼第三分園園舎移転新築	池小校舎新築	北中校舎新築
32	伊東こどもの歌発表 第12回国体開催	川奈幼稚園創立 宇佐美幼稚園敷地拡張		南中学校校舎新築 宇佐美中校舎新築
33	狩野川台風来襲	富戸幼稚園園舎改築		
34	大川橋完成、通学橋完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園創立	池小給食室新築 東小講堂校舎補修	対中運動場拡張
35	伊東ユースホステル開設 私たちの郷土伊東発行	八幼園地拡張・園舎移転新築	大池小校舎新築 八幡野小校舎・給食室増築 宇佐美小講堂全面改修	宇佐美中校舎（技）新築
36	伊豆急行開通	第一分園を湯川分園、第二分園を新井分園、第三分園を竹の台分園に改称 吉田幼稚園新園舎	西小講堂火災	南中校舎増築、北中体育館新築、宇佐美中校舎（技機室）新築
37	交通安全都市宣言		大池小教室蛍光灯施設 池小プール完成	
38	伊東商業高等学校開校 伊東市民の歌発表		宇佐美小校舎（第1期）新築	

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
39		伊東幼稚園鎌田分園創立 湯川保育園創立	宇佐美小校舎（第2期）新築	対島中校舎（技）増築
40	諏訪市と姉妹都市提携			北中校舎（理）増築
41			富戸小校舎新築 宇佐美小運動場整備	対島中校舎（音・美）増築 対島中富戸分校廃止
42	いでゆ橋完成、海浜プールオープン、市民憲章制定	伊幼鎌田分園舎移転新築 玖須美保育園創立	東小校舎増築 八幡野小撒水施設設置	
43	交通災害共済制度発足	伊幼竹の台分園南小分室創立	東小プール完成 富戸小体育館完成	
44	小室山総合グラウンド完成 アスバック川奈会議	南幼稚園創立 玖須美保育園舎増設	南小校舎完成・創立	
45	城星市民運動場完成		東小物見塚歩道橋完成 八幡野小プール・体育館完成・運動場拡張整備	宇佐美中校舎新築
46		富戸幼稚園園舎移転新築		宇佐美中体育館完成 対島中運動場拡張
47		吉田幼稚園が市立幼稚園となる 広野保育園創立	東小南校舎火災 川奈小体育館完成・南小校舎増築 宇佐美小プール完成	
48	あさひ橋完成	さくら保育園創設	旭小学校創立 宇佐美小校舎増築 川奈小プール完成	対島中体育館完成 北中運動場拡張
49	下水道共用開始	八幡野幼稚園園舎移転新築 南幼稚園富士見分園創立 鎌田幼稚園移転新築 富戸保育園創立	西小校舎新築	
50		宇佐美幼稚園宮川分園創立 荻幼稚園創立 伊幼新井分園舎移転新築	西小体育館完成 旭小プール完成	北中校舎（美・技）増築
51	人口7万人達成	宇佐美保育園創立	富戸小プール完成	対中校舎新築・運動場整備
52	伊東高等学校新築 諏訪市「海の家」開設	富士見保育園遊戯室増設	大池小校舎新築・運動場整備 池小校地取得	南中A棟新築
53	伊豆大島近海地震 伊豆近海群発地震		富戸小校舎地震被害	南中B棟新築
54	勤労者体育センター完成	富士見保育園園舎増設	富戸小地震被害復旧、南小校舎増築、東小校舎移転新築、大池小体育館完成	
55	伊豆半島東方沖（川奈崎）群発地震、社会教育センター完成、市民運動場ナイター設備完成		富戸小群発地震校舎被害	宇佐美中運動場拡張
56	観光会館別館完成	南幼稚園園舎移転新築 玖須美保育園築工事	東・西・南小プール完成 宇佐美小体育館完成 富戸小校舎新築	北中防球ネット設置
57	イギリス・ジリンガム市と伊東市が初めて海外友好都市提携		川奈小校舎新築・運動場整備、富戸小校舎移転新築、南小東校舎新築、宇佐美小撒水栓設置	
58	城ヶ崎高等学校開校、移動図書館「ともだち号」開始		大池小校舎新築	南中体育館完成
59			池小校舎新築 富戸小運動場整備	
60	イタリアリエティ市と友好都市提携 木下幸太郎記念館オープン		八幡野小校舎移転新築	対島中部室（野・庭）新築 新設門野中学校用地造成工事開始
61			南小体育館火災・復旧 八幡野小袴線橋完成 池小運動場フェンス設置	宇佐美中防球ネット設置
62		吉田幼稚園園舎移転新築	八幡野小体育館完成 西小校舎耐震補強 大池小プール完成	宇佐美中防球ネット設置 門野中学校創立
63	宇佐美コミュニティセンター完成 松原大火		西小体育館天井改修 富戸小撒水栓設置	宇佐美中防球ネット設置 対島中校舎耐震補強
平 元	伊豆東方沖群発地震 手石海丘噴火 奥野ダム完成	池幼稚園園舎移転新築 富士見保育園園舎改築	大池小校庭整備	北中校舎新築・運動場拡張整備 宇佐美中校舎耐震補強 対島中プール用地取得
2	斎場完成	幼稚園園児1学級定数35人に改定 伊東幼稚園本園焼失 さくら保育園園舎改築	南小運動場側溝改修 旭小校舎耐震補強 東小校舎内窓ガラス飛散防止	南中校舎C棟改築・門野中プール完成、北中プール完成・バックネット設置、宇佐美中運動場整備・夜間照明設置

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
3	小室コミュニティセンター完成	川奈幼稚園園舎改築 宇佐美幼稚園園舎改築 富戸保育園移転新築	八幡野小プール完成 富戸小学校庭整備	対島中プール完成 対島中防球ネット設置
4	八幡野コミュニティセンター完成 伊東市文化功労賞設置	川奈幼稚園園庭整備 宇佐美幼稚園園庭整備	宇佐美小校舎改築 西小校庭整備	南中校庭整備、北中パソコン教室設置、宇佐美中多目的室設置、対島中夜間照明設置
5	新庁舎建設着工		宇佐美小校舎・屋内運動場改築 西小プール完成 川奈小校庭整備	北中テニス・バレーボールコート整備 対島中部室完成
6	ひぐらし会館完成 かどの球場完成	伊東幼稚園園舎改築 吉田幼稚園園庭整備 南幼稚園富士見分園園庭整備 竹の台幼稚園新井分園休園	宇佐美小プール完成・運動場整備・ 撒水栓設置・図工室改修	北中音楽室改修
7	教育相談室開設、文化財管理センター完成、富戸コミュニティセンター完成	竹の台幼稚園改築	大池小学校屋外運動場整備 旭小学校通学路防災整備	
8	生涯学習センター池会館完成 大原武道場完成 伊東国際交流協会設立	伊東幼稚園湯川分園解体 宇佐美保育園で地域子育て支援センター開始	東小学校屋内運動場改築、大池小学校校舎増築、八幡野小学校撒水栓整備・運動場整備、旭小学校通学路防災整備	宇佐美中学校屋内運動場及び屋内水泳プール完成 門野中学校給食室新築
9	体育文化施設予約管理システム稼働、図書館コンピュータシステム導入、情報公開制度スタート	荻幼稚園園舎増築 八幡野幼稚園進入路建設	旭小学校通学路防災整備	南中学校屋外水泳プール完成 門野中学校給食開始
10	生涯学習センター赤沢会館完成 適応指導教室開設	宇佐美幼稚園宮川分園屋上防水及び外壁補修 湯川保育園移転新設 湯川保育園で地域子育て支援センター開始	小学校給食施設・設備改修 小学校空気調和設備設置 南小学校屋外運動場撒水栓設備設置	教育用コンピュータ整備（3校） 南中学校放送機器改修
11	3歳児保育の開始 市史編さん事業開始	6月1日から川奈幼稚園において3歳児保育を実施 南幼稚園浄化槽改修工事・園内部補修 富士見分園非常階段撤去	西小学校給食施設・設備改修・空気調和設備設置 川奈小学校屋内運動場改修 南小学校屋外水泳プール補修 宇佐美小学校児童用玄関ドア改修 旭小学校浄化槽解体	南・宇佐美中学校空気調和設備設置 対島中学校放送機器改修
12	総合的な学習の試行	3歳児保育を宇佐美及び富戸幼稚園で実施	富戸小学校給食施設改修 西小学校屋上防水 八幡野小学校テラス補修 旭小学校管理棟防水 東小学校給食リフト改修	南中学校部室改築 南中学校技術科棟補修 宇佐美中学校放送設備改修 門野中学校屋内運動場渡り廊下塗装 南中学校浄化槽改修 対島中学校バスケットゴール改修 門野中学校浄化槽改修
13	生涯学習センター荻会館完成 男女共同参画プランの策定	八幡野幼稚園排水施設整備 川奈幼稚園通園路手すり等設置 3歳児保育を宇佐美宮川分園・南幼稚園及び富士見分園で実施 市立保育園全園での休日保育事業開始	池小学校プール建設 旭小学校プール塗装 南小学校給水管改修 南小学校照明器具改修 小学校パソコン教室改修 川奈小・南小学校給食用リフト改修 池小学校浄化槽改修	宇佐美中学校照明器具改修 南中学校渡り廊下等補修 宇佐美中学校トイレ改修 対島中学校渡り廊下塗装 門野中学校浄化槽改修 門野中学校高鉄棒取替 校内LAN工事（対島、門野、北）
14	新学習指導要領始まる 教育問題懇話会設置	鎌田幼稚園改築 宇佐美幼稚園下水道接続 3歳児保育を竹の台幼稚園で実施 八幡野保育園創立 ※委託契約（休日保育事業・地域子育て支援センター・延長保育事業開始） 伊豆栄光荻保育園創立 ※私立保育園（休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業開始）	川奈小学校給食施設改修 小学校校舎トイレ改修 旭小学校屋内運動場防水 宇佐美小学校下水道接続	宇佐美中学校下水道接続 対島中学校校舎トイレ改修 南中学校排水施設建設
15	第58回国民体育大会開催 伊東市民体育センター（名称変更）	伊東幼稚園湯川分園改築 3歳児保育を鎌田幼稚園及び荻幼稚園で実施 八幡野保育園で一時保育事業開始	川奈小学校プール塗装 大池小学校校舎屋根補修 小学校校舎トイレ改修 小学校門扉設置 富戸小学校倉庫設置	宇佐美中学校校舎防水 北中学校屋外運動場整備 南中学校校舎床等補修 北中学校屋内運動場床補修
16	地域子ども教室推進事業始まる	吉田幼稚園園舎増築 池幼稚園園舎屋根塗装 伊東幼稚園湯川分園庭整備 3歳児保育を伊東幼稚園・湯川分園及び池幼稚園で実施	校内LAN工事（10校） 東小学校校舎改修 小学校門扉設置 旭小学校屋外運動場傾斜面補修	北中学校校舎防水 門野中学校浄化槽改修 南中学校排水施設整備 校内LAN工事（北、宇佐美）
17	あいさつ運動の推進	3歳児保育を吉田幼稚園で実施 川奈幼稚園テラス等改修 富戸幼稚園園舎屋根等改修 川奈愛育クラブ創立 ※私立保育園（休日保育事業・地域子育て支援センター・一時保育事業・延長保育事業・乳幼児健康支援一時預り開始）	旭小学校校舎防水 南小学校給水設備改修 川奈小学校屋内運動場防水 八幡野小学校屋外運動場整備 大池小学校給食リフト改修	対島中学校校舎防水 宇佐美中学校旧用務員宿舎解体 南中学校高架水槽改修

年度	伊東のあゆみ	幼稚園・保育園	小学校	中学校
18	伊東市書道教育特区 (南小学校を指定)	3歳児保育の2次募集で学区解消 宇佐美幼稚園宮川分園園舎改修 幼稚園園舎改修 八幡野保育園が指定管理者への委託 となる(平成22年までの5年間)	大池小学校屋内運動場床改修 大池小学校トイレ改修 大池小学校給食施設改修 池小学校屋内運動場防水等 富戸小学校校舎屋上等補修 八幡野小学校校舎屋上等補修 旭小学校校舎補修	北中学校屋内運動場防水 門野中学校校舎防水 北中屋内運動場放送設備改修
19	伊東市書道教育特区 (東小学校を指定)		南小学校トイレ改修工事 旭小学校トイレ改修工事 西、富戸、南小学校防水等工事 池小学校地下ポンプ室内補修工事 宇佐美小学校給食施設改修工事	門野中学校下水道接続工事 南中学校グラウンド等改修工事 宇佐美中学校屋内運動場床補修工事 対島中学校校舎改修工事
20		幼稚園園舎改修工事(富戸、南幼稚園 富士見分園) 保育まつりを幼稚園・保育園で合同開 催	東・西・八幡野・池小学校トイレ改修 南小学校給食施設の改修 保育まつりを幼稚園・保育園で合同開 催 宇佐美小学校児童玄関扉改修工事	北中学校テニスコート通路舗装工事 宇佐美・対島中学トイレ改修工事 対島中学校グランドフェンス取替工事 対島中学校校舎ベランダ手摺改修工 事
21		富戸保育園が指定管理者への委託と なる(平成22年までの2年間) 幼稚園園舎改修工事(川奈)	池小学校屋内運動場防水工事 南小学校浄化槽改修 大池小学校給食室改修工事 南小学校屋内運動場耐震補強工事	北中学校校舎等トイレ改修工事 対島中学校校舎補修工事 南中学校プール補修工事 南中学校太陽光発電装置設置工事 対島中学校屋内運動場耐震補強工事
22		湯川保育園が指定管理者への委託と なる(平成23年までの2年間) 八幡野幼稚園耐震補強工事	宇佐美小学校給食室改修工事 大池小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎トイレ等改修工事 宇佐美中学校防球ネット改修工事
23		八幡野保育園が指定管理者への委託 となる(平成27年度までの5年間) 伊豆栄光富戸保育園設置認可(伊東 市立富戸保育園廃止) 富戸幼稚園園舎耐震補強工事	西小学校杉の子教室改修工事	南中学校校舎耐震補強工事 (平成24年度までの2年間) 門野中学校テニスコート改修工事 北中学校特別教室機能移転工事
24		伊豆栄光湯川保育園設置認可 (伊東市立湯川保育園廃止)	池小学校屋内運動場耐震補強工事 富戸小学校屋内運動場耐震補強工事	南中学校校舎耐震補強工事
25	本市初の親子給食が東小・川奈小間で 開始される		南小学校校舎トイレ改修工事 川奈小プール塗装工事	
26	本市で2校目となる中学校給食が親子 給食(宇佐美小・宇佐美中)により開始 される 木下空太郎記念館が国登録有形文化 財になる	伊東幼稚園湯川分園休園	西小学校屋内運動場改築工事 大池小学校校舎トイレ改修工事 宇佐美小中給食施設整備工事	南中学校進入路歩道整備工事 南中学校技術科棟及び浄化槽解体工 事
27	総合教育会議を開催し大綱を策定 江戸城石垣石丁場跡が国史跡になる 川奈ホテル本館・田舎家が国登録有形 文化財になる オレンジビーチマラソン50回目を迎え る	子ども・子育て支援新制度施行 園舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (幼:鎌田、南、富士見分、吉田、荻) (保:富士見、玖須美、広野、宇佐美) つくし保育園創立(私立保育園) 野間自由幼稚園が新制度に移行	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム 貼付 (東、川奈、宇佐美、八幡野、旭) 川奈小屋内運動場天井落下防止工事	屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム 貼付 (南、北、宇佐美、門野) 大規模空間吊り天井落下防止工事 (南中武道場・宇佐美中屋内プール) 南中学校太陽光発電設備設置工事
28	伊東市学校給食センター完成 市民体育センター耐震化工事	竹の台幼稚園新井分園廃園 川奈幼稚園休園 さくら保育園をさくら園に名称変更 宇佐美幼稚園園舎改修工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (富戸、池、南) 小学校校舎トイレ改修工事(八幡野、 池) 大池小学校駐車場整備工事 南小学校校舎屋上防水工事 小学校プール塗装工事(八幡野、旭)	中学校給食の完全実施 門野中学校校舎窓ガラス飛散防止フ ィルム貼付 中学校校舎トイレ改修工事(北、対島)
29	市政施行70周年 教育大綱改定 育英奨学制度改正(奨学金の増額、入 学一時金・Uターン支援制度の新設) 図書館予約本受取サービス開始(生涯 学習センター池会館)	南幼稚園富士見分園園舎耐震補強工 事 伊豆栄光なぎさ保育園認可(小規模保 育事業A型)	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (東、西、川奈、大池、宇佐美、八幡 野、旭) 屋内運動場窓ガラス飛散防止フィルム 貼付 (南、大池、富戸、池) 小学校校舎トイレ改修工事(東、西) 小学校校舎屋上防水工事(東、池) 南小学校下水道設備接続工事	校舎窓ガラス飛散防止フィルム貼付 (南、北、宇佐美、対島) 対島中学校屋内運動場窓ガラス飛散 防止フィルム貼付 対島中学校校舎外壁塗装工事

3 教育施設一覧

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	敷地面積	建 物 面 積													プールサイズ		
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	校 舎			屋内運動場		その他建物（プール附属室、倉庫等）			大	小			
						鉄筋	鉄骨	木造	鉄筋	鉄骨	鉄筋	鉄骨	木造					
東小	S5. 8	20,371	11,796	8,575		6,974	6,974			1,522	1,522		35		35		25×10	
西小	M29. 3. 7	14,845	8,990	5,093	762	7,254	7,254			1,213		1,213	122		122		25×10	8×3
川奈小	M6. 8. 25	9,464	4,014	5,222	228	1,882	1,882			583		583	67		35	32	25×10	
大池小	M6. 11. 3	19,547	7,976	6,774	4,797	5,199	5,199			652		652	66		36	30	25×10	
宇佐美小	M6. 6	15,613	7,456	8,157		7,885	7,874	11		1,233		1,233	350	128	119	103	25×12	10×4
八幡野小	M6. 6	14,764	6,988	7,278	498	3,411	3,411			1,036		1,036	96		77	19	25×10	
富戸小	M6. 7. 25	17,802	6,385	11,417		2,898	2,898			600		600	31	18		13	25×10	10×6
池小	M6	9,824	4,933	4,057	834	2,077	1,850	227		652		652	78			78	25×10	10×3
南小	S44. 4. 1	19,467	11,208	8,259		6,851	6,851			1,222		1,222	35		35		25×10	
旭小	S48. 4. 1	28,900	7,327	6,973	14,600	6,138	6,138			795	795		76	18	58		25×10	
小 学 校 計		170,597	77,073	71,805	21,719	50,569	50,331	238		9,508	2,317	7,191	956	164	517	275		

※南小屋内運動面積には地下基礎部分の倉庫220㎡を含む

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	敷地面積	建 物 面 積													プールサイズ		
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	校 舎			屋内運動場		その他建物（プール附属室、倉庫等）			大	小			
						鉄筋	鉄骨	木造	鉄筋	鉄骨	鉄筋	鉄骨	木造					
南中	S22. 4. 1	40,510	17,653	22,087	770	8,039	8,039			2,700		2,700	205		4	201	25×17	
北中	S30. 4. 1	21,512	10,417	11,095		5,603	5,603			1,121	1,121		334	334			25×14	
宇佐美中	S22. 4. 1	11,240	5,307	5,933		4,282	4,282			1,427	1,427		336	268	68		25×13	
対島中	S22. 5. 3	20,705	8,520	12,185		3,978	3,935	43		1,145		1,145	361		261	100	25×13	
門野中	S62. 4. 1	30,494	13,662	14,463	2,369	5,651	5,651			1,609		1,609	282		282		25×13	
中 学 校 計		124,461	55,559	65,763	3,139	27,553	27,510	43		8,002	2,548	5,454	1,518	602	615	301		

(3) 幼稚園

幼稚園名	開設年月日	敷地面積	建 物 面 積										
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	園 舎			その他建物(倉庫等)				
						鉄筋	鉄骨	木造	鉄筋	鉄骨	木造		
伊東幼	T15. 4. 21	1,547	1,070	477		594	594						
湯川分園	S24. 9. 1	1,824	907	917		421			421				
竹の台幼	S28. 4. 10	1,416	788	628		477	477						
鎌田幼	S39. 4. 13	2,038	1,035	1,003		480			480				
川奈幼	S32. 1. 6	5,734	1,643	2,049	2,042	368			368				
宇佐美幼	S25. 2. 1	2,040	1,216	824		552			552	5			5
宮川分園	S50. 4. 1	2,403	1,103	1,300		780	780						
八幡野幼	S28. 7. 1	2,448	1,460	988		508		508					
富戸幼	S29. 5. 1	2,199	1,007	1,192		455		455					
池幼	S29. 4. 1	2,488	628	1,860		336			336	7			7
南幼	S44. 4. 4	2,634	1,091	1,543		616	616						
富士見分園	S50. 2. 1	2,500	1,220	1,280		756	756						
吉田幼	S47. 4. 11	2,449	1,030	1,419		376			376				
荻幼	S50. 4. 1	1,665	792	873		709	620	89					
幼 稚 園 計		33,385	14,990	16,353	2,042	7,428	3,843	1,052	2,533	12			12

(4) 保育園

保育園名	開設年月日	敷地面積	建 物 面 積						改築年月日	
			建 物 敷 地	運動場 敷 地	その他 敷 地	園 舎				
						鉄筋	鉄骨	木造		
富士見保育園	S34. 6. 1	3,615	682	2,933		682			682	H1. 3. 6
玖須美保育園	S42. 5. 8	2,520	1,034	564	922	1,262	1,262			H29. 7. 31
広野保育園	S47. 6. 1	1,840	579	600	661	579	579			
宇佐美保育園	S51. 4. 1	1,732	909	823		909	909			
保 育 園 計		9,707	3,204	4,920	1,583	3,432	2,750		682	

4 教職員住宅

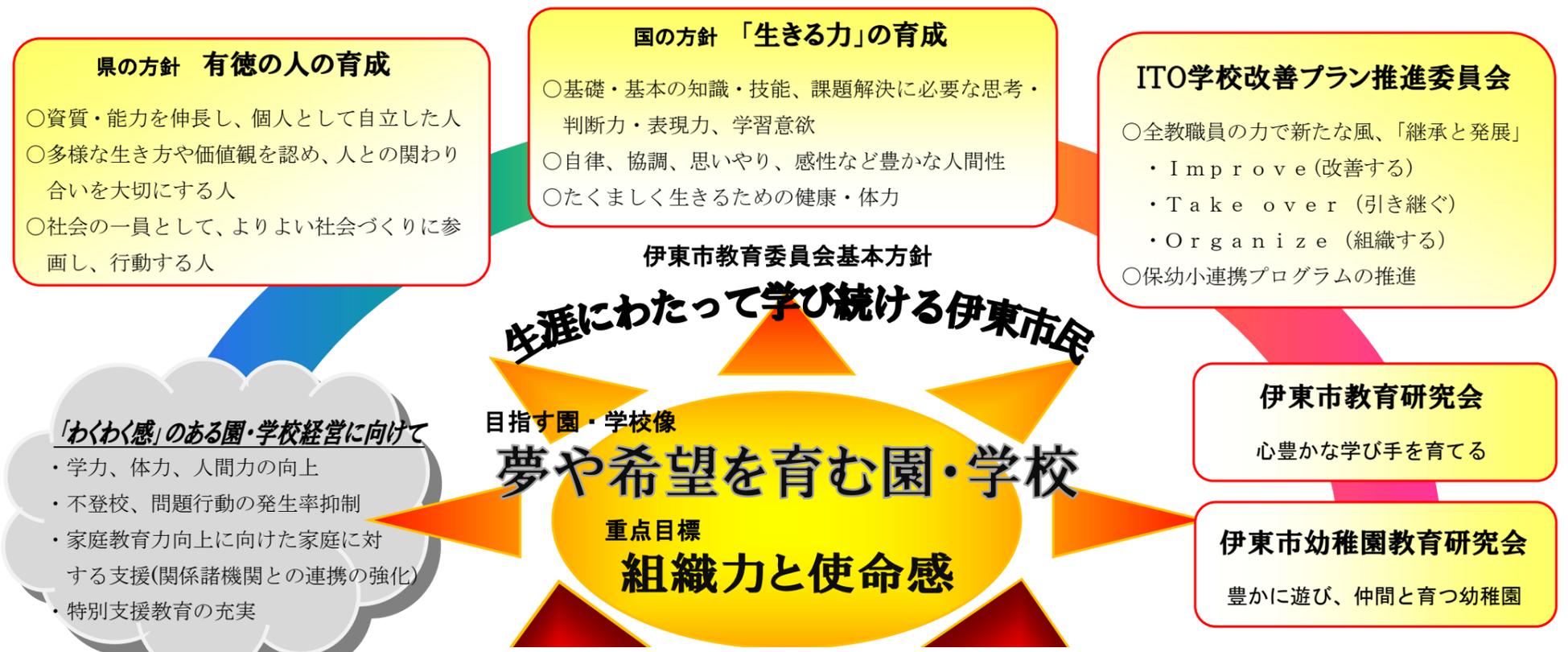
市立小中学校の教職員及びその家族に供するため、公立学校共済組合の建設資金を利用して市内4か所に教職員住宅が建設されたが、施設の老朽化に伴い赤坂住宅及び宇佐美住宅を平成22年度に、富士見住宅及び城星住宅を平成24年度にそれぞれ使用停止とした。

区 分	赤坂住宅	富士見住宅	宇佐美住宅	城星住宅
所 在 地	岡 1292-3	玖須美元和田 729-1	宇佐美 1827-1	玖須美元和田 716-137
建 設 年 度	昭和 39 年度	昭和 40 年度	昭和 43 年度	昭和 38 年度
敷 地 面 積	市 有 地 409.91 m ²	市 有 地 595.00 m ²	市 有 地 241.53 m ²	市 有 地 330.57 m ²
建 物 構 造	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205.80 m ²	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 6 戸 288.72 m ²	RC 陸屋根 2 階建 1 棟 4 戸 205.92 m ²	BC 簡易耐火 2 階建 2 棟 4 戸 208.72 m ²
使 用 停 止 年	平成 22 年度	平成 24 年度	平成 22 年度	平成 24 年度
備 考	—	平成27年5月29日 解体完了	—	平成26年4月25日 用途廃止

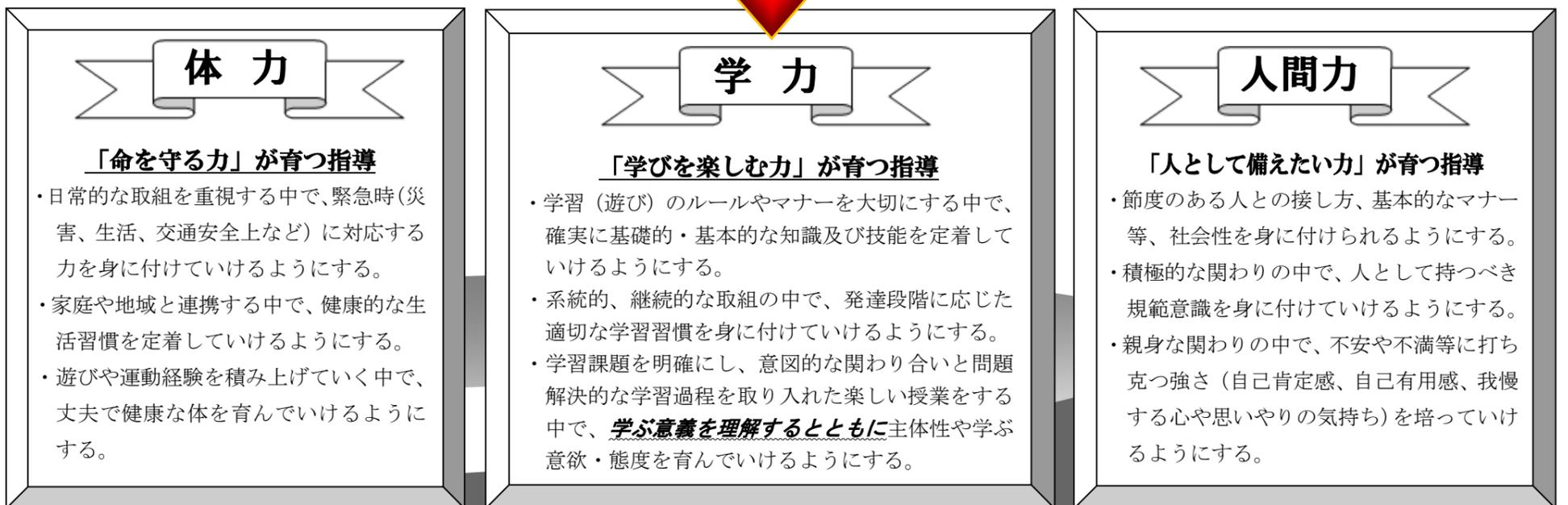
5 学校給食センター

中学校給食の完全実施を行うため伊東市学校給食センターを建設し、平成28年度2学期から小中学校8校への給食の調理・配送を開始した。

所 在 地	玖須美元和田729-1
完 成 年 月	平成28年7月
給 食 開 始	平成28年8月
建 物 構 造	鉄骨造り地下1階地上2階建
敷 地 面 積	4,093.62 m ²
延 床 面 積	2,571.21 m ²
調 理 方 法	ドライ方式
調 理 能 力	1日最大3,000食
給食実施校	東小学校、川奈小学校、大池小学校、南小学校、旭小学校、南中学校、北中学校、対島中学校



★目指す園・学校像に迫るための指導★



★実践事項★



★目指す園・学校像を具現化する上での必要条件★

園・学校と地域との信頼関係

組織を機能させる管理職
校長・園長のビジョン 教頭のセンサー

教職員と子どもの信頼関係

2 小・中学校、幼稚園、保育園一覧

(1) 小・中学校一覧

[平成30年4月1日現在]

	施設名	電話	FAX	所在地	所属長	備考
小 学 校	東小学校	37-2527	37-2526	大原二丁目2-6	飯田 俊光	
	西小学校	37-2049	37-4373	幸町1-5	黒澤 章	
	川奈小学校	45-0279	45-0600	川奈1083-1	鈴木 義昭	
	大池小学校	45-0076	45-4579	吉田824-4	井上 雅夫	
	宇佐美小学校	48-9014	47-1390	宇佐美1627-1	山下 悦男	
	八幡野小学校	53-0023	53-4023	八幡野976-1	渡邊 久士	
	富戸小学校	51-0008	51-3963	富戸1203-1	小形 丈晴	
	池小学校	54-0195	54-0196	池477-2	濱村 幸美	
	南小学校	45-0800	45-0801	玖須美元和田716-87	杉本 博昭	
	旭小学校	36-4000	36-4001	岡1270-1	石井 晴彦	
中 学 校	南中学校	37-2637	37-2842	玖須美元和田729-1	小田 靖久	
	北中学校	37-4468	37-5140	湯川360-1	木梨 晶功	
	宇佐美中学校	48-9037	48-9975	宇佐美1537-1	齋藤 秀輝	
	対島中学校	53-0046	53-1184	八幡野1128-3	稲葉 高士	
	門野中学校	37-7746	37-8843	鎌田1281-63	日吉 基史	

(2) 幼稚園・保育園一覧

[平成30年4月1日現在]

	施設名	電話	所在地	所属長	備考
幼 稚 園	伊東幼稚園	37-2182	桜木町一丁目1-17	三枝 真理子	
	竹の台幼稚園	37-4601	竹の台3-11	稲葉 有芽	
	鎌田幼稚園	37-1179	岡66-1	池田 千栄子	
	宇佐美幼稚園	48-9064	宇佐美1602-2	岩沢 幸代	
	八幡野幼稚園	53-0395	八幡野1189-55	相馬 恵美	
	池幼稚園	54-0296	池469-4	相馬 恵美	
	南幼稚園	45-0802	川奈1190-3	山田 さつき	
	富士見分園	36-6103	玖須美元和田729-1	山田 さつき	
	吉田幼稚園	45-0430	吉田452	近持 ゆう子	
	荻幼稚園	36-6227	荻18-1	大川 彩子	
保 育 園	富士見保育園	37-2179	玖須美元和田716-129	鈴木 さと子	
	玖須美保育園	36-6380	和田二丁目1-23	石井 ますみ	
	広野保育園	37-0575	広野三丁目3-28	稲本 眞由美	
	宇佐美保育園	47-3004	宇佐美610-20	高橋 安子	
	八幡野保育園	54-2700	八幡野1189-170	小坂谷 恵美子	公設民営
	伊豆栄光荻保育園	36-6603	荻601-13	根津 教一	民設民営
	川奈愛育クラブ	44-1400	川奈1267	林 英 美	民設民営
	伊豆栄光富戸保育園	51-1780	富戸45-1	根津 宣孝	民設民営
	伊豆栄光湯川保育園	37-5488	湯川三丁目8-10	力石 敦子	民設民営
	つくし保育園	48-7747	吉田584	平澤 幸子	民設民営
	伊豆栄光なぎさ保育園(小規模)	55-7473	静海町3-20	大橋 桂子	民設民営

3 平成30年度 教職員配置数

(1) 小中学校教職員数

平成30年5月1日現在(学校基本調査)

学 校 名	教員数											職員数							教職員 合計 (A)+(B)	市臨時職員					総 合 計			
	本 務 者								兼務者			計 (A)	県職員		市職員					計 (B)	事 務 員	養 護 師	栄 養 士	調 理 員		用 務 員		
	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	計	教 諭	栄 養 教 諭		講 師	事 務 員	栄 養 士	事 務 員	養 護 教 諭	栄 養 士									調 理 員	用 務 員
東 小	1	1		10	1				13		1	1	15	1					1	2	17						17	
西 小	1	1		21	1			1	25		1	1	27	1	2	1			4	1	9		1		1		38	
川 奈 小	1	1		4	1				7		1		8	1						1	9				1		10	
大 池 小	1	1		16	1			4	23	1	1		25	1		1				1	3	28					28	
宇佐美小	1	1		15	1			4	22			1	23	1	1					2	25				1		26	
八幡野小	1	1		14	1			3	20		1	1	22	1				1	4	6	28				1		29	
富 戸 小	1	1		7	1			2	12		1	1	14	1					2	1	4	18					18	
池 小	1	1		7	1			1	11		1		12	1				1	1	1	4	16					16	
南 小	1	1	1	23	1			5	32	1	1	2	36	2	1	1				1	5	41					41	
旭 小	1	1		9		1		1	13		1		14	1						1	2	16					16	
小 計	10	10	1	126	9	1		21	178	2	9	7	196	11	4	3		2	11	7	38	234		1		1	3	239
南 中	1	1	1	28	1		1	5	38	1		2	41	1		1				1	3	44		1			45	
北 中	1	1		11		1		1	15		1	3	19	1						1	20				1		21	
宇佐美中	1	1		11	1				14		1	3	18	1						1	19				1		20	
対 島 中	1	1		15	1				18		1		19	1						1	2	21					21	
門 野 中	1	1		16	1			2	21		1	1	23	1				1		2	25		1			1	27	
小 計	5	5	1	81	4	1	1	8	106	1	4	9	120	5		1		1		2	9	129	1	1			3	134
合 計	15	15	2	207	13	2	1	29	284	3	13	16	316	16	4	4		3	11	9	47	363	1	2		1	6	373

(2) 幼稚園教職員数

平成30年5月1日現在

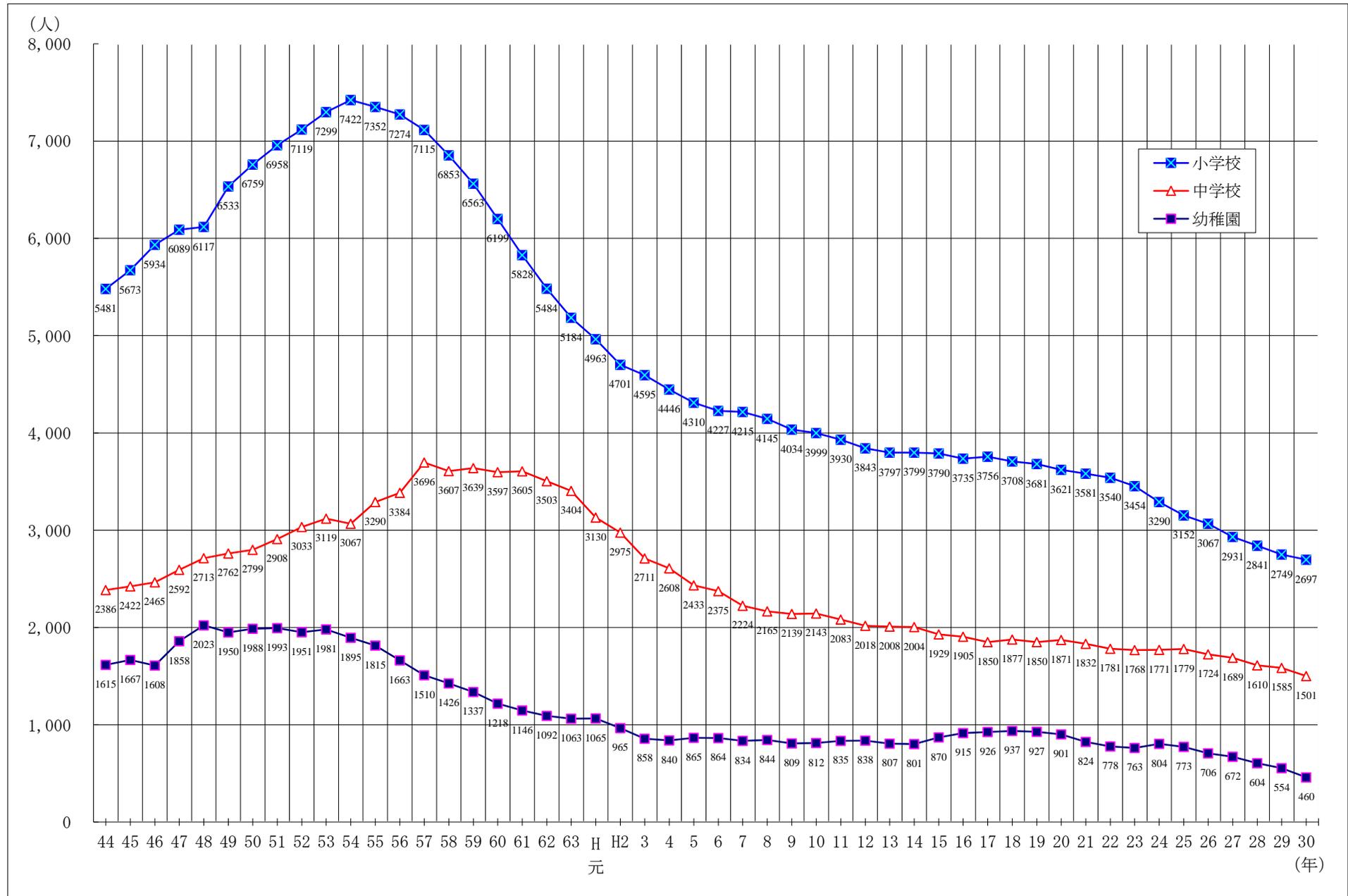
園名	教員数												職員数			教職員合計 (A)+(B)	教育補助員	臨時用務員	委託用務員	総合計	
	本務者							兼務者				計 (A)	計 (B)								
	園長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	計	園長	教頭	教諭		講師	養護教諭	用務員						
伊東幼稚園	1			3			1	5					5		1	1	6	2		8	
湯川分園	(休園中)																				
竹の台幼稚園	1			2			1	4					4				4			1	5
新井分園	(廃園)																				
鎌田幼稚園	1			2				3				1	4				4	1		1	6
川奈幼稚園	(休園中)																				
宇佐美幼稚園	1	1		3				5					5		1	1	6	5			11
宮川分園	(休園中)																				
八幡野幼稚園	1			3			1	5			1		6		1	1	7	5			12
富戸幼稚園	(休園中)																				
池幼稚園		1		2				3	1			1	5		1	1	6	1			7
南幼稚園	1	1		3			1	6					6				6	2		1	9
富士見分園		1		3			1	5					5		1	1	6	4			10
吉田幼稚園	1			3				4					4		1	1	5	2			7
荻幼稚園	1			4			1	6			1		7		1	1	8	5			13
合計	8	4		28			6	46	1		2	2	51		7	7	58	27		3	88

(3) 保育園職員数

平成30年5月1日現在

園名	職員								臨時職員					合計	備考
	園長	保育副園長	保育士	看護師	栄養士	調理員	用務員	小計	保育士	栄養士	調理員	用務員	小計		
富士見保育園	1	1	11			1		14	6		4	1	11	25	
玖須美保育園	1	1	15	1		2	1	21	7	1	2		10	31	(保育補助者を含む)
広野保育園	1	1	8			1		11	8		2	1	11	22	(子育て支援員を含む)
宇佐美保育園	1	1	14			1		17	5		3	1	9	26	育休中の者も含む。
計	4	4	48	1		5	1	63	26	1	11	3	41	104	

4 園児・児童・生徒数の推移



5 平成30年度 児童・生徒・園児数及び学級数集計表

(1) 小学校

平成30年5月1日現在

学年別 学校別	1 学年				2 学年				3 学年				4 学年				5 学年				6 学年				計				
	男	女	計	CL	男	女	計	CL																					
東	普通	13	20	33	1	14	17	31	1	14	20	34	1	14	22	36	1	20	12	32	1	21	16	37	2	96	107	203	7
	知的	1		1		1	1	2			2	2			1	1		3	2	5		2	1	3		7	7	14	2
	計	14	20	34	1	15	18	33	1	14	22	36	1	14	23	37	1	23	14	37	1	23	17	40	2	103	114	217	9
西	普通	28	20	48	2	30	17	47	2	24	20	44	2	29	24	53	2	23	28	51	2	28	27	55	2	162	136	298	12
	知的					1		1		1		1		1	1	2		2	1	3		1		1		6	2	8	1
	情緒		1	1		2		2		1	1	2		1		1		1		1		2		2		7	2	9	2
	計	28	21	49	2	33	17	50	2	26	21	47	2	31	25	56	2	26	29	55	2	31	27	58	2	175	140	315	15
川奈	2	1	3	1						5	5	0.5	3	5	8	0.5	3	3	6	1	3	7	10	1	11	21	32	4	
大池	42	33	75	3	39	35	74	3	29	40	69	2	30	32	62	2	41	44	85	3	40	33	73	3	221	217	438	16	
宇佐美	普通	36	28	64	2	30	20	50	2	23	35	58	2	41	16	57	2	40	30	70	2	27	33	60	2	197	162	359	12
	知的													2		2		3	1	4		1		1		6	1	7	1
	計	36	28	64	2	30	20	50	2	23	35	58	2	43	16	59	2	43	31	74	2	28	33	61	2	203	163	366	13
八幡野	普通	26	22	48	2	24	27	51	2	31	28	59	2	20	27	47	2	32	33	65	2	22	26	48	2	155	163	318	12
	知的					1		1						1		1		1		1						3		3	1
	計	26	22	48	2	25	27	52	2	31	28	59	2	21	27	48	2	33	33	66	2	22	26	48	2	158	163	321	13
富戸	10	15	25	1	7	5	12	1	11	11	22	1	6	13	19	1	10	11	21	1	15	8	23	1	59	63	122	6	
池	9	5	14	1	6	6	12	1	3	3	6	1	7	5	12	1	2	5	7	1	5	5	10	1	32	29	61	6	
南	47	38	85	3	62	53	115	4	50	52	102	3	44	64	108	4	54	46	100	3	57	55	112	4	314	308	622	21	
旭	22	14	36	2	18	12	30	1	18	10	28	1	14	14	28	1	18	23	41	2	18	22	40	2	108	95	203	9	
計	普通	235	196	431	18	230	192	422	17	203	224	427	16	208	222	430	17	243	235	478	18	236	232	468	20	1,355	1,301	2,656	105
	知的	1		1		3	1	4		1	2	3		4	2	6		9	4	13		4	1	5		22	10	32	5
	情緒		1	1		2		2		1	1	2		1		1		1		1		2		2		7	2	9	2
	肢体																												
	言語																												
	計	236	197	433	18	235	193	428	17	205	227	432	16	213	224	437	17	253	239	492	18	242	233	475	20	1,384	1,313	2,697	112

(2) 中学校

平成30年5月1日現在

学年別 学校別	1学年				2学年				3学年				計				
	男	女	計	CL													
南	普通	94	82	176	5	118	93	211	7	89	96	185	6	301	271	572	18
	知的	3	1	4		3	3	6		5	2	7		11	6	17	3
	情緒	1	2	3		1		1		1		1		3	2	5	1
	計	98	85	183	5	122	96	218	7	95	98	193	6	315	279	594	22
北	25	27	52	2	22	22	44	2	25	24	49	2	72	73	145	6	
宇佐美	27	21	48	2	33	40	73	3	32	31	63	2	92	92	184	7	
対島	51	39	90	3	48	54	102	3	50	52	102	3	149	145	294	9	
門野	38	55	93	3	45	44	89	3	52	50	102	3	135	149	284	9	
計	普通	235	224	459	15	266	253	519	18	248	253	501	16	749	730	1,479	49
	知的	3	1	4		3	3	6		5	2	7		11	6	17	3
	情緒	1	2	3		1		1		1		1		3	2	5	1
	計	239	227	466	15	270	256	526	18	254	255	509	16	763	738	1,501	53

(3) 幼稚園

平成30年5月1日現在

年齢別 園別	3歳児				4歳児				5歳児				計			
	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
伊東	9	9	18	1	4	3	7	1	7	6	13	1	20	18	38	3
湯川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
竹の台					4	5	9	1	6	3	9	1	10	8	18	2
鎌田	8	2	10	1	7	7	14	1	6	4	10	1	21	13	34	3
川奈	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
宇佐美	11	11	22	1	11	12	23	1	16	15	31	1	38	38	76	3
宮川	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
八幡野	13	5	18	1	15	16	31	1	10	12	22	1	38	33	71	3
富戸	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
池	2	3	5	1	9	4	13	1	4	3	7	1	15	10	25	3
南	1	3	4	1	7	6	13	1	11	10	21	1	19	19	38	3
富士見	6	14	20	1	12	10	22	1	10	11	21	1	28	35	63	3
吉田	3	5	8	1	9	8	17	1	6	5	11	1	18	18	36	3
荻	14	12	26	2	10	6	16	1	6	13	19	1	30	31	61	4
計	67	64	131	10	88	77	165	10	82	82	164	10	237	223	460	30

(4) 私立幼稚園

平成30年5月1日現在

年齢別 園別	3歳児				4歳児				5歳児				計			
	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL
野間	18	19	37	2	21	17	38	2	17	13	30	2	56	49	105	6
聖母	5	2	7		3	5	8		3	2	5		11	9	20	1
計	23	21	44	2	24	22	46	2	20	15	35	2	67	58	125	7

(5) 保育園(広域受託児童含む)

平成30年5月1日現在

園別	年齢別				0歳児				1歳児				2歳児				3歳児				4歳児				5歳児				計				備 考
	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	男	女	計	CL	
富士見					3	4	7	1	11	5	16	1	11	12	23	1	13	8	21	1	13	12	25	1	51	41	92	5	1・2歳児は混合				
玖須美	2	1	3	1	4	8	12	1	2	6	8	1	14	9	23	2	11	10	21	1	11	9	20	1	44	43	87	7	1・2歳児は混合				
広野					3	2	5		4	1	5	1	7	12	19	1	6	8	14	1	5	4	9	1	25	27	52	4	1・2歳児は混合				
宇佐美					7	8	15	2	9	4	13	1	5	13	18	1	9	13	22	1	14	4	18	1	44	42	86	6					
八幡野	4	3	7	1	7	5	12	1	4	10	14	1	9	8	17	1	9	9	18	1	10	6	16	1	43	41	84	6	公設民営(指定管理者)				
伊豆栄光荻	5	1	6	1	9	5	14	1	5	8	13	1	7	9	16	1	11	5	16	1	8	7	15	1	45	35	80	6	私立保育園				
川奈愛育クラブ	1	0	1	1	2	4	6	1	5	7	12	1	9	5	14	1	10	5	15	1	6	6	12	1	33	27	60	6	私立保育園				
伊豆栄光富戸	3	3	6	1	8	4	12	1	8	7	15	1	6	10	16	1	9	8	17	1	6	9	15	1	40	41	81	6	私立保育園				
伊豆栄光湯川	8	2	10	1	7	8	15	1	7	10	17	1	12	6	18	1	6	10	16	1	6	10	16	1	46	46	92	6	私立保育園				
つくし	6	2	8	1	10	5	15	1	7	8	15	1	8	5	13	1	8	7	15	1	6	9	15	1	45	36	81	6	私立保育園				
伊豆栄光なぎさ	4	1	5	1	5	6	11	1	1	3	4	1													10	10	20	3	私立小規模保育園				
合 計	33	13	46	8	65	59	124	11	63	69	132	11	88	89	177	11	92	83	175	10	85	76	161	10	426	389	815	61					

6 平成29年度 中学校等卒業生の進路

(平成30年3月卒業生)

学校名		南 中	北 中	宇佐美中	対島中	門野中	合計	
A 進学者	全 日 制 県 内	公立	167	35	53	64	80	399
		私立	39	17	12	16	15	99
		小計	206	52	65	80	95	498
	全 日 制 県 外	公立	1	1	2			4
		私立	3	1	3	2		9
		小計	4	2	5	2		13
	計		210	54	70	82	95	511
	定時制		2	1	1	1	3	8
	通信制		3	4	1	2	1	11
	高 専		1			2	1	4
	特別支援高等部		6					6
	合計		222	59	72	87	100	540
専 修 B 等 ・ C 入 学 者 D	専修(高等)							
	一般各種							
	職業能力開発校							
	計							
E	A~Dを除く就職者							
F	上記以外のもの		3	1	1	2	1	8
G	不詳死亡							
H	卒業生総数		225	60	73	89	101	548
就 職 者	Aの内							
	Bの内							
	Cの内							
	計							
進 学 率	A/H		98.7%	98.3%	98.6%	97.8%	99.0%	98.5%
	(A+B+C)/H		98.7%	98.3%	98.6%	97.8%	99.0%	98.5%

7 平成29年度 就学猶予・免除・死亡

区分	小学校			中学校			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
就学猶予・免除	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8 平成29年度 転入・転出児童生徒数

区分	校名	小学校										中学校					総計						
		東	西	川奈	大池	宇佐美	八幡野	富戸	池	南	旭	小計	南	北	宇佐美	対島		門野	小計				
市外	転入	7	3	3	5	5	(1)	9	0	1	7	(3)	(1)	(5)	45	(1)	2	1	0	1	(2)	(7)	53
	転出	1	2	2	7	7	(1)	8	0	1	5			(1)	33	4	1	1	2	3	11	(1)	44
市内	転入	0	8	0	2	3	1	0	0	5	0	19	2	0	1	0	1	0	1	4		23	
	転出	1	0	1	6	1	3	0	1	4	2	19	1	0	1	0	2	4				23	

※ () 内は、海外学校及び県立特別支援学校の転入出者数（内数）

9 学校給食

平成29年度 給食内容別実施内訳

区分	調理場	運営方法	実施校	児童生徒数 (H29.5.1現在)	説明
完全給食	単独校調理場	直営	注1 西小学校	321人	①小学校 ・1食単価260円（牛乳代を含む。） ・年間平均180回実施 ・月額給食費4,300円11か月徴収
			八幡野小学校	338人	
			富戸小学校	120人	
			池小学校	57人	
		委託	門野中学校	293人	②中学校（門野中学校を除く。） ・1食単価320円（牛乳代を含む。） ・年間平均182回実施 ・月額給食費5,300円11か月徴収

完全 給食	注2 宇佐美小学校 共同調理場	委託	宇佐美小学校	359人	③門野中学校 ・1食単価300円(牛乳代別) ・年間189回稼働・事前予約制 注釈1 西小学校 ・自校の給食のほか、併設する県立東 部特別支援学校伊東分校の給食も調 理 注釈2 宇佐美小学校共同調理場 ・平成26年2学期から開始 注釈3 給食センター ・平成28年2学期から開始
			宇佐美中学校	209人	
	注3 給食センター	委託	東小学校	215人	
			川奈小学校	33人	
			大池小学校	457人	
			南小学校	643人	
			旭小学校	206人	
			南中学校	637人	
			北中学校	153人	
			対島中学校	293人	

10 特別支援学級

障害のある児童・生徒に対する教育のため、伊東市就学支援委員会により、適切な就学支援を行っており、東小学校、西小学校、宇佐美小学校、八幡野小学校及び南中学校に特別支援学級を開設している。また、西小学校に言語通級指導教室及び自閉症及びLD、ADHD 通級指導教室を開設している。

平成30年度の特別支援学級の状況は、小学校4校（東小、西小、宇佐美小及び八幡野小）で7学級41人、中学校（南中）で4学級22人が在籍している。

なお、この他、静岡県立東部特別支援学校伊東分校及び川奈分校がある。

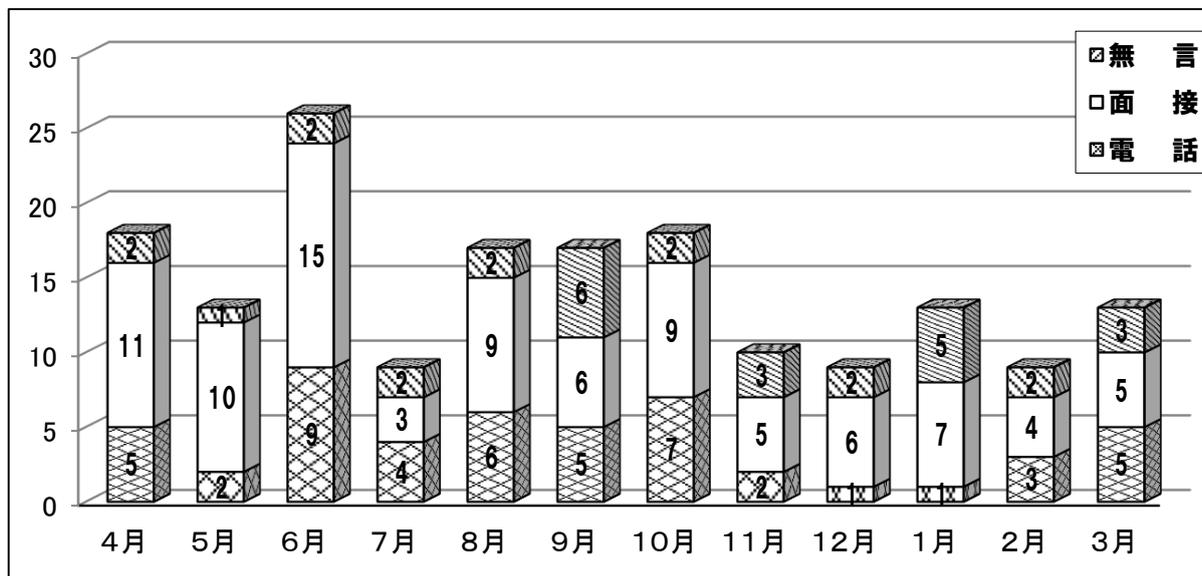
11 研究指定校

伊東市教育委員会研究指定校

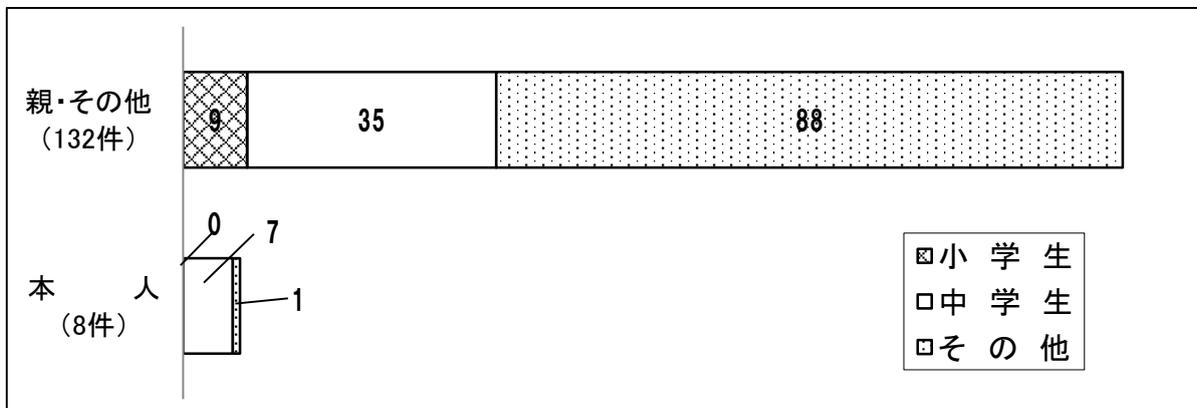
- | | |
|-------------|-------------|
| ・伊東市立宇佐美小学校 | 平成29年度～30年度 |
| ・伊東市立池小学校 | 平成30年度～31年度 |
| ・伊東市立対島中学校 | 平成30年度～31年度 |
| ・伊東市立八幡野幼稚園 | 平成30年度～31年度 |

12 平成29年度 教育相談室利用状況

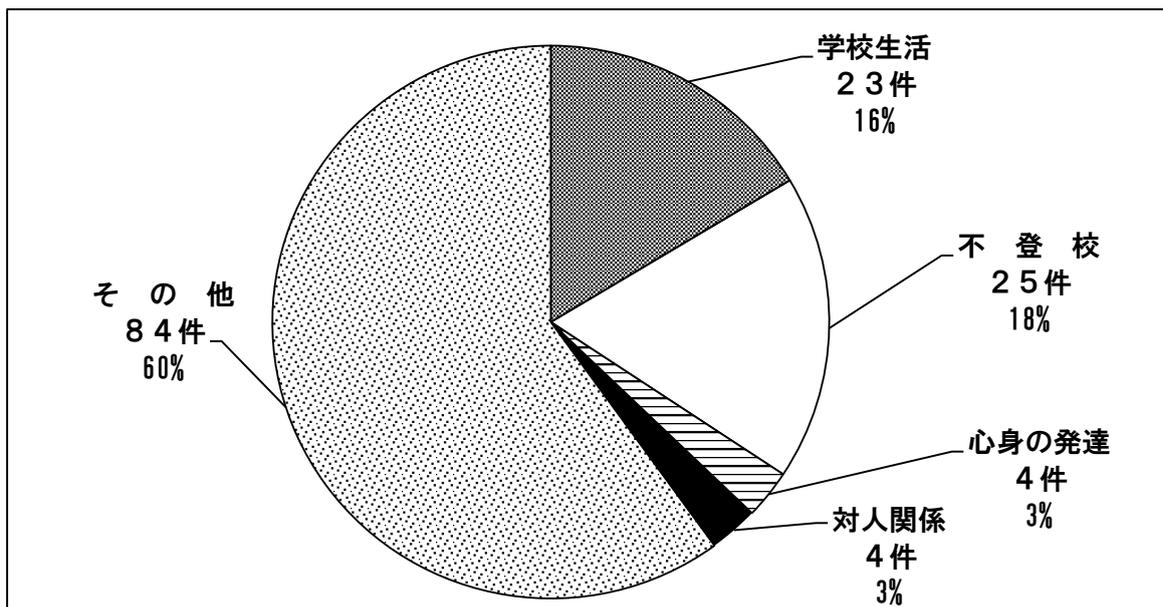
利用状況内訳 電話 50 件、面接 90 件、無言電話 32 件、総計 172 件



相談者内訳 (相談件数 140 件 ※無言電話を除く)



相談内容別割合 (相談件数 140 件 ※無言電話を除く)



13 平成29年度 就学援助費及び奨励費

種 別	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
入 学 準 備 費	人 52	円 2,111,200	人 69	円 3,270,600	人 121	円 5,381,800
学用品及び通学用品費	182	2,316,830	129	2,971,165	311	5,287,995
校 外 活 動 費	宿泊あり	34 150,371	0 0	0 0	34	150,371
	宿泊なし	177 367,325	71	226,602	248	593,927
給 食 費	182	8,059,864	127	7,024,944	309	15,084,808
修 学 旅 行 費	35	888,673	50	2,717,289	85	3,605,962
通 学 費	0	0	0	0	0	0
体 育 実 技 用 具 費	0	0	19	90,700	19	90,700
医 療 費	44	350,389	9	178,539	53	528,928
特別支援教育就学奨励費	35	822,833	16	1,400,396	51	2,223,229
計	225	15,067,485	136	17,880,235	361	32,947,720

(表中、計欄の人数は実数)

14 平成29年度 日本スポーツ振興センター掛金及び給付金

種 別	掛 金				給 付 金		
	人 数	保 護 者 負 担	市 負 担 金	計	件 数	金 額	
小 学 校	一 般	2,536	1,065,120	1,331,400	2,396,520	382 1,895,322	
	要 保 護	46	0	2,530	2,530		
	準 要 保 護	166	0	118,690	118,690		
	計	2,748	1,065,120	1,452,620	2,517,740		
中 学 校	一 般	1,437	603,540	754,425	1,357,965	226 1,155,588	
	要 保 護	28	0	1,540	1,540		
	準 要 保 護	119	0	86,085	86,085		
	計	1,584	603,540	842,050	1,445,590		
幼 稚 園	一 般	552	99,360	63,480	162,840	29	157,852
保 育 園	一 般	422	121,950	36,300	158,250	18	107,850
	要 保 護	5	0	325	325		
	計	427	121,950	36,625	158,575		
合 計	一 般	4,947	1,889,970	2,185,605	4,075,575	655	3,316,612
	要 保 護	79	0	4,395	4,395		
	準 要 保 護	285	0	204,775	204,775		
	計	5,311	1,889,970	2,394,775	4,284,745		

15 平成30年度 使用教科書一覽

(1) 小 学 校

教 科	発 行 所	記 号	学 年
国 語	学校図書(株)	国 語	1・2・3・4・5・6
書 写	学校図書(株)	書 写	1・2・3・4・5・6
社 会	東京書籍(株)	社 会	3・4・5・6
地 図	(株)帝国書院	地 図	4・5・6
算 数	学校図書(株)	算 数	1・2・3・4・5・6
理 科	東京書籍(株)	理 科	3・4・5・6
生 活	東京書籍(株)	生 活	1・2
音 楽	(株)教育芸術社	音 楽	1・2・3・4・5・6
図 工	日本文教出版(株)	図 工	1・2・3・4・5・6
家 庭	開隆堂出版(株)	家 庭	5・6
保 健	東京書籍(株)	保 健	3・4・5・6
道 徳	学校図書(株)	道 徳	1・2・3・4・5・6

(2) 中 学 校

教 科	発 行 所	記 号	学 年
国 語	学校図書(株)	国 語	1・2・3
書 写	学校図書(株)	書 写	1・2・3
社 会	東京書籍(株)	地 理	1・2
	東京書籍(株)	歴 史	1・2・3
	東京書籍(株)	公 民	3
地 図	(株)帝国書院	地 図	1・2・3
数 学	学校図書(株)	数 学	1・2・3
理 科	大日本図書(株)	理 科	1・2・3
音 楽	(株)教育芸術社	一 般	1・2・3
	(株)教育芸術社	器 楽	1・2・3
美 術	日本文教出版(株)	美 術	1・2・3
保 健 体 育	東京書籍(株)	保 体	1・2・3
技 術 家 庭	東京書籍(株)	技 術	1・2・3
	東京書籍(株)	家 庭	1・2・3
英 語	開隆堂出版(株)	英 語	1・2・3

16 平成30年度 教科指導員

教科等	氏名	校名	教科等	氏名	校名
国語	川瀬 忠浩	宇佐美中	技術・家庭	石井 晴美	南 中
社会	吉良 浩典	旭 小	外国語	鈴木 公英	北 中
算数・数学	元矢記代子	南 小	生活・総合	木村 三枝子	南 小
理科	神山健太郎	宇佐美中	道 徳	石井 清記	八幡野小
音楽	今村 圭	南 中	特別活動	高橋 雪山	大池 小
図工・美術	山口 純矢	対島中	特別支援教育	陣内 真弓	東 小
保健体育	鈴木 美雪	対島中			

17 平成30年度 学校関係団体

団体名	代表者	事務局所在地	団体名	代表者	事務局所在地
校長会	小田 靖久	南 中	中体連	日吉 基史	門野中
教頭会	山下 晃広	南 小	中文連	木梨 晶功	北 中
教育研究会	杉本 博昭	南 小	園長会	岩沢 幸代	宇幼 佐稚 美園
学校保健会	山本 佳洋	教 委 員 会	P T A連絡協	武智 一雄	西 小

18 平成30年度 伊東市校長会組織分担表

H30.4.1

伊東市校長会

役	氏名
会 長	小田
副会長	黒澤
幹 事	小 井上
	中 木梨
庶務・会計	石井
監 査	黒澤
	齋藤
厚 生	鈴木
	齋藤
	稲葉
	石井
教 頭 会	山下
教務主任会	濱村
教育課程	小 濱村
	中 木梨
研 修	小形
ITO学校改善	日吉
	渡邊
	飯田
幹事会 会長 副会長・小中幹事・教研会長	

東豆校長会(伊東)

役	氏名		
会 長	小田		
幹 事	小 井上		
	中 木梨		
研究推進委員	小形		
専門委員会	学校経営	飯田	
	教育課程	濱村	
	生徒指導	山下	
	特別支援	渡邊	
	対策・特別委	人・定・給	鈴木
		福利・厚生	鈴木
		進路対策	稲葉
		研究構想	齋藤
頭 彰 会	小形		
特別支援学級設置校幹事会	渡邊		
県校長会代議員	小田		
	黒澤		
人 事	小田		
中 体 連	日吉		
中 文 連	木梨		
教員指導力向上	稲葉		
厚 生	鈴木		
会 計	石井		
会計監査	黒澤		

市教研

役	氏名
会 長	杉本
副会長	山下
文集編集	齋藤
経 営	飯田
国 語	小形
書 写	井上
社 会	木梨
算数・数学	鈴木
理 科	渡邊
音 楽	飯田
図工美術	井上
保健体育	日吉
技術・家庭	石井
英 語	杉本
生活総合	小形
道 徳	黒澤
特別活動	稲葉
学校保健	稲葉
図 書 館	齋藤
情報教育	石井
特別支援	渡邊
生徒指導	山下
学校給食	濱村
事 務	鈴木

外部団体(市)

役	氏名
市P連副	黒澤
公民館運営兼社会教育	黒澤
福祉評協	木梨
交通安全	小形
青少年委	山下
	稲葉
補導センター 運営委	山下
	稲葉
学 警 連	山下
	稲葉
子供を守る地域 ネットワーク協議会	委・山下
	担・稲葉
同(養教)	担・(養教)
児童館運営	黒澤
なぎさ協議会	井上
	金刺
国税モニター	渡邊
民生委員推薦	木梨
男女共同参画	飯田
子供子育て会議	黒澤
スポーツ団体担当	山下
	日吉
総合戦略推進委員会	小田
市文化振興委員会	渡邊

外部(県・東部)

役	氏名
静 教 研	杉本
県教育会館	小田
県学校保健会	稲葉
県学校給食会	濱村
東豆中体連	日吉
東豆中文連	木梨
日本教育会	小田
東豆教育協議会	小田
東豆租税協議会	小田
	鈴木
学生協組織運営委員会	鈴木
東豆教研会長 評議員 (校長代表) (教員代表)	(伊東)杉本 (熱海)
	小田

19 大規模・突発地震発生による学校・家庭の対応

●印 突発地震が起きたとき

居場所		登校中	学校にいるとき			下校中	家にいるとき
			授業中	休み時間	放課後		
学校の対応	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ●家に帰った方が近い者はそのまま家に帰る ●学校に近い者、すでに登校している者は教室へ入る ●大きな塀や屋根の下からはなれる ●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ●机の下に身をかがめる ●教員の指示に従う ●引き渡しにより保護者と下校する 	<ul style="list-style-type: none"> ●外にいる場合は、校舎からできるだけはなれる ●教室にいた人は、机の下に身をかがめる ●ゆれがすんだら、教員の指示に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●外にいた人は、校舎からできるだけはなれる ●教室にいた人は、机の下に身をかがめる ●ゆれがすんだら、教員の指示に従う 	<ul style="list-style-type: none"> ●大きな塀や屋根の下からはなれる ●ゆれがすんだら学校か家の近い方へ行く ●海岸に近い場合は、津波を避けるため、できるだけ高い所へ避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ●家の人の指示に従う ●自宅に待機する
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ●そのまま出勤し、すでに登校した児童の掌握に当たり、人数を正確に把握する ●学校周辺にいる児童生徒を学校に誘導する ●保護者に引き渡す準備をする ●担任以外は係分担に従って行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒を机の下にもぐらせ、安全を確かめる（被害状況確認） ●児童生徒を運動場へ誘導する ●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検） ●児童生徒の人数を確認して「引き渡し」の準備をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●担任以外は係分担に従って行動する（防災点検） ●ゆれがすんだら教室へ戻り安全を確かめる（被害状況確認） 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校に残っている児童の人員、安全を確かめる（被害状況確認） ●教室に戻って残留者の有無を確かめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校周辺にいる児童の帰宅指導に当たる ●帰宅不能者の指導管理に当たる ●災害応急対策要員は学校に引返し、学校長の指示に従う ●応援要員は自宅待機 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害応急対策要員は出勤し、応援要員は学校の指示を待つ（被害状況確認）
居場所		登校中	学校にいるとき			下校中	家にいるとき
家庭の対応	保護者		<ul style="list-style-type: none"> ●火のしまつをする。（ガス栓をしめる、コンセントを抜く） ●学校へ児童を「引き取り」に行く 				<ul style="list-style-type: none"> ●火のしまつをする ●津波やがけくずれの恐れのあるところは避難する
	児童生徒		友達の家に行ったとき	塾やけいこごとのとき			
避難場所	1次						
	2次						
連絡先							

VI 生涯学習

1 生涯学習の主要施策

(1) 生涯学習社会の進展に向けて

教育行政は「人づくり、地域づくり」のための社会教育のあり方を基調としつつ、地域と家庭、そして学校がそれぞれの役割を明確にし、更なる連携を強化し、生涯学習の基盤充実や各種事業の拡充に努め、生涯学習社会の構築を図っていく。

本市教育委員会では、「心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち」を目標に、市民が生涯を通じていつでも、どこでも、いつまでも自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、生涯学習大綱に基づく施策の実施、時代に即応した社会教育の充実、市民一人一文化一スポーツの実践、更にあいさつ運動を日常生活の中で展開すべく、次に掲げる諸施策を積極的に進め、本市教育の振興を図っていく。

(2) 人間形成の基盤を培う家庭教育の充実

近年は、核家族化などもあり親の育児に対する知識や経験が不足し、「わが子を育てる」ことに不安を抱く親が増加していると考えられるため、親の責任意識の醸成を図り、人として生きていくための家庭におけるしつけや思いやりの心を育てるための教育として、地域や学校と連携し、家庭教育や子育てなどの講座や相談体制の充実に努める。

① 家庭教育学級の開設

市内小・中学校及び幼稚園に家庭教育学級を開設するよう呼びかける。

学習課題は、家庭におけるわが子のしつけや一般教養、健康講座などテーマを幅広く取り上げ、学級生相互の情報交換とコミュニケーションの場とする。

② 楽しく学ぶ子育て講座の開設

核家族化や、地域とのつながりが薄れている現代においては、育児への示唆を受ける機会が少ない上、同じ年の子を持つ親同士が触れ合う機会さえ少なくなってきた。また年々育児に関する考え方は変わってきており、積極的に育児に関わる父親も増えてきた。

そこで学習を通し、男女を問わず子育てに関わる人の知識を深め、また親の育児への不安を解消するため、同じ育児に関わる人たちの仲間づくりの場として「楽しく学ぶ子育て講座」を開設する。

③ 家庭教育支援活動の実施

すべての親が安心して家庭教育を行えるよう家庭教育支援アドバイザーによる講座を開設し、幼稚園、小・中学校等との連携により、保護者への学習機会の提供等を行う。

ア 家庭教育支援講座

幼稚園、小・中学校における懇談会や家庭教育学級等において静岡県教育委員会が作成した家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した講座を実施する。

イ 親学講座

小・中学校の入学説明会等で新入生保護者を対象とした講座を実施する。

(3) 地域と一体になった青少年の健全育成

子どもの活動の場を地域へ求めているが、青少年の健全育成を目的とした多くの団体は、少子化などもあり活動することが難しくなっている現状がある。

SNS などの普及で青少年を取り巻く環境は急激に変化し、様々な問題が潜在化しているほか、近年は非行の凶悪化や低年齢化、また不登校などの問題もある。こうした事態を重大に受け止め、青少年の問題を大人の問題としてとらえ、まず大人が姿勢を正し、モラルの向上や地域の教育力を高めていくための運動を推進し、青少年の心を育てる大人の輪を広げるための活動を展開していくよう努める。

① 青少年問題協議会

青少年の指導・育成・保護及び総合的施策の樹立のため関係機関及び団体相互の連携を図る。

② 青少年補導センター

青少年の非行・被害を防止するために、各地域及び関係機関などから選任された補導員により街頭補導を実施している。また、地域の有害環境等を調査し、地域の実態に即した環境整備に努める。

③ 青少年の健全育成（組織活動の支援）

青少年の健全育成は、市民すべての願いである。広く市民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の心身の健全な育成が図れるよう、青少年育成市民会議、PTA 連絡協議会等の活動を支援する。

④ あいさつ運動の推進

住民相互のあいさつや声かけは、地域づくりや安全な環境づくりという観点からも、大きな効果が認められることから、青少年にとって、明るく健全な社会環境をつくるため、「あいさつの声が響きあうまちづくり」をキャッチフレーズに、市全体で「あいさつ運動」を推進する。

そこで、趣旨の賛同者を募集するとともに、学校や各団体及び事業所等と連携を図り、組織的にあいさつの輪を広げていき、地域住民一人一人が地域への所属感をもち、より良い人間関係を構築するための一助として、この「あいさつ運動」を展開していく。

また、県の「青少年の非行・被害防止強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」に併せて「伊東市あいさつ運動市民一斉活動」を年2回開催する。

⑤ 少年教育

近年の子どもたちは室内での遊びを好み、地域に出て、自然や文化に触れる機会や地域の仲間と一緒に遊ぶといった直接体験をすることが少なくなっている。

将来に向けて、少年たちの人間性豊かな人格の形成を図るため、市主催事業などを通じて、集団的な体験学習を通じてのルールへの尊重、責任感、協調性などを学ぶ機会を提供する。

ア 小学生ふるさと教室

小学5・6年生を対象に、郷土の史跡や文化に触れるとともに、園芸や漁業、伝統行事など様々な体験を通じ、郷土・伊東を学び、伊東を愛する心を育てることを目的として、年間を通じた教室を開催する。

イ わたしの主張発表会

市内5中学から選抜された10人の中学生たちが、日ごろ、家庭・学校・地域及び仲間について思っていることを広く市民に訴え、社会の一員としての自覚を高める契機とし青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。平成30年度は、静岡県声掛け運動アンバサダーである藤田弓子氏の講演をあわせて行う。

ウ 小学生の船

小学5・6年生を対象に、大島での2泊3日の船旅を体験させ、海洋についての学習のほか、仲間を通じて友情・責任・協調・忍耐の精神と社会性を養う。

エ 放課後子ども教室推進事業

少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能・教育力の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保とともに、次世代を担う児童の健全育成として支援していく。

オ リーダー養成事業「夢チャレンジくらぶ」

年少者を指導育成する能力を備えるため、小学生ふるさと教室にリーダーとして参加し、共に郷土を学びながら活動を通して社会性やリーダーシップを培う。

カ その他の少年教育

青少年育成市民会議による講演会を開催する。

⑥ 成人式

新成人の晴れの門出を祝うため、平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方を対象に、成人式を開催する。

(4) 心豊かな人生をつくり出す生涯学習講座の充実

市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」生涯にわたって学べるよう、生涯学習講座の充実を目指す。急速な科学技術の発達、少子高齢化、多様な情報化などにより、私たちの生活環境は大きく変化し、市民は、より高度で多様な生涯学習の機会を求めている。これらの要求に応えるため、生涯学習センター中央会館を学習拠点とし、ひぐらし、池、赤沢、荻の各会館や各コミュニティセンターを活用した成人向けの講座・教室・学級を開設するとともに、生涯学習自主グループの活動についても支援していく。

① 市民大学講座の開設

公民館事業の一環として、昭和56年度から開設した市民大学講座は、講座修了者のアンケートから希望の講座を把握し、次回以降の講座で取り入れるほか、市民の生涯学習ニーズに応えられる内容も取り入れるよう努める。

② 女性教育

女性の個性と能力があらゆる分野で発揮されることが、社会の安定と発展のためますます重要となっていることから、女性連盟の活動に対して補助を行い、女性リーダーとしての資質の向上を図る。

③ いでゆ大学

高齢者の豊富な人生経験を社会に活かしながら、自らも余暇を楽しむための学習機会を提供することを目的として「いでゆ大学」を開設する。

また、講座の卒業者が自主的に運営する「いでゆ大学 OB 会」も支援していく。

④ 市民憲章の実践

昭和42年8月市制施行20周年を記念して制定された「伊東市民憲章」の実践活動は、社会教育活動でもあるので、機会あるごとに市民憲章の唱和をし、周知を図る。

⑤ 生涯学習施設

名 称	開設年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
生涯学習センター 中央会館	昭和55年 10月1日	m ² 2,123	m ² 1,520	鉄筋4階建、 第1・2会議室、第1・2和室、 第1・2研修室、視聴覚室、 美術工芸室、トレーニング室兼展示室
生涯学習センター ひぐらし会館	平成6年 12月1日	463	1,787	鉄筋3階建 第1・2会議室、ホール・楽屋 トレーニング室、和室、 幼稚園遊戯室
生涯学習センター 池会館	平成8年 8月2日	2,676	1,102	鉄筋3階建 大会議室、小会議室、和室、 ホール、図書コーナー、 健康コーナー、調理室
生涯学習センター 赤沢会館	平成10年 7月1日	561	703	鉄筋3階建 大会議室、和室、調理室、 図書コーナー、健康コーナー
生涯学習センター 荻会館	平成13年 12月1日	1,283	1,286	鉄筋3階建 大会議室、児童室兼会議室 図書コーナー、和室、調理室、 トレーニング室

(5) 郷土に根ざした香り高い文化の振興

市民の生涯学習に対する関心はますます高くなり、心豊かで生き甲斐のある生活を創造するための芸術文化の振興は大きな役割を担っている。

地域の香り高い文化を創造するため、「市民一人一文化」を掲げ、芸術祭、姉妹都市との交流など、文化協会をはじめとする関係団体等の協力を得る中で、より多くの市民の文化活動への参加を求める一方、関係団体の活動を援助する。

また、文化財の保護、保存に努めるとともに、市民が文化財に愛着をもち、身近に接することができるよう、「文化財講座」などを通じ、文化財に親しむ機会を拡充し、文化財愛護の精神を育てる。

① 芸術祭の開催

市民が芸術・文化に触れる機会を提供するため、市芸術祭を開催する。

② 姉妹都市との交流

市文化協会をはじめ、市内関係団体による姉妹都市「諏訪市」との交流を図り、両市民の文化の交流・発展に努める。

③ 文化団体の育成

市民の自主文化活動を支援するため、諸文化団体を包括する文化協会の活動を援助し、その育成に努める。

④ 文化財の保護

文化財は、先人から受け継がれた市民の共有財産である一方、時の経過とともに失われるものも多いため、有形無形の文化財の現状を把握し、保護対策に努めるとともに、文化財に対する理解を深め、愛護思想を普及し郷土愛を育む。

また、埋蔵文化財については、包蔵地を把握して広く一般に周知するとともに、開発行為との調整により保護が困難である場合は、発掘調査を実施し、記録保存の形で先人の遺産を永く後世に伝える。

⑤ 文化財管理センター

伊東市文化財管理センターにおいては、市内から出土した埋蔵文化財や市民から寄贈された民俗資料などを集中的に管理保管し、その一部を展示公開している。

また、小学生を対象に夏休みに古代体験教室を実施している。

(月曜日休館)

名 称	開設年月日	敷地面積	建物面積	施 設 内 容
文化財管理センター	平成8年 4月1日	2,178㎡ 幼稚園園 庭を含む	1,836㎡	鉄筋地下1階地上3階建 展示室・収蔵室・図書資料室 ・編集室・展開室・写真資料 庫・暗室・機材庫

平成29年度の文化財管理センター入館の状況

開館日数 309 日 入館者 1,703 人 1日平均入館者 5.5 人

⑥ 郷土資料館

郷土資料館の建設については、観光資源としての活用も含め、構想を具体化するための研究協議を継続していく。

⑦ 木下杢太郎記念館

昭和60年度に開館した市立木下杢太郎記念館の整備を進め、資料の収集充実を図るとともに、特別展を初め、ミニ展示・特集展示等を開催する。

平成29年度の本館入館者は次表のとおりである。

平成29年度木下杢太郎記念館入館者状況

開館日数		304日
有料入館者	大人	4,270人
	小人	47人
無料入館者	大人	1,636人
	小人	289人
合計		6,242人
一日平均		20.5人



木下杢太郎記念館

(6) 伊東市史資料管理事業

伊東市の原始時代から現代にいたる先人の歩みを明らかにし、これまでに発見された新たな歴史資料や研究の成果を取り入れ、市民の郷土に対する理解を深め、次の世代に歴史、文化を継承していくことを目的として、平成11年度から伊東市史編さん事業として、伊東市史資料編等を発刊してきた。

平成29年度からは市史資料管理事業として、収集された歴史資料の管理や公開を行うとともに、より伊東の歴史をわかりやすく解説する通史編を刊行しており、『伊東市史通史編 伊東の歴史Ⅰ 原始から戦国時代』を刊行した。

市史編さん事業で刊行された出版物

伊東市史 史料編 『考古・文化財』、『古代・中世』、 『近世Ⅰ』、『近世Ⅱ』、『近現代Ⅰ』、『近現代Ⅱ』	
伊東市史別編 『伊東の自然と災害』	図説 伊東の歴史
市史調査報告 第1集～第3集	伊東市史研究 1号～11号
伊東市史叢書 第1集～第6集	伊東市史通史編Ⅰ

2 平成29年度 生涯学習講座参加実績

(1) 市民大学講座

	開設講座名	種類	講師	開設時期・時間	回数	募集人数	申込人数	受講人数 (男性)	皆勤者 出席率	備考
前期	パソコン講座1 はじめての Word	講・実	片山 博幸	7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日 火曜日 10:00～12:00	6回	20人	4人	4人 (2人)	2人 75.0%	平均年齢75.0歳 会場 ひぐらし会館
	パソコン講座2 はじめての Windows10	講・実	片山 博幸	7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日 火曜日 13:30～15:00	6回	20人	14人	13人 (2人)	8人 91.0%	平均年齢70.0歳 会場 ひぐらし会館
	パソコン講座3 はじめての Excel	講・実	片山 博幸	7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日 火曜日 15:30～17:00	6回	20人	6人	6人 (0人)	4人 88.9%	平均年齢60.8歳 会場 ひぐらし会館
	俳句入門講座	講・実	菅沼 堯男	6月30日、7月7日、21日、28日、8月4日 金曜日 10:00～12:00	5回	20人	15人	14人 (5人)	14人 100.0%	平均年齢70.4歳 会場 中央会館
	Let's 身につく旅行英会話	講・実	野田 誠	6月27日、7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日 火曜日 10:00～12:00	7回	15人	24人	23人 (4人)	8人 83.2%	平均年齢67.1歳 会場 ひぐらし会館
	初心者のための朗読講座	講・実	上原 佐恵子	6月28日、7月5日、12日、19日、26日、8月2日、9日 水曜日 13:30～16:00	7回	15人	22人	18人 (0人)	9人 85.7%	平均年齢71.1歳 会場 中央会館
後期	パソコン講座1 ワードで暮らしの書類に挑戦!	講・実	片山 博幸	10月24日、31日、11月7日、14日、21日、28日 火曜日 13:00～14:30	6回	20人	11人	10人 (2人)	6人 91.6%	平均年齢61.8歳 会場 ひぐらし会館
	パソコン講座2 基本からしっかり学ぼう Windows10	講・実	片山 博幸	10月24日、31日、11月7日、14日、21日、28日 火曜日 15:00～16:30	6回	20人	23人	23人 (8人)	15人 89.1%	平均年齢74.1歳 会場 ひぐらし会館
	歴史を楽しく再学習	講・実	加藤 好一	10月27日、11月10日、24日、12月8日、15日 金曜日 10:00～12:00	5回	20人	16人	16人 (8人)	13人 92.5%	平均年齢69.4歳 会場 ひぐらし会館 11/24のみ中央会館
	Let's 身につく基本の日常英会話	講・実	野田 誠	11月1日、8日、15日、22日、29日、12月6日、13日、20日 水曜日 9:30～11:30	8回	20人	17人	17人 (4人)	9人 81.6%	平均年齢68.1歳 会場 中央会館
	短歌入門講座	講・実	丸井 重孝	10月25日、11月1日、8日、15日、29日、12月6日 水曜日 10:00～12:00	6回	10人	8人	8人 (4人)	6人 95.8%	平均年齢73.0歳 会場 中央会館

合計	11講座	68回	受講者総数	152人	68回	200人	160人	152人 (39人)	94人 90.0%	平均年齢 69.2歳
----	------	-----	-------	------	-----	------	------	---------------	--------------	---------------

(2) その他講座等

教室・講座	講師名	開設期間	回数	主な内容	参加人員
小学生ふるさと教室	生涯学習課職員 ほか	H29年5月 ～H30年2月	14	キャンプ・農林園芸 体験・お飾りづくり ほか	受講生 38 人 延べ 390 人
平成 29 年度わたしの主張発表会	—	H29 年 11 月	1	中学生 11 人・英語 スピーチ 2 人による 意見発表会	181 人
夢チャレンジくらぶ	生涯学習課職員 ほか	H29年5月 ～H30年2月	14	青少年リーダーの 養成を目的とする 年少者への指導育 成	受講生 1 人 延べ 11 人
小学生の船	生涯学習課職員 ほか	H29年8月	1	伊豆大島での体験 活動と宿泊訓練等 事前・事後研修	参加者 33 人 24 人（児童） 9人（指導員）
楽しく学ぶ子育て講座	上原佐恵子 ほか	H29年5月 ～H29年11月	15	子育てに関する講 話 一般教養（料理等）	受講生 17 人 延べ 169 人
いでゆ大学	加藤好一 ほか	H29年5月 ～H30年2月	20	趣味教養の充実、 仲間づくり	受講生 53 人 延べ 871 人
家庭教育学級	学級長ほか	H29年5月 ～H30年3月	29 講座	8小学校の父母が学 習	参加者 749 人
家庭教育支援講座	家庭教育支援 アドバイザー	H29年5月 ～H30年2月	11	つながるシートを 活用した講座等	参加者延べ 275 人

3 伊東の文化財

(1) 指定・登録・記録選択文化財一覧

指定区分	種 別	名 称	指定年月日	備 考 (所在など)
国	天 然 記 念 物	葛見神社の大クス	昭和 8 年 2 月 28 日	岡
〃	天 然 記 念 物	八幡宮来宮神社社叢	昭和 9 年 8 月 9 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	蓮着寺のヤマモモ	平成 11 年 1 月 14 日	富戸
〃	天 然 記 念 物	大室山	平成 22 年 8 月 5 日	池、富戸
〃	史 跡	江戸城石垣石丁場跡	平成 28 年 3 月 1 日	宇佐美
県	工 芸 品	太刀銘大和則長作	昭和 30 年 4 月 19 日	玖須美
〃	天 然 記 念 物	天照皇大神社社叢	昭和 42 年 10 月 11 日	玖須美・芝町
〃	天 然 記 念 物	林泉寺のフジ	昭和 45 年 6 月 2 日	荻
〃	天 然 記 念 物	比波預天神社のホルトの木	昭和 57 年 2 月 26 日	宇佐美
〃	無 形 民 俗	新井の大祭り諸行事	平成 5 年 3 月 26 日	新井・西暦奇数年 1 月 7 日
〃	有 形 民 俗	富戸の魚見小屋	平成 7 年 3 月 16 日	富戸
〃	建 造 物	八幡宮来宮神社本殿・渡殿及び拝殿	平成 11 年 3 月 15 日	八幡野
〃	彫 刻	木造宝冠阿弥陀如来坐像	平成 21 年 3 月 23 日	宇佐美・花岳院
市	史 跡	伊東家の墓	昭和 40 年 10 月 23 日	玖須美・音無町
〃	史 跡	河津三郎祐泰の血塚	昭和 41 年 7 月 25 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	ヒメズリハ群落	昭和 42 年 1 月 11 日	富戸・城ヶ崎門脇駐車場付近
〃	天 然 記 念 物	音無神社のタブの木	昭和 43 年 6 月 7 日	玖須美・音無町
〃	天 然 記 念 物	最誓寺のソテツ	昭和 44 年 6 月 23 日	玖須美・音無町
〃	天 然 記 念 物	山神社のムクの木(群落)	昭和 45 年 5 月 12 日	荻
〃	天 然 記 念 物	伊吹ビヤクシン	昭和 45 年 5 月 12 日	池・旧ホテル伊豆高原
〃	工 芸 品	八幡宮来宮神社神輿 (2 基)	昭和 45 年 5 月 12 日	八幡野
〃	史 跡	木下奎太郎生家	昭和 45 年 5 月 12 日	湯川・木下奎太郎記念館奥の建物
〃	工 芸 品	八幡宮来宮神社屋台	昭和 50 年 9 月 8 日	八幡野
〃	天 然 記 念 物	高見のシイの木	昭和 51 年 5 月 12 日	八幡野
〃	工 芸 品	杉崎神社の鰐口	昭和 51 年 12 月 2 日	松原神社内
〃	建 造 物	天照皇大神社本殿	昭和 54 年 2 月 27 日	玖須美・芝町
〃	天 然 記 念 物	音無神社のシイの木	昭和 54 年 9 月 26 日	玖須美・音無町
〃	史 跡	伝・伊東祐親の墓所	昭和 54 年 9 月 26 日	玖須美・大原町
〃	彫 刻	浜崎家の木造毘沙門天立像	昭和 63 年 4 月 26 日	宇佐美
〃	建 造 物	旧木造温泉旅館東海館	平成 11 年 3 月 30 日	松原・東松原町
〃	建 造 物	三島神社本殿 附棟札 2 枚	平成 11 年 3 月 30 日	富戸
〃	工 芸 品	阿原田八幡神社の鰐口	平成 14 年 3 月 28 日	宇佐美(市に寄託)
〃	天 然 記 念 物	かんのん浜ポットホール	平成 14 年 3 月 28 日	八幡野・自然研究路
〃	史 跡	吉田隧道	平成 15 年 5 月 22 日	吉田・東大池
〃	典 籍	鳴戸吉兵衛写本「伊東誌」	平成 15 年 5 月 22 日	玖須美・物見が丘
〃	歴 史 資 料	元禄地震津波供養塔(行蓮寺、佛現寺、恵鏡院)	平成 18 年 3 月 28 日	宇佐美、玖須美・物見が丘、川奈
〃	天 然 記 念 物	大室山スコリアラフト	平成 22 年 5 月 26 日	池・さくらの里内
〃	史 跡	江戸城に係る石丁場遺跡	平成 23 年 9 月 16 日	宇佐美・洞ノ入 I - 遺跡
〃	天 然 記 念 物	城ヶ崎海岸燕島のアマツバメ集団生息地	平成 27 年 6 月 30 日	富戸
〃	無 形 民 俗	伊東市内の鹿島踊(宇佐美八幡、初津、湯川、新井、富戸)	平成 27 年 6 月 30 日	宇佐美、湯川、新井、富戸
〃	建 造 物	比波預天神社本殿 附棟札 2 枚	平成 29 年 4 月 18 日	宇佐美
〃	史 跡	鎌田城跡	平成 29 年 10 月 19 日	鎌田
〃	史 跡	東浦路(朝善寺道標-網代峠区間)	平成 30 年 4 月 19 日	宇佐美
国・登録有形	建 造 物	旅館いな葉	平成 10 年 9 月 2 日	松原・(現)ケイズハウス伊東温泉
〃	建 造 物	旧伊東警察署松原交番(伊東観光番)	平成 21 年 1 月 8 日	松原・(現)伊東観光番
〃	建 造 物	伊東市立木下奎太郎記念館	平成 27 年 3 月 26 日	湯川
〃	建 造 物	川奈ホテル本館	平成 28 年 2 月 25 日	川奈
〃	建 造 物	川奈ホテル田舎家	平成 28 年 2 月 25 日	川奈
国・記録選択	無 形 民 俗	東伊豆地方に伝わる伝統芸能「鹿島踊」	平成 17 年 1 月 21 日	宇佐美・湯川・新井・富戸

(2) 埋蔵文化財

番号	遺跡名	時代	種別	所在地	地目	主な遺物等	備考(発掘調査年など)
1	桜田	中・近世	散布地	宇佐美字桜田	小学校ほか	陶磁器・木器	1990、2000
2	小丸	縄文(早・前)	〃	宇佐美字小丸	宅地・山林	土器・石器	
3	洞ノ入	縄文(早・前)	〃	宇佐美字洞ノ入	山林	石冠	
4	北田	中世	〃	宇佐美字北田	宅地	陶磁器	1992
5	離山峡	縄文	〃	宇佐美字平戸	山林	土器・石器	
6	寺中・金草原	奈良・平安	生産遺跡	宇佐美字稲田	宅地・畑地	土器・製鉄炉	1992、2007
7	安立寺	縄文	散布地	宇佐美字桑原	境内	土器	
8	池ノ段古墳	古墳	古墳	宇佐美字池ノ段	山林		
9	寺久保	縄・古・奈・平	散布地	宇佐美字寺久保	宅地・畑地	土器	
10	留田天神	縄文・古墳	〃	宇佐美字宮の脇ほか	宅地・畑地	土器	2015 試掘
11	宇佐美城	縄文・古墳・中世	散布地・城跡	宇佐美字城山	宅地・山林	土壘、土器	1988 試掘
12	離山横穴群	古墳	横穴墓	宇佐美字ハナレ山	山林	横穴式石室 6 基	
13	東留田海中	縄文(早)	散布地	宇佐美字磯部	海浜	土器	1957、1999、2000
14	宇佐美	縄文・古墳・中世	集落跡	宇佐美字横枕ほか	宅地	土器・石製品・住居跡	1987～88、1992～93、1998～2004、2008
15	宇佐美中学校	古墳・近現代	〃	宇佐美字杉本	中学校ほか	土器・軍施設	1995、2001、2003、2005
16	円応寺	縄文	散布地	宇佐美字峰坂	宅地	磨製石斧	2009
17	田中	縄・古・奈・平	集落・製鉄	宇佐美字田中	宅地・畑地	土器、住居跡	2011 試掘
18	上ノ山	古墳	散布地	宇佐美字上ノ山	畑地・山林	土器	
19	宇佐美田代	縄文・古墳	〃	宇佐美字田代	宅地・畑地	土器・石器	
20	天神畑	縄文(中)	〃	湯川字天神畑	山林	土器・石器	2014 試掘
21	伊東駅構内古墳	古墳	古墳	湯川三丁目	駅構内	直刀・土器	1938(消滅)
22	湯川幼稚園	古・奈・平・中・近世	散布地	湯川二丁目	幼稚園・宅地	土器	1986、1996、2002
23	湯川幼稚園古墳群	古墳	古墳	〃	〃	横穴式石室 2 基	1913、2001、2003、2004
24	湯端町	古墳	散布地	松原湯端町	宅地	土器	
25	寺山	縄文(中・後)、古代	〃	松原字寺山	〃	土器・石器	
26	西小学校	古墳	集落跡	岡広町ほか	〃	土器	1989、1994、1996、2005、2012、2015、2017
27	日暮	縄・弥・古・中世	〃	桜木町一丁目	〃	環濠、住居跡	1990、1992、1997、2000、2004、2016、2017
28	上の坊	縄・古・中世	散布地	音無町	〃	土器・石器	1937、1976、2009、2013
29	水道山	縄文(早・前)	〃	岡字水落	〃	土器・石器	2008
30	広野	古墳	〃	広野一丁目	〃	土器	2004、2006、2013
31	竹の台	縄・弥・古・奈・平	〃	岡字竹の台	〃	住居跡、石製品	1989、1992、1997、1999
32	玖須美館	中世	城館跡	和田二丁目	境内		
33	井戸川	縄・古・奈・平・中	集落跡	〃	宅地	和同開称・土偶	1981、1983、1989、2010、2012、2014、2017
34	妙隆寺経塚	古墳・中世	経塚	〃	境内	一字一石経塚	1984
35	塚畑	縄・古・中世	散布地	新井一丁目	宅地・畑地	土器・石器	
36	塚畑古墳	古墳	古墳	〃	畑地	直刀・玉類	1957
37	東小学校	縄文	集落跡	〃	宅地、学校、役所	住居跡	1991～92、1994、1997、2014、2017
38	東小学校古墳	古墳	古墳	大原二丁目	役所	周溝	1993
39	大原	縄文(早・前・中)	集落跡	大原一丁目	宅地・畑地	土器・石器	1989、2012、2014、2016、2018
40	猪戸	〃	散布地	松原字寺山	〃	土器・石器	1969、1974
41	保代口C	縄文・弥生・古墳	集落跡	玖須美元和田字保代口	宅地	方形周溝墓、管玉	1996
42	東林寺朝日山経塚	中世	経塚	岡字寺の上	山林	鏡・陶磁器	1909
43	瓶山	古墳	散布地	岡字寺の上	山林	土器・石器	

44	蔵が久保	縄文(早)	〃	鎌田字蔵ケ久保	畑地、山林	土器・石器	
45	土が久保	縄文(早・前)	〃	〃	〃	土器・石器	
46	柏 峠	〃	〃	鎌田字阿原ケ沢ほか	山林、原野	土器・石器	2001 確認
47	長美代	縄文(前・中)	集落跡	玖須美元和田字長美代	宅地、畑地	住居跡・土器	1991、2010、2014、2016
48	逆 川	縄文(早・前・中)	散布地	玖須美元和田字逆川	〃	土器・石器	
49	南中学校	縄文(早)	〃	玖須美元和田字茶野	中学校	土器・石器	1983、2004
50	赤 坂	縄文(中)	集落跡	岡字藤曲り	宅地、畑地	土器・石器	2006
51	水無田	〃	散布地	玖須美元和田字水無田	宅 地	土器・石器	2016、2017
52	西鬼ヶ窪	縄文(中)	集落跡	川奈字西鬼ヶ窪	宅地、畑地	住居跡・土器	1995、2009、2012、2015
53	保代口	〃	散布地	玖須美元和田字保代口	〃	土器・石器	
54	城 星	〃	〃	玖須美元和田字右城星	〃	土器・石器	
55	滝が沢	縄文(前)	〃	玖須美元和田字滝ヶ沢	〃	土器・石器	
56	泉	縄文(中)	〃	岡字石原田	〃	土器・石器	
57	見返し	〃	〃	鎌田字見返し	畑 地	土器	
58	西門野	〃	集落跡	鎌田字西門野	畑地、山林、球場	土器・石器	1984、1986、1988、1991、1992
59	前城平	縄文(前・中)	〃	鎌田字城平	宅 地	土器・石器	1993、1994
60	門 野	縄 文	〃	鎌田字門野	畑 地	土 器	2010、2015
61	鎌田城	中 世	城館跡	鎌田字田平ほか	水田、山林	空 堀・土 塁	2002、2003 確認
62	奥 野	縄文(早)	散布地	鎌田字新林	畑 地	土器・石器	1990
63	養護老人ホーム	縄文(早～中)	〃	荻字笹原	宅地、原野	土器・石器	1989、2007
64	ジンジ山	縄文・古墳・奈良	集落跡	吉田字北川	宅地、公園	炭化米・住居跡	1995～1997
65	コウドウ	縄文・古墳・中世	散布地	川奈字コウドウ	宅地、畑地	土器・石器	2008 試掘
66	川奈台場	近 世	砲台跡	川奈字燈明平	ゴルフ場敷地	土 塁	
67	三の原	縄文(早・前)	集落跡	富戸字大平	宅地、畑地	土器・石器	1989、2003、2005
68	芦田原	縄文(早・中)	散布地	富戸字芦田原	畑地、山林	土 器	1999
69	クズレ	縄文(早・前)	集落跡	富戸字クズレ	宅 地	土器・石器	1988
70	門脇台場	近 世	砲台跡	八幡野字牛戸背	海 岸	石積遺構	
71	法華塚	〃	積石塚	富戸字先原	山 林	石積の塚	
72	上和田	古 墳(前)	散布地	池字上和田	水田、畑地	土 器	
73	下 畑	縄 文	〃	八幡野字下畑	宅地、水田		
74	伊東館	中 世	城館跡	馬場町一丁目	宅 地	土器	2009、2017
75	禰宜畑	縄文(早～中)	集落跡	岡字禰宜畑	マンション	土器・石器	1989
76	中 野	縄文(中)	散布地	岡字中野	畑地、山林	土器・石器	
77	桑 原	弥・古・奈・平・中世	〃	宇佐美字桑原	宅地、畑地	土器・石器	2018
78	芝 草	縄 文	〃	赤沢字芝草	畑地、山林	土 器	
79	松 尾	〃	〃	八幡野字松尾	宅地、畑地	土 器	
80	向 沢	〃	〃	川奈字向沢	畑 地	土器・石器	
81	奈 尾	旧石器	〃	富戸字奈尾	畑 地	局部磨製石斧	
82	水頭A	縄 文	〃	赤沢字水頭	山 林	石 器	1995 確認
83	水頭B	〃	〃	〃	〃	石 器	1995 確認
84	長 畑	縄文・古墳・奈良	〃	吉田字長畑	宅地、畑地	土 器	
85	宇佐美八幡神社	中 世	〃	宇佐美字八幡	境 内	土 器	
86	宇佐美北部石丁場群	近 世	石丁場	宇佐美字御石ヶ沢他	林・海	矢穴石、刻印石	「松平宮内少石場」標識石、2017
87	宇佐美南部石丁場群	近 世	〃	宇佐美字中ノ沢他	宅・林	矢穴石、刻印石	1990
88	湯川山石丁場群	近 世	〃	湯川字桜ヶ洞他	宅・林	矢穴石、刻印石	
89	松原石丁場群	近 世	〃	松原字猪山他	林・海	矢穴石、刻印石	2002
90	小川沢石丁場群	近 世	〃	岡字堀ノ口他	山 林	矢穴石、刻印石	
91	鎌田石丁場群	近 世	〃	鎌田字伊豆ヶ木他	宅・林	矢穴石、刻印石	「竹中伊豆守」標識石、2001

92	大平山石丁場群	近 世	〃	岡字片岡他	林		
93	岡・玖須美石丁場群	近 世	〃	玖須美字萩坂他	宅・林	矢穴石、刻印石	「いよ松山」標識石、2013、2014
94	新井石丁場群	近 世	〃	新井字前山丁場他	林・海	矢穴石、刻印石	「いよ松山」標識石
95	川奈石丁場群	近 世	〃	川奈字扇山他	宅・海	矢穴石、刻印石	
96	富戸石丁場群	近 世	〃	富戸字根原他	宅・海	矢穴石、刻印石	
97	枝堀遺跡	縄文(早・前)	集落跡	八幡野字枝堀	山 林	土器・石器	2018 試掘
98	倉骨沢遺跡	縄文	散布地	八幡野字倉骨沢	山 林	土器・石器	2018 試掘

4 生涯学習センター

(1) 中央会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
S 55. 9. 30	2123.40 m ²	1,520.091 m ²	第1・2(会議室 研修室 和室) 視聴覚室 美術工芸室 展示兼トレーニング室

(2) 平成29年度 中央会館の利用状況

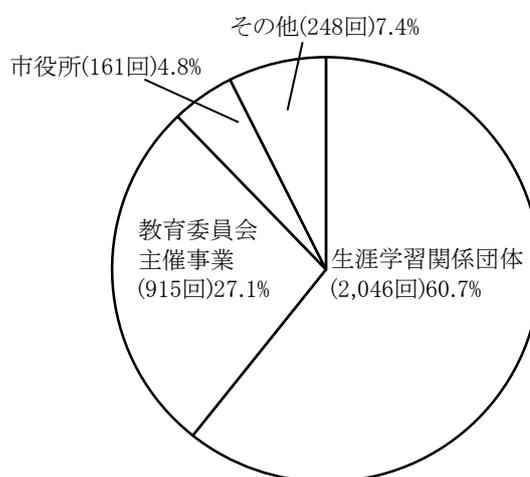
① 利用回数・人員・利用率

	利用人員	利用回数	利用率
13年度	45,869	3,025	36.0
14年度	49,625	3,103	37.8
15年度	45,012	3,303	39.8
16年度	42,691	3,421	41.4
17年度	39,691	3,550	43.0
18年度	38,964	3,335	40.4
19年度	40,915	3,389	40.9
20年度	38,904	3,332	40.2
21年度	43,582	3,551	42.8
22年度	38,337	3,352	40.6
23年度	40,589	3,363	40.6
24年度	48,782	3,474	42.0
25年度	44,967	4,424	53.7
26年度	40,653	4,489	54.3
27年度	39,365	3,375	40.6
28年度	37,796	3,359	40.7
29年度	35,170	3,370	40.8

② 平成29年度利用の状況

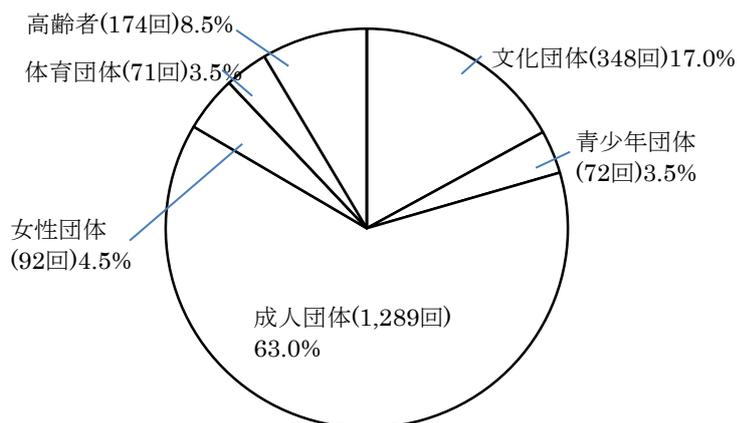
ア 団体別利用状況

(総利用回数 3,370)



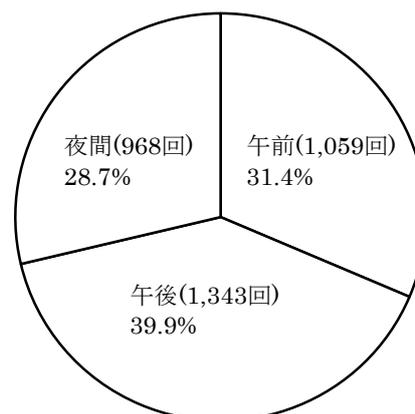
イ 生涯学習関係団体種類別利用状況

(総利用回数 2,046)



ウ 時間帯別利用状況

(総利用回数 3,370)



(3) ひぐらし会館施設概要

設置年月日	敷地面積	建物面積	施設内容
H6.11.30	463.21 m ²	1,787.73 m ²	ホール(204席)、第1・第2会議室、トレーニング室、幼稚園遊戯室、楽屋(洋室・和室)

(4) 平成29年度 ひぐらし会館の利用状況

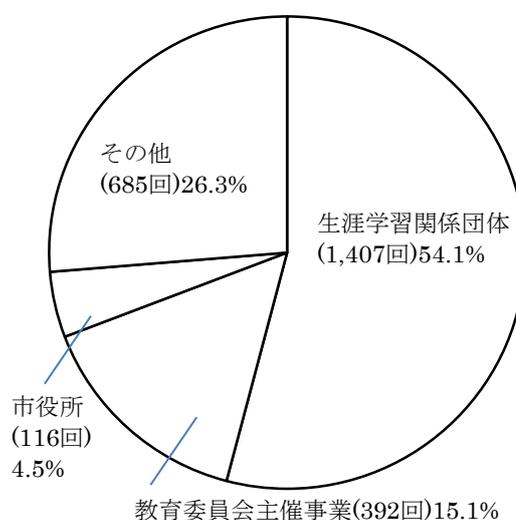
① 利用回数・人員・利用率

	利用人員	利用回数	利用率
17年度	49,871	2,678	41.7
18年度	45,772	2,718	42.3
19年度	54,096	2,870	51.2
20年度	50,155	2,756	40.6
21年度	52,851	2,692	41.8
22年度	47,386	2,544	39.6
23年度	43,321	2,373	36.8
24年度	44,857	2,657	41.3
25年度	43,773	2,561	40.0
26年度	44,280	2,610	40.6
27年度	46,052	2,885	44.6
28年度	44,744	2,754	42.9
29年度	41,765	2,600	40.5

② 平成29年度利用の状況

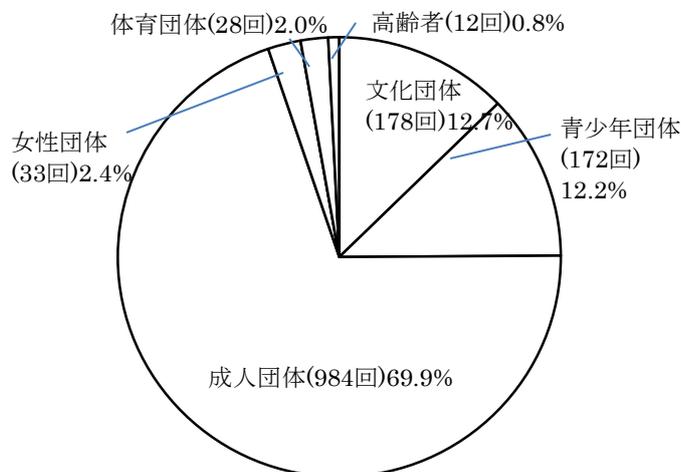
ア 団体別利用状況

(総利用回数 2,600)



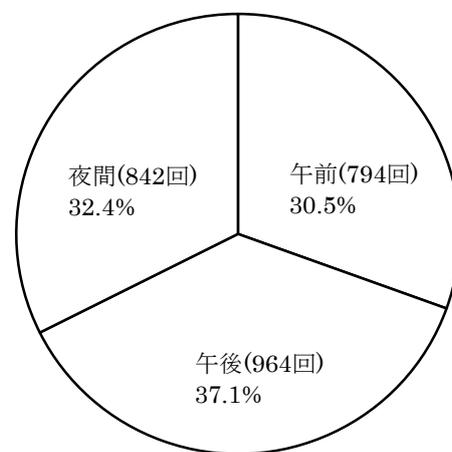
イ 生涯学習関係団体種類別利用状況

(総利用回数 1,407)



ウ 時間帯別利用状況

(総利用回数 2,600)



(5) 平成29年度 生涯学習センター各室利用状況

(平成29年4月～30年3月)

① 生涯学習センター池会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	310	722	8,146	200	4,073	2	75	810	347	3,227	1,271	16,331
28	306	997	11,144	191	3,990	1	17	991	857	5,364	2,046	21,506
29	306	1,074	11,492	186	3,497	—	—	874	410	3,869	1,670	19,732

② 生涯学習センター赤沢会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	308	263	1,918	34	742	—	—	182	18	601	315	3,443
28	304	325	2,408	37	410	1	5	165	4	52	367	3,040
29	301	329	2,511	24	450	—	—	205	2	20	355	3,186

③ 生涯学習センター萩会館

年度	開館 日数	生涯学習 活 動		会 議 (研 修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	297	1,758	14,044	26	505	58	880	1,671	68	9,121	1,910	26,221
28	300	1,627	12,957	15	254	16	215	2,116	109	7,101	1,767	22,643
29	303	1,546	12,363	16	414	21	228	1,079	102	10,780	1,685	24,864

5 図書館

情報提供拠点としての図書館機能を十分発揮するため、図書館資料の充実を図るとともに利用環境の整備に努め、利用しやすい、開かれた図書館をめざす。

(1) 郷土資料の収集

郷土に関する資料・情報は、広く収集するよう努め、市民の利用に供する。

(2) 視聴覚資料等

CD・DVD等の視聴覚資料の充実に努め、市民の新しい学習要求に応える。

(3) 企画展の開催・特集コーナーの設置

企画展示の定期的なテーマ替えを行い、図書館への来館を呼び掛ける。

一般、児童書別に特集コーナーを設け、資料の紹介、提供に努める。

(4) 読み聞かせ会、講演会等の実施

伊東図書館おはなし会や市民ボランティアの協力により、毎週土曜日と、春夏秋冬におはなし会を開催し、また、こども読書週間や読書週間に講演会等を開催することにより、幼児期から図書館に親しむ機会を提供する。

(5) 出張読み聞かせ「おはなしともだち号」の実施

学校、幼稚園、福祉施設などからの依頼を受け、社会教育指導員が児童や通所者に読書の楽しさを広める。

(6) 移動図書館「ともだち号」の運行・巡回貸出文庫の実施

図書館から遠隔地にある地域住民の読書活動の利便を図るとともに、市民の学習意欲に応えるため、市内21か所のステーションを、月2回巡回し、図書館サービスの拡充に努める。

地域、職域、学校などの利用者グループへ30冊を一括で貸出し、2か月に一度入れ替える。

(7) ブックスタート事業の実施

乳児期からの読み聞かせを通じて、本に親しみ読書の楽しさを広め、また親子のスキンシップ・コミュニケーションを深め、子育て支援の一環とするため、乳児を対象に読み聞かせを行いながら、絵本を贈呈する。

(8) インターネット蔵書検索の実施

家庭のパソコンや携帯電話から本市の蔵書を検索、予約するシステムにより、利便性を向上し、図書館の利用を促進する。

(9) 障害者サービス用資料の充実、読書支援機器の設置

大活字本、点字付き絵本を定期的に購入し、資料の充実を図る。

音声拡大読書機「よむべえ」の設置により視覚障害者の読書支援に努める。

(10) 図書館相互利用・図書館相互貸借協定の実施

沼津市・熱海市・伊豆市・東伊豆町の各館との相互利用及び県内各協定加盟館と相互貸借を実施し、図書館活動の拡大と振興を図る。

① 施設の概要

名称	設置年月日	床面積	施設内容
伊東市立伊東図書館	T4.11.10 設置 S55.11.1 移転	954㎡	音無町5-14 中央公民館1、2階部分
大原児童図書館	S53.12.27	75㎡	大原3-18-3 (物見が丘公園内) 地域の運営委員会により運営

② 蔵書冊数及び貸出冊数

分類	蔵書冊数	構成比%	貸出冊数	構成比%
総記	8,012	4.0	943	0.5
哲学	5,210	2.6	2,987	1.4
歴史	12,651	6.3	6,233	3.0
社会科学	19,253	9.6	7,349	3.6
自然科学	8,522	4.3	6,078	3.0
技術	7,015	3.5	8,959	4.3
産業	3,888	1.9	2,561	1.2
芸術	9,030	4.5	6,163	3.0
言語	1,927	1.0	754	0.4
文学	52,809	26.4	71,832	34.9
郷土資料	9,667	4.8	1,392	0.7
児童書	45,517	22.7	66,216	32.2
視聴覚資料 (CD・VTR・DVD)	3,427	1.7	10,327	5.0
洋書	680	0.3	220	0.1
点字本	183	0.1	43	0.0
大活字本	364	0.2	816	0.4
雑誌	11,986	6.0	11,724	5.7
その他(他館資料)			1,282	0.6
合計	200,141	100.0	205,879	100.0

③ 本館貸出冊数 (開館日数 278日 1日平均貸出冊数 654冊)

区分	一般成人		高校生・中学生		小学生以下		団体等	合計		
冊数	男	55,865	男	1,263	男	12,460	4,665	男	69,588	団体等 4,665
	女	90,170	女	2,672	女	14,622		女	107,464	
	146,035		3,935		27,082			181,717		

④ 大原児童図書館貸出冊数 (開館日数 147日 1日平均貸出冊数 14冊)

区分	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	郷土	その他	合計
冊数	23	1,626	50	268	0	0	1,967

⑤ 巡回貸出文庫貸出冊数

川奈小学校	東部特別支援学校 川奈分校	富戸小学校	南小学校	計
209	180	180	176	745

⑥ 移動図書館「ともだち号」貸出冊数

巡回日	巡回ステーション名	年 間 巡回数	貸 出 冊 数							計	一日当
			一般書	児童書	雑誌	視聴覚	郷土	その他			
第一・第三 火曜日	芝原公園	18	223	138	54	2	2	7	426	24	
	大池小学校	17	210	1,709	6	0	0	0	1,925	113	
第一・第三 水曜日	元ナガヤ川奈店駐車場	17	307	52	61	0	0	1	421	25	
	宇佐美小学校	20	1,055	2,269	58	4	0	30	3,416	171	
第一・第三 木曜日	川奈小学校	12	81	119	14	0	0	1	215	18	
第一・第三 金曜日	伊豆急伊豆高原管理事務所	21	759	72	168	6	3	26	1,034	49	
	東小学校	16	62	664	1	0	0	0	727	45	
	生涯学習センター荻会館	20	598	409	143	0	0	4	1,154	58	
第二・第四 火曜日	伊豆高原十字の園	20	358	33	29	1	1	8	430	22	
	ゆうゆうの里	19	445	88	59	0	4	15	611	32	
	富戸小学校	19	131	862	18	0	3	0	1,014	53	
第二・第四 火曜日	南小学校	23	240	2,244	6	0	1	5	2,496	109	
	吉田公園	21	288	363	1	11	4	6	673	32	
第二・第四 木曜日	旭小学校	16	191	1,475	0	0	0	0	1,666	104	
第二・第四 金曜日	イトーピア管理事務所	19	628	24	27	0	2	8	689	36	
	大室高原自治会館	18	313	4	37	0	0	1	355	20	
	八幡野小学校	23	827	1,857	78	0	5	4	2,771	120	
	生涯学習センター池会館	18	128	124	16	0	0	5	273	15	
第二・第四 日曜日	角折住宅	13	30	76	4	0	0	0	110	8	
	城平住宅	19	555	19	15	6	0	0	595	31	
	鎌田公園	19	107	186	16	1	0	0	310	16	
	その他	4	65	55	7	6	1	1	135	34	
合 計		392	7,601	12,842	818	37	26	122	21,446	55	

6 コミュニティ

住民の交流により相互の連帯を深め、心の触れ合う明るく豊かな活気あるまちづくりの実現を目指し、地域住民のコミュニティ活動と生涯学習活動を積極的に推進する拠点施設として、管理運営を、地域に設立された管理運営協議会（指定管理者）に委託し、地域住民自らが自主的に運営している。

(1) コミュニティ施設の整備

昭和63年12月に宇佐美コミュニティセンター、平成3年4月に小室コミュニティセンター、平成5年1月に八幡野コミュニティセンター、平成7年7月に富戸コミュニティセンターが開設した。

(2) コミュニティ活動の推進

各地域のコミュニティ関係団体との連携を図り、自主的な活動を積極的に展開するためにコミュニティサークル活動の輪をさらに広げ、質の向上と連帯の推進を図る。

(3) コミュニティセンター施設

名 称	設置年月日	敷地面積	建物面積	施 設 内 容
宇佐美コミュニティセンター	昭和63年 12月12日	m ² 1,464	m ² 1,433	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
小室コミュニティセンター	平成3年 4月17日	1,388	1,232	鉄筋3階建 体育室、児童室、図書室 ほか
八幡野コミュニティセンター	平成5年 1月22日	1,795	1,383	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室 ほか
富戸コミュニティセンター	平成7年 7月9日	2,010	1,545	鉄筋3階建 大会議室、児童室、図書室、 地震観測データ室ほか

(4) 平成29年度 コミュニティセンター各室利用状況

(平成29年4月～30年3月)

① 宇佐美コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議 (研修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	300	171	11,867	84	1,182	40	632	1,774	1,177	18,608	1,472	34,063
28	298	168	11,283	91	1,130	40	603	1,666	1,093	16,273	1,392	30,955
29	298	193	11,590	82	1,080	48	648	1,941	1,037	15,279	1,360	30,538

② 小室コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議 (研修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	306	396	5,022	38	1,017	—	—	76	294	4,631	728	10,746
28	304	518	5,760	41	993	1	10	83	303	4,371	863	11,217
29	304	424	4,322	40	800	—	—	551	299	3,746	763	9,419

③ 八幡野コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議 (研修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	302	1,447	24,582	398	8,197	117	1,325	7,696	195	10,050	2,157	51,850
28	300	1,471	27,028	407	7,835	102	1,147	7,258	180	6,629	2,160	49,897
29	297	1,494	26,917	441	9,567	105	1,170	6,905	237	13,418	2,277	57,977

④ 富戸コミュニティセンター

年度	開館 日数	コミュニティ 活 動		会議 (研修)		調理実習		図書 コーナー	その他		合計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	人数	回数	人数	回数	人数
27	306	1,235	22,631	128	2,380	49	848	694	—	19	1,412	26,572
28	306	1,195	20,814	145	2,342	59	941	582	—	43	1,399	24,722
29	306	1,150	19,455	130	2,718	28	496	476	—	71	1,308	23,216

7 社会教育関係委員・団体

(平成30年4月1日現在)

(1) 伊東市公民館運営審議会委員兼社会教育委員

任期：平成29年4月18日～平成31年3月31日

	氏名	選出区分
委員長	三枝 俊次	学識経験者
副委員長	大村 涛子	社会教育関係者
委員	黒澤 章	学校教育関係者
委員	内野 雄司	家庭教育の向上に資する活動者
委員	船吉 鉄男	社会教育関係者
委員	原田 稔子	社会教育関係者
委員	日吉 節	社会教育関係者
委員	成田 優	学識経験者
委員	高田 京子	家庭教育の向上に資する活動者
委員	渡邊 禮子	家庭教育の向上に資する活動者

(2) 伊東市青少年問題協議会委員

任期：平成29年7月1日～平成31年6月30日

氏名	選出・所属	氏名	選出・所属
高橋 雄幸	市教育長	大城 一朗	伊東商工会議所代表
鳥居 康子	市議会福祉文教委員長	石井 清之	伊東地区保護司会会長
渡辺 和仁	伊東警察署生活安全課長	江口 邦夫	地域行政連絡調整協議会会長
三枝 俊次	市社会教育委員長	森 知子	伊東市女性連盟理事長
成田 優	伊東高等学校長	稲葉 誠	伊東市P連代表
川口 喜弘	伊東商業高等学校長	高嶋 裕一	伊東青年会議所代表
山下 悦男	市立宇佐美小学校長	稲葉 高士	伊東市立対島中学校長

(3) 伊東市青少年問題協議会幹事

任期：平成29年7月1日～平成31年6月30日

氏名	選出・所属	氏名	選出・所属
野田 貴史	伊東警察署生活安全課係長	細谷 裕二	小学校代表（宇佐美小）
下山 順一	伊東高校生徒指導	石井 英明	危機対策課長
深澤 祐介	伊東商業高校生徒指導	操上 俊樹	教育指導課長
田中 秀樹	中学校代表（対島中）	杉山 宏生	生涯学習課長

(4) 伊東市青少年補導センター運営協議会委員

任期：平成 29 年 7 月 1 日～平成 31 年 6 月 30 日

氏 名	選出・所属	氏 名	選出・所属
高橋 雄幸	教育長	柴崎 穰	市 P 連代表
渡辺 和仁	伊東警察署生活安全課長	稲葉 義彰	民生児童委員協議会会長
操上 俊樹	教育指導課長	日吉 公明	スポーツ少年団指導者協議会会長
稲葉 祐人	幼児教育課長	大橋 現	少年警察連絡協議会会長
原 崇	青少年育成市民会議会長	吉岡 マサエ	女性連盟代表

(5) 伊東市文化振興会議委員

任期：平成 30 年 7 月 5 日～平成 32 年 7 月 4 日

	氏 名	選出・所属
委員長	鳥居 康子	市議会
副委員長	丸井 重孝	市社会教育指導員
委 員	大川 あづみ	伊東市文化協会
委 員	遠山 敬二	伊東市自然歴史案内人会
委 員	稲本 多津郎	伊東市体育協会
委 員	佐々木 睦代	伊東市女性連盟
委 員	大村 濤子	市社会教育委員会
委 員	渡邊 久士	市校長会
委 員	佐藤 康	市文化財保護審議会

(6) 伊東市文化財保護審議会

任期：平成 29 年 10 月 1 日～平成 31 年 9 月 30 日

	氏 名		氏 名
会 長	佐藤 康	委 員	田島 整
副会長	斎藤 俊仁	委 員	建部 恭宣
委 員	小林 一之	委 員	石渡 美智代
委 員	野田 悦基	委 員	加藤 好一
委 員	中池 敏之	—	—

(7) 伊東市文化財保護監視員会 任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

	氏 名		氏 名
会 長	石田 晃一	委 員	山本 勝
副会長	稲葉 常久	委 員	向井 一雄
委 員	大野 弘之	委 員	林 則雄
委 員	後藤 武久	—	—

(8) 伊東市郷土資料館建設協議会

	氏 名		氏 名
会 長		委 員	永濱 眞理子
副会長	平澤 哲	委 員	稲葉 常久
委 員	後藤 武久	委 員	鳥居 康子
委 員	佐藤 康	委 員	浅田 良弘

(9) 伊東市史編さん委員会

	氏 名	選出・所属
委員長	小野 達也	市 長
副委員長	若山 克	副市長
委 員	井戸 清司	市議会議長
委 員	坂詰 秀一	伊東市史編集委員長
委 員	田上 繁	伊東市史編集副委員長
委 員	田口 節子	学識経験者
委 員	加藤 清志	学識経験者
委 員	高橋 雄幸	教育長
委 員	三枝 俊次	社会教育委員長
委 員	佐藤 康	文化財保護審議会会長
委 員	中村 一人	企画部長
委 員	浜野 義則	総務部長
委 員	富士 一成	教育部長

VII スポーツの振興

1 スポーツ振興の重点施策

「市民一人一スポーツ」をめざし、市民だれもが健康的にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ事業の推進に努める。また、しずおか型地域スポーツクラブの設立など生涯スポーツの普及に努めるとともに、健康保養地づくり事業との連携を図り、スポーツを取り入れた健康づくりに努める。

(1) 地域スポーツの振興

スポーツを介し、地域住民のコミュニティ意識を高めるため、各地域の体育振興会と連携を密にし、地域に密着した地域スポーツの振興を推進する。

(2) スポーツ推進委員会

市民が気軽に参加できるスポーツによる健康づくりの方策を検討するとともに、ニュースポーツの実技指導等を行い、生涯スポーツの推進に努める。

(3) スポーツ祭の開催

按針祭協賛市民スポーツ祭や伊東市スポーツ祭を体育協会加盟競技団体の協力のもとに開催し、各種スポーツを通して、明るく健康な日常生活が求められるよう市民の参加を求める。

(4) スポーツ大会等の実施

スポーツ活動の促進と市民のスポーツ実践の場として、伊東オレンジビーチマラソン（伊東市健康保養地づくり事業として実施）や伊東駅伝競走大会を開催するとともに、体育協会の主催する陸上カーニバルを支援する。

(5) スポーツ施設の整備、充実

市民に親しまれ使用しやすい施設とするため、市民体育センターをはじめ、市民運動場、かどの球場、大原武道場等の社会体育施設の円滑な管理運営に努める。

(6) 学校開放事業の促進

市民のスポーツ活動促進のため、市内の小・中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において市民に開放し、スポーツの振興を図る。

(7) スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団指導者の研修会を通じ指導者を養成するとともに、スポーツを通して健やかな少年・少女の育成に努める。

(8) スポーツ関係団体の育成・奨励

体育協会の自主活動を奨励していく中で、団体意識を高めるとともに主催事業の支援を図る。

(9) 市町対抗駅伝競走大会への参加

静岡市を会場に開催される「第19回静岡県市町対抗駅伝競走大会」に参加するため、伊東市陸上競技協会主催の陸上競技教室を支援するとともに、代表候補選手の合同練習会を開催し、市内の長距離ランナーの発掘・育成を図る。

(10) 総合型地域スポーツクラブの育成

地域住民が積極的に参画し、「多種目・多世代・多目的」な活動を行う地域スポーツクラブを支援し、新たな生涯スポーツの普及と地域コミュニティの形成を図る。



ニュースポーツ研修会(ビーチボールバレー)



【写真提供：オールスポーツコミュニティ】

第52回伊東オレンジビーチマラソン2018

2 平成30年度 スポーツ振興事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日程全般			スポーツ推進委員 熱海・伊東地区 合同研修会 9日(土)	按針祭協賛 市民スポーツ祭		体力・運動 能力調査 12日(水)	第62回伊東市 スポーツ祭 陸上カーニバル 21日(日)	スポーツ少年団 交流体育大会 17日(土)	第19回 静岡県 市町対抗 駅伝競走大会 1日(土)	第53回 伊東オレンジ ビーチマラソン2019 20日(日)	第47回 伊東駅伝 競走大会 3日(日)	
スポーツ大会 事業詳細1 静岡県市町対抗駅伝競走大会 (市体育協会委託事業)			第1回 実行委員会 代表候補 選手公募			強化 練習	第2回 実行委員会 代表選手 選考		大会 1日(土)			
事業詳細2 伊東オレンジビーチマラソン (健康保養地づくり実行委員会主催事業)							申込期間 (受付開始日、締切日は未定)			大会 20日(日)		
事業詳細3 伊東駅伝競走大会 (市体育協会委託事業)							申込期間 (受付開始日、締切日は未定)			第1回監督会議 5日(土)	大会 3日(日)	
スポーツ推進委員会	定例会	定例会	熱海・伊東 地区合同 研修会 9日(土)	実技研修会 22日(日) 定例会	研究大会 19日(日) ※観光会館	定例会		定例会	定例会	定例会	東海四県 研究大会 1、2日 (金、土) 定例会	
スポーツ指導者養成	スポーツ少年団 指導者協議会 理事会	スポーツ少年団 指導者協議会 総会					スポーツ少年団 指導者協議会 理事会	スポーツ少年団 交流体育大会 17日(土)				
通年事業	スポーツ賞賜金、体育施設整備基金積立、社会体育施設修繕及び点検等、社会体育施設年間利用調整											
委託事業	社会体育施設管理（指定管理者：伊東市振興公社）、学校施設開放受付業務（委託先：伊東市体育協会）											

3 平成29年度 スポーツ振興事業

大会名	主管団体名	開催期間	内 容	延参加者
按針祭協賛 市民スポーツ祭	伊東市体育協会 加盟団体	6/17～ 8/31	バドミントン大会など17種目 会場 伊東市民体育センターほか	3,566人
第61回 伊東市スポーツ祭	伊東市体育協会 加盟団体	9/2～ 2/11	ソフトテニス大会など16種目 会場 小室山公園市営テニスコートほか	3,091人
第15回伊東陸上 カーニバル陸上記録会	伊東市体育協会 伊東市陸上競技協会	10/22	走・跳・投の陸上競技 小中学生、高校生、一般 会場 伊東高校グラウンド	0人 (雨天中止)
第18回 静岡県市町 対抗駅伝競走大会	静岡陸上競技協会 静岡新聞社・静岡放送	12/2	会場 静岡県庁～静岡市清水～草薙陸上競技場 42.195km 12区間 参加チーム数：39(県内全市町) 成績：市の部 第22位/27市	780人
第52回 伊東オレンジビーチ マラソン2018	(伊東市健康保養地づくり) 実行委員会主催 伊東市教育委員会 伊東市体育協会	1/13	会場 観光会館前～国道135号バイパス 5km (小学生、中学生、一般男子39歳以下・40歳以上、一般女子39歳以下・40歳以上) 10km (一般男子39歳以下・40～59歳・60歳以上、一般女子39歳以下・40歳以上) 2km (小学3年生以下、ファミリー、車いす)	1,954人
第46回 伊東駅伝競走大会	静岡東部 陸上競技協会	2/4	伊豆高原旅の駅ぐらんばらぼーと～対島中学校～富戸小学校～川奈ホテル～海女屋駐車場～市役所 21.1km 5区間・5部門 高校男子 9チーム 一般・高校女子 6チーム 一般男子 19チーム 中学男子 8チーム 中学女子 6チーム	358人

4 平成29年度 スポーツ施設等の利用状況

(1) 市民体育センター S54.2.18設置

年度	開放 日数	体育室		卓球室		多目的室		合計		平均 (1日当り)
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
25	335	2,354	46,960	851	6,585	547	9,078	3,752	62,623	187
26	341	2,432	49,372	826	6,827	470	9,975	3,728	66,174	194
27	344	2,442	49,575	745	6,134	478	11,049	3,665	66,758	194
28	91	648	12,575	183	1,404	119	2,793	950	16,772	184
29	336	2,326	44,514	716	6,570	480	10,124	3,522	61,208	182

(2) 市民運動場 S45.11.30設置

年度	昼 間		夜 間		合 計		種 目 別 利 用 内 訳					
							サッカー		軟式野球		ソフトボールほか	
	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
25	618	28,430	397	16,114	1,015	44,544	553	23,339	169	6,832	261	13,071
26	634	25,770	418	16,440	1,052	42,210	566	22,480	165	6,720	321	13,010
27	595	24,638	347	14,905	942	39,543	441	19,271	178	7,490	323	12,782
28	571	31,042	337	15,661	908	46,703	439	23,665	168	7,635	301	15,403
29	593	24,117	363	16,879	956	40,996	435	20,152	173	7,176	348	13,668

(3) かどの球場 H7.4.8設置

年度	昼 間		夜 間		合 計		種 目 別 利 用 内 訳					
							軟式野球		ソフトボール		サッカーほか	
	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
25	250	20,753	75	1,652	325	22,405	236	16,857	12	339	67	3,282
26	246	15,544	62	1,300	308	16,884	240	14,188	11	301	56	2,275
27	261	19,804	62	1,543	323	21,347	261	19,103	3	165	59	2,079
28	262	19,682	53	1,217	315	20,899	251	18,307	10	272	54	2,320
29	264	21,754	66	1,803	330	23,557	257	19,740	3	90	70	3,727

(4) 大原武道場 H8.11.1設置

年度	開放 日数	第 1 道 場		第 2 道 場		トレーニング室		合 計 人 数
		件数	人 数	件数	人 数	人 数	1日当り	
25	306	357	5,085	673	9,649	20,793	68	35,527
26	309	376	4,766	656	8,569	22,682	73	36,017
27	310	440	5,253	626	8,274	26,592	86	40,119
28	281	431	6,190	681	9,635	27,066	88	42,891
29	281	406	5,872	619	8,768	29,000	103	43,640

(5) 青少年キャンプ場 S57.7.25設置

年度	利用件数	利用日数	利用者数
25	86	129	3,037
26	102	150	3,552
27	99	172	3,483
28	99	169	2,864
29	111	204	2,636

※ キャンプのほかに、桜まつり、森の露天市、クラフトの森等のイベントで利用されている。

(6) 学校開放

施設名 学校名	屋 内		屋 外			
	件 数	人 数	昼 間		夜 間	
			件 数	人 数	件 数	人 数
東 小 学 校	593	11,413	123	5,310	46	2,555
西 小 学 校	527	13,042	198	1,348	109	5,450
旭 小 学 校	316	4,322	106	2,085		
南 小 学 校	627	13,721	117	7,140		
川奈小学校	297	6,561	104	6,240		
大池小学校	333	4,998	116	4,320		
宇佐美小学校	474	8,670	145	2,574		
富戸小学校	122	1,443	174	3,116		
八幡野小学校	485	9,121	227	7,828		
池 小 学 校	249	3,180	31	380		
南 中 学 校	629	14,022	2	70		
北 中 学 校	222	2,906	0	0		
門野中学校	475	8,534	19	1,350		
宇佐美中学校	434	5,673	18	810	80	3,705
対島中学校	169	2,284	73	1,813	134	5,360
合 計	5,952	109,890	1,453	44,384	369	17,070

2 5 年 度	4,334	85,916	1,062	38,583	310	10,161
2 6 年 度	4,601	92,089	1,250	45,288	327	11,592
2 7 年 度	4,770	91,972	1,474	50,698	282	12,960
2 8 年 度	5,529	105,684	1,223	38,214	299	15,265
2 9 年 度	5,952	109,890	1,453	44,384	369	17,070

5 スポーツ施設

施設名	設置年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	施設内容
市民運動場	S45.11.30	24,800	49	運動場(兼用)・野球場2面 H22.3トV建替 (夜間照明施設2面、S55.7・4基、H12.1・2基)
市民体育センター	S54.2.18	3,562	1,965	バレーボールコート3面・バドミントンコート 6面・バスケットボールコート2面・多目的室 (H19.4.1～)・卓球室(2面)(H15.4.1施設名称変更、 H18.12フロア増床、H29.3耐震補強)
青少年 キャンプ場	S57.7.25	10,000		流し2・調理台2・野外炉2か所12炉・四阿2棟・ 水洗トイレ(洗浄水循環型)1棟・管理棟
かどの球場	H7.4.8	25,066	1,440	野球場(ロングパイル人工芝H23.3張替)・夜間照 明設備・スコアボード・スタンド(観覧席1,004 席)・放送席・シャワー付更衣室・駐車場
大原武道場	H8.11.1	20,888	951	第1道場(畳敷H19.12畳取替)・第2道場(板張 り)・トレーニング室・ミーティングルーム

6 スポーツ推進委員会

(1) スポーツ推進委員会研修会

日程	会場	内容
平成29年6月10日	伊東市立東小学校	熱海・伊東地区スポーツ推進委員合同研修会
平成29年7月23日	アミューズ豊田	静岡県スポーツ推進委員実技研修会
平成29年8月20日	三島市民文化会館	静岡県スポーツ推進委員研究大会

- ・その他
定例会(年10回程度)

(2) 派遣事業

- ・ (公財)伊東市振興公社主催のフィットネス教室等へ派遣
- ・ 伊東陸上カーニバル、伊東オレンジビーチマラソン、伊東駅伝競走大会へ派遣

(3) 伊東市スポーツ推進委員名簿 (平成 30 年度)

(任期：平成 30 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

No.	氏 名	役 職	性別	特 技	経験年数
1	八代 佳世		女	一 般 体 育	26
2	里吉 康二		男	硬 式 野 球	24
3	杉山 英樹	委員長	男	水 泳	24
4	古屋 親代	副委員長	女	陸 上 競 技	20
5	鈴木 章雄	副委員長	男	野 球 ・ ス キ ー	17
6	木部 良治		男	球 技 全 般	12
7	木村 美甫		女	一 般 体 育	12
8	土屋 順子		女	一 般 体 育	11
9	杉村 浩美		女	テ ニ ス	2
10	杉山 潮美		女	バスケットボール	0
11	南 静渚		女	一 般 体 育	0
12	村上 智子		女	バスケットボール	0

VIII 所轄外学校等

1 所轄外学校等

(1) 高等学校

① 生徒数・学級数・教職員数等の状況 (平成30年5月1日現在)

区 分		県立伊東高等学校			県立伊東商業 高等学 校
		全 日 制	定 時 制	城ヶ崎分校	
設 立 年 月 日		昭和8年2月16日	昭和23年9月1日	昭和58年4月1日 分校 平成18年4月1日	昭和38年4月1日
所 在 地		岡1229-3		八幡野1120	吉田748-1
校 長 氏 名		成 田 優			川 口 喜 弘
電 話 番 号		37-8811	36-2143	54-1914	45-0350
F A X 番 号		38-1229	38-1229	54-2591	45-5743
生 徒 数 (人)	1 年 生	148	5	27	123
	2 年 生	148	11	41	116
	3 年 生	163	7	38	129
	(4 年 生)		6		
	計	459	29	106	368
ク ラ ス 数	1 年 生	4	1	1	3
	2 年 生	4	1	1	3
	3 年 生	4	1	1	4
	(4 年 生)		1		
	計	12	4	3	10
教 室 数	普通教室	23 室	共用	8 室	15 室
	特別教室	19 室	共用	16 室	18 室
教員数(人)		32	9	12	33
職員数(人)		8	2	2	3

(注) 県立伊東高等学校の創立記念日は、県立伊東高等女学校を記載。その後、昭和22年9月5日静岡県伊東市立伊東高等女学校、昭和23年4月1日県立伊東高等学校となる。

② 学校建物等の状況 (平成29年5月1日現在)

区 分		県立伊東高等学校			県立伊東商業 高等学 校
		全 日 制	定 時 制	城ヶ崎分校	
建 物 校 地	校 舎	7,877㎡	} 共 用	6,536㎡	9,098㎡
	屋内運動場	1,421㎡		2,546㎡	1,610㎡
	運 動 場	25,349㎡		14,508㎡	20,608㎡
	校舎敷地等	31,470㎡		26,225㎡	23,219㎡

③ 卒業後の状況

(平成30年5月1日現在)

区 分	県立伊東高等学校						県立伊東商業高等学校		合計		
	全日制		定時制		城ヶ崎分校		人	%	人	%	
	人	%	人	%	人	%					
卒業 者	161		15		39		144		359		
進学者数	大 学	108	67.1	1	6.7	2	5.1	22	15.3	133	37.0
	短 大	12	7.5	0	0.0	1	2.6	8	5.6	21	5.8
	専修各種	22	13.7	2	13.3	18	46.2	62	43.1	104	29.0
就 職 者 数	11	6.8	3	20.0	16	41.0	47	32.6	77	21.4	
そ の 他	8	5.0	9	60.0	2	5.1	5	3.5	24	6.7	

(2) 私立幼稚園

(平成30年5月1日現在)

幼稚園名	所在地	園長氏名	電話番号	園児数	教職員数	建物面積	敷地面積
野間自由幼稚園	竹の内一丁目3-57	吉久知延	37-4503	105	18	1,095㎡	16,630㎡
伊東聖母幼稚園	桜木町一丁目7-2	マルジャン・ジョフロア	37-6099	20	4	563㎡	768㎡

(3) 専修学校

(平成30年5月1日現在)

学 校 名	所在地	校長氏名	電話番号	生徒数	教職員数	建物面積	敷地面積
日本書道芸術専門学校	吉田1022番地	石橋智子	45-4194	2	9	1,499㎡	8,945㎡

(4) 特別支援学校

① 静岡県立東部特別支援学校川奈分校

ア 教職員数等の状況

(平成30年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
昭30.11.15	川奈510番地の7	上村一成	45-3983 (45-4038)	23人	2人

イ 児童生徒数

小・中学校別児童数		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	児童数	0	2	1	1	3	3	10人
	学級数	0		1		1	1	3組
中学校	生徒数	4	4	3				11人
	学級数	1	1	1				3組

ウ 学校建物等の状況

校舎建物面積	校舎敷地等
1,724.78㎡	1,218.41㎡

② 静岡県立東部特別支援学校伊東分校 (小・中学部)

ア 教職員数等の状況

(平成30年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平11.4.1	幸町1番5号	上村一成	32-3150 (32-3151)	31人	4人

イ 児童生徒数

小・中学校別児童数		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学部	児童数	4	5	6	5	3	4	27人
	学級数	2	2	2	3	1	2	12組
中学部	生徒数	4	5	8				17人
	学級数	1	2	2				5組

③ 静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校 (高等部)

ア 教職員数等の状況

(平成30年5月1日現在)

創立年月日	所在地	校長氏名	電話番号 (FAX)	教員数	職員数
平18.4.1	八幡野1120番地	上村一成	55-2850 (55-2851)	25人	2人

イ 児童生徒数

生徒数		1年生	2年生	3年生	計
高等部	生徒数	16	17	20	53人
	学級数	3	2	4	9組